

# **岡山市埋蔵文化財調査の概要**

**1998（平成10年度）**

**2000年3月**

**岡山市教育委員会**

## はじめに

西暦2000年を迎える、わが岡山市も新時代にふさわしい行政としてのあるべき姿が求められています。文化財行政についても例外でなく、この分野に関する市民の皆様の関心とニーズもとみに高まってまいりました。しかし、遺跡地の開発と保護をめぐる調整、発掘調査で得られた成果の報告や市民への還元、岡山城をはじめとする史跡整備の具体化など、難問が山積しているのが現状であります。

こうした状況のなか、国の補助金を得て平成10・11年度事業として建設してきた埋蔵文化財センターが、このたび完成の運びとなりました。この埋蔵文化財センターは出土品の保管だけでなく、発掘成果の整理や研究、さらに速報公開の機能を備えた、発掘調査の拠点としての役割をもち、埋蔵文化財行政のいっそうの向上に寄与できるものと確信いたしております。

市民の皆様のご要望と文化財行政の現状には、まだまだ距離があるものと存じますが、平成10年度の事業と調査の内容をまとめた本書が、ご活用いただけ、文化財保護の一助となりますれば幸いです。

平成12年3月

岡山市教育委員会

教育長 戸村 彰孝

## 例 言

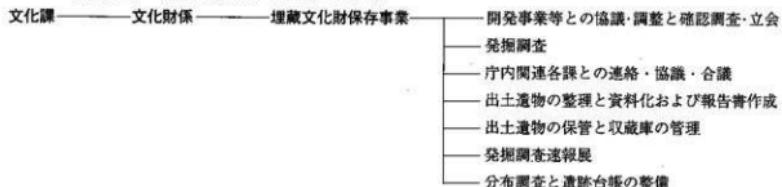
1. 本書は1998（平成10）年度の埋蔵文化財に関する事業と調査成果、および保護行政についての概要報告である。
2. 本書の編集は乗岡実が担当した。発掘調査の概要の執筆・図面作成は各担当者が分担して行った。また埋蔵文化財関連の協議と調整、受領図書一覧については、神谷正義が整理と原稿作成を行ったものである。
3. 本書に関する遺物、実測図・写真などは、岡山市教育委員会で保管している。
4. 本書はあくまでも速報性に重点をおいている。したがって調査成果が整理途上のものを含んでおり、正式な報告書刊行の時点で訂正される場合もあることを、ご了承願いたい。
5. 実測、遺物の洗浄・整理、図版作成などで、多くの方々の協力を得ています。氏名の列記は省かせていただきますが、関係された皆様に感謝いたします。

## 目 次

I. 発掘調査の概要	3
II. 埋蔵文化財関連の協議と調整	34
III. 普及・啓発事業と刊行物	41
IV. 受領図書一覧	42
V. 資料の紹介と研究ノート	54

## 文化課文化財係の紹介

### 1. 1998（平成10）年度文化財係の組織図と仕事



### 2. 担 当 職 員

文化課長 米村 博  
文化財専門監 出宮徳尚  
課長補佐 横木 修  
主査 神谷正義  
主任 乗岡 実  
文化財保護主事 扇崎 由  
文化財保護主事 草原孝典  
文化財保護主事 高橋伸二  
文化財保護主事 河田健司  
文化財保護主事 安川 満

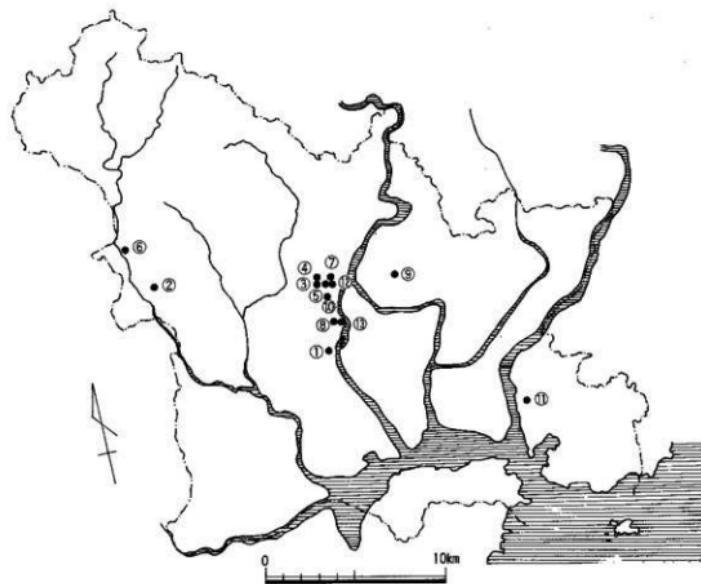
### 3. 収 藏 施 設

赤坂収蔵庫  
芳田収蔵庫

# I. 発掘調査の概要

## 発掘調査（第98条の2）

- ①新道(清輝小)遺跡
  - ②高松城水攻め築堤跡
  - ③津島(電線地中化)遺跡
  - ④津島(下水)遺跡
  - ⑤津島(ガソリンスタンド)遺跡
  - ⑥小山馬場遺跡
  - ⑦津島江道(岡北中)遺跡
  - ⑧岡山城二の丸内屋敷郭石垣遺構
  - ⑨ハガ(高島小)遺跡
  - ⑩南方(長泉寺)遺跡
  - ⑪西村貝塚(市道)遺跡
- 発掘（第57条の2）
- ⑫津島江道遺跡
- 発掘調査（史跡の整備）
- ⑬史跡岡山城跡 本丸下の段【第2次】



## しんみち 新道（清輝小）遺跡

所在地 岡山市新道

調査原因 ブールおよび給食棟建設

時代 奈良時代～

調査期間 980303～980910

調査面積 990m<sup>2</sup>

担当者 草原孝典

**遺跡の概要** 新道遺跡は、旭川西岸に位置する。北には弥生時代後期の遺物が多量に出土した天瀬遺跡、西には鹿田庄に比定される鹿田遺跡、南には中世前半の井戸等を検出した二日市遺跡がある。当調査区より北へ50mの地点で中世遺構の形成される微高地が確認されており、中世鹿田庄の関連遺構が検出されることが期待された。また当調査区は、岡山城下の南端付近に当たる位置で、城下町関連の遺構が検出されることが予想された。周辺の城下町に関する町割は、第二次世界大戦時の空襲や戦後の都市開発によりかなり改変されており、城下町絵図と現在の地割りは整合していない。今回の調査では、城下町を復元するための手掛りとなる遺構が検出されることも期待されたのである。

**調査の概要** 検出された遺構面は大別して3面で、近世、中世、奈良時代である。遺物の大半は近世のものである。以下、各時期の概要を説明する。

近世面は、上・下の2層があり、上層は18世紀中頃から19世紀にかけて、屋敷割と道路を検出した。屋敷割のなかには、ゴミ穴、建物、井戸等の遺構が検出され、多量の陶磁器が出土した。そのうち調査区の西端の屋敷地からは「沢」の字を陽刻した軒丸瓦が出土したことから、城下町絵図に描かれている「沢慶明」の屋敷地と推定され、検出された道路と合わせて当調査区の位置と城下町絵図との対比が可能となった。また、遺物自体の年代観は上層遺構面と異なるが、タイ産の壺も出土している。県内での出土は初めてであり、しかも2～3個体ある。タイ産壺の新たな分布例であるとともに、当時の海外貿易を含めた流通構造を検討するための具体的な資料といえる。

下層は、17世紀から18世紀前半の時期で、遺構・遺物の量は大変少なく、この時点まではこの調査区周辺は都市化していなかったと思われる。具体的な遺構としては、あまり遺物を含まない土坑と柱穴列である。さらに調査区の西端部が古代以来低位部となっているが、この段階でもその地形は解消されていない。



第1図 調査地点



第2図 近世上層遺構面

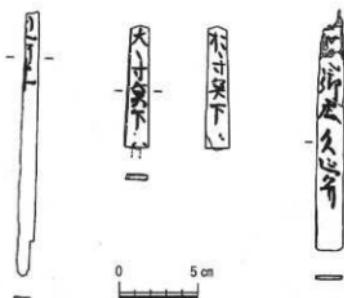


第3図 中世遺構面

中世面は12世紀後半から14世紀の時期で、遺構の多くは12世紀後半である。ただしこの時期の遺構の中心地は、調査区の北東部付近にあると推定され、今回の調査ではその南限付近に相当する。検出遺構は柱穴、井戸、溝である。井戸は中心付近に板を組み合わせた一辺約1.2mの方形の井戸枠をすえたかなり大きなものである。井戸枠内及びその上面から、土師質椀・小皿、白磁碗・壺、須恵質捏鉢や、木製品では箸、下駄、横櫛、刀形、曲物の底板などが出土している。土師質椀・小皿は完形のものが多く、数層に分かれてまとめて出土したことから、完形土器を廃棄する祭祀が数回おこなわれたものと推測される。下層で出土した土器群は、井戸枠が目視できる状態で投棄されたものであったが、上層の土器群は、土層断面を観察した結果、井戸が完全に廃絶してある程度時間が経過してすり鉢状の窪地になつたところへ投棄されていたようである。ただし、椀の法量を比較する限り、上層と下層の土器群には差があまりみられない。また、皿は単独で出土しているが、椀は重なって出土しているものが多い。痕跡は認められなかつたが、椀は紐のようなもので括っていた可能性が高い。土器以外に特筆されるのは、井戸枠内より木簡が3点出土したことである。表に「大々寸魚」、裏に「□々寸魚」とある荷札や、「[ ] 御庄久延弁」と判読できる文書木簡がある。後者については莊園経営と直接関係する可能性が強く、近くに莊園関連の施設があった可能性を強く示唆している。

奈良時代は、遺構・遺物とも極めて少ない。調査区の北東コーナー付近で、火葬施設と推測される土壙が検出された。火葬施設は、長さ約2mの箱形の土壙の壁に粘土を貼り、内に井げた状に材木を組んで焼いており、最後に須恵器の杯、丹塗土師器の杯を割って投入していた。

**ま と め** 今回の調査で、城下町の町割を復元する手掛かりが得られたことと、莊園遺跡を把握するための木簡が出土したことは大きな成果であった。また県下において、奈良時代の火葬墓の出土例は多いが、火葬施設を検出した例はほとんどなく、当時の墓制を考える上で重要なデータになるものと思われる。



第4図 中世井戸出土木簡



第5図 木簡

# びっしゅう たか まつじょうみず ザ ちくてい 備 中 高 松 城 水 攻 め 築 堤 跡

所 在 地 岡山市立田  
調査原因 公園建設  
時 代 戦国時代

調査期間 980413~980531  
調査面積 80m<sup>2</sup>  
担当者 高橋伸二・河田健司

**遺跡の概要** 備中高松城は足守川中流域の東岸の平地に位置する平城であるが、その攻略のため天正10(1582)年に羽柴秀吉によって築かれたのが備中高松城水攻め築堤跡である。記録によれば城の南東約500mの丘陵端部から足守川まで長大な堤防が築かれたとされているが、明治時代の鉄道工事の際に築堤の土砂が運び去られたため、現状では国指定史跡となっている蛙ヶ鼻の築堤跡を残すのみである。しかし、築堤の痕跡は水田の区画のなかに残されており、すくなくとも史跡指定地の丘陵端部から国道180号線付近までは明確にたどることができる。

**調査の概要** 国指定史跡となっている通称「蛙ヶ鼻築堤跡」の周辺で、公園整備が計画されたため、築堤の遺存状況を確認することを目的に発掘を実施した。

調査地は公園化が予定されている史跡指定地の南隣の水田で、築堤痕跡を横断する方向にトレンチを設定した。その結果、築堤の上部構造はすでに削平を受けているものの、いずれのトレンチにおいても現在の水田耕土の直下から約0.7mないし1m前後の深さで築堤の造成土層が確認された。造成土層は周辺の丘陵部から持ち込まれたと推定される花崗岩バイラン土が主で、その土層中から石灰岩製五輪塔の断片、陶器片、人骨などが出土した。造成土の最下層では杭列とともに「俵」の痕跡が確認され、築堤法の一端が判明した。また、その下には深い粘土層が堆積し、築堤前は一帯が湿地であったことがわかる。

**ま と め** 築堤の高さについては明らかにすることはできないものの、造成土の広がり、とくに杭列や俵痕跡の位置から、築堤の基底部幅がおおむね22mから24mであることが明らかとなった。この幅は、従来の伝承よりもやや広い。前年度に実施した備中高松城本体での調査とともに、水攻めの実態を知るための貴重なデータが得られたのである。



第1図 調査地点



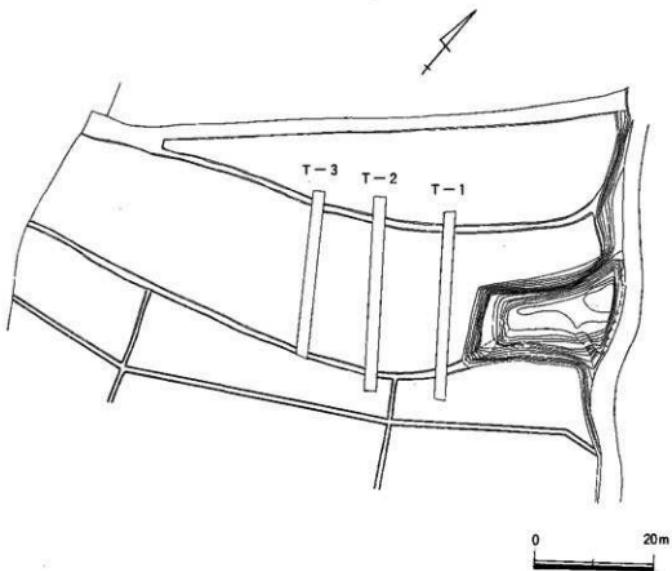
第2図 調査区全景



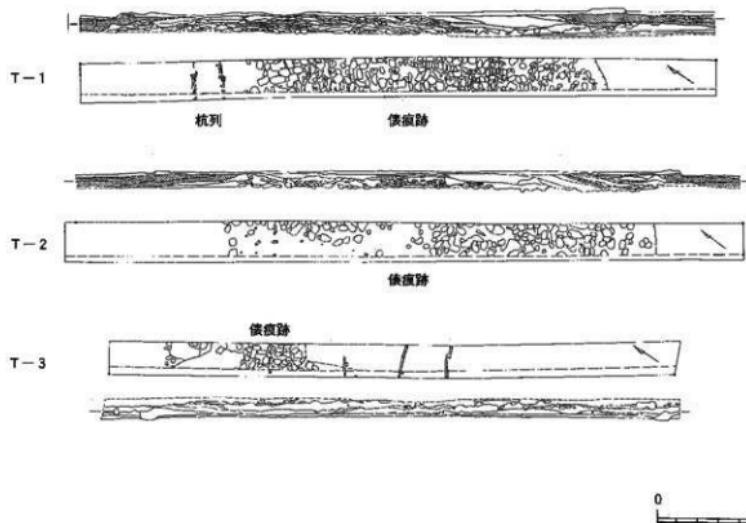
第3図 俵痕跡



第4図 築堤基底部



第5図 トレンチ配置図



第6図 トレンチ平面・断面図

## つしま 津島(電線地中化)遺跡

所在地 岡山市津島新野ほか  
調査原因 電線地中化  
時代 弥生～近世

調査期間 980513～980904  
調査面積 202.5m<sup>2</sup>  
担当者 扇崎由

**遺跡の概要** 津島遺跡は弥生時代前期の集落と水田が一体としてとらえられ、また弥生後期に至るまでの生活構造が連続と確認されるなど弥生時代の拠点集落としてつとに著名である。調査地点は津島遺跡指定地の北西にあたり、岡山大学構内への遺跡の広がりや性格の解明の一助となると期待された。

**調査の概要** 各々の調査区は $2.5 \times 4 \sim 6.5$ mと小面積ではあるが、B 3～15では津島地区一帯に広がる黒色土が存在し、このうちB 4・5・6・7・9・10・11・14で黒色土上に形成された水田のあぜを確認した。土器が出土しなかったので時期ははっきりしないが、周辺の調査から弥生早期から前期頃と思われる。

調査地点南部のB 13・14・15とそれをつなぐ管路では微高地基盤があり、古墳時代中期の井戸や弥生時代後期の柱穴・土坑・溝・河道などを確認した。

B 13では柱穴・土坑・溝を検出した。時期はいずれも弥生時代後期後半である。このうち、S P 3・4・5・8は組み合って総柱の建物になると思われる。SK 1は検出面からの深さはわずか5cmであったが、底面一面に炭化物が堆積していた。

B 14では、井戸と溝を検出した。SK 1は直径1.2m、深さ3mで上層中央部は土器や炭化物が特に多い。埋土最上層で須恵器壺小片が1点出土している。SD 3・4は弥生時代後期後半の溝である。

B 15では、弥生時代後期後半の土坑・溝などを検出している。

この他、B 12と13を結ぶ管路でもまばらながら柱穴を確認し、構造の広がりの北限をほぼ確認できた。また、B 13と14を結ぶ管路には、弥生時代後期後半の河道があり、北側の肩口に土器が集中していた。

今回の調査は、県営陸上競技場から岡山大学にかけて細長いトレンチをあけたようなものであるが、津島遺跡から北東に広がる微高地北限や、黒色土層の起伏やその上面で展開される初期水田の広がりを確認することができた。

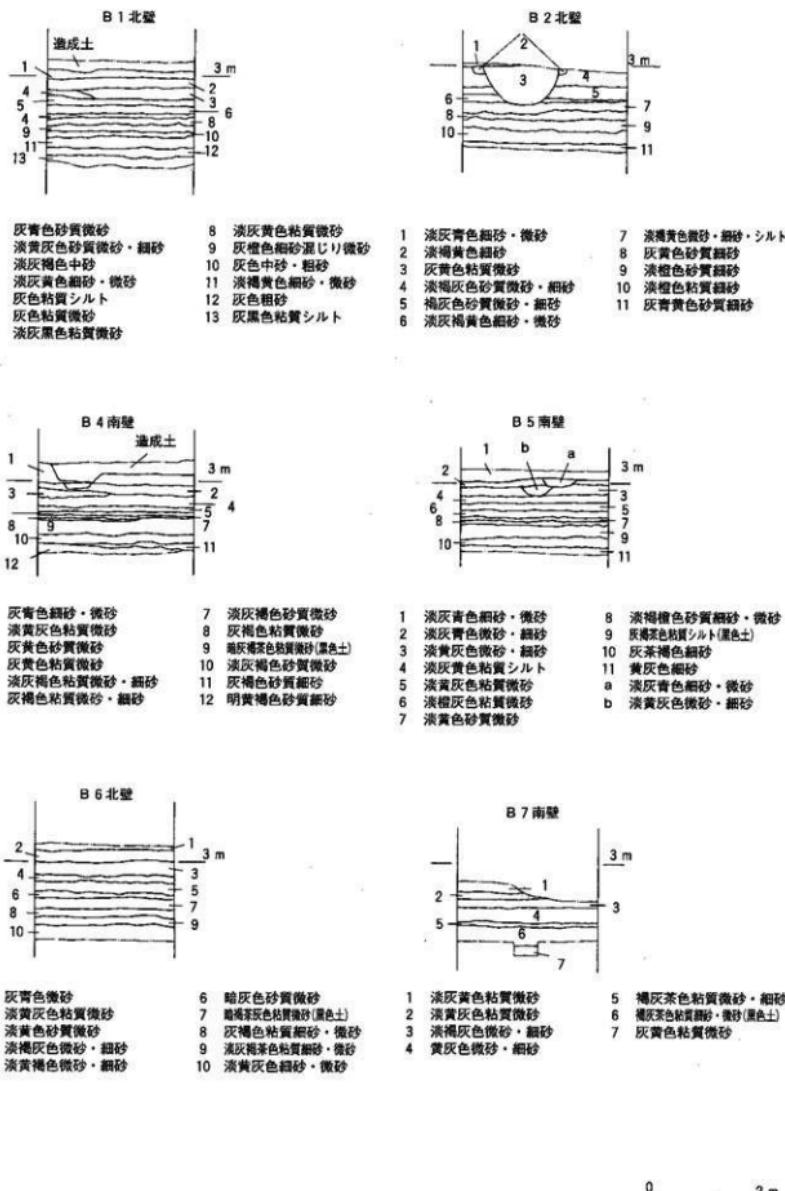
なお、小面積の調査のため鋼矢板の影響で磁北の記録ができなかったが、平面図の上がおおむね北である。



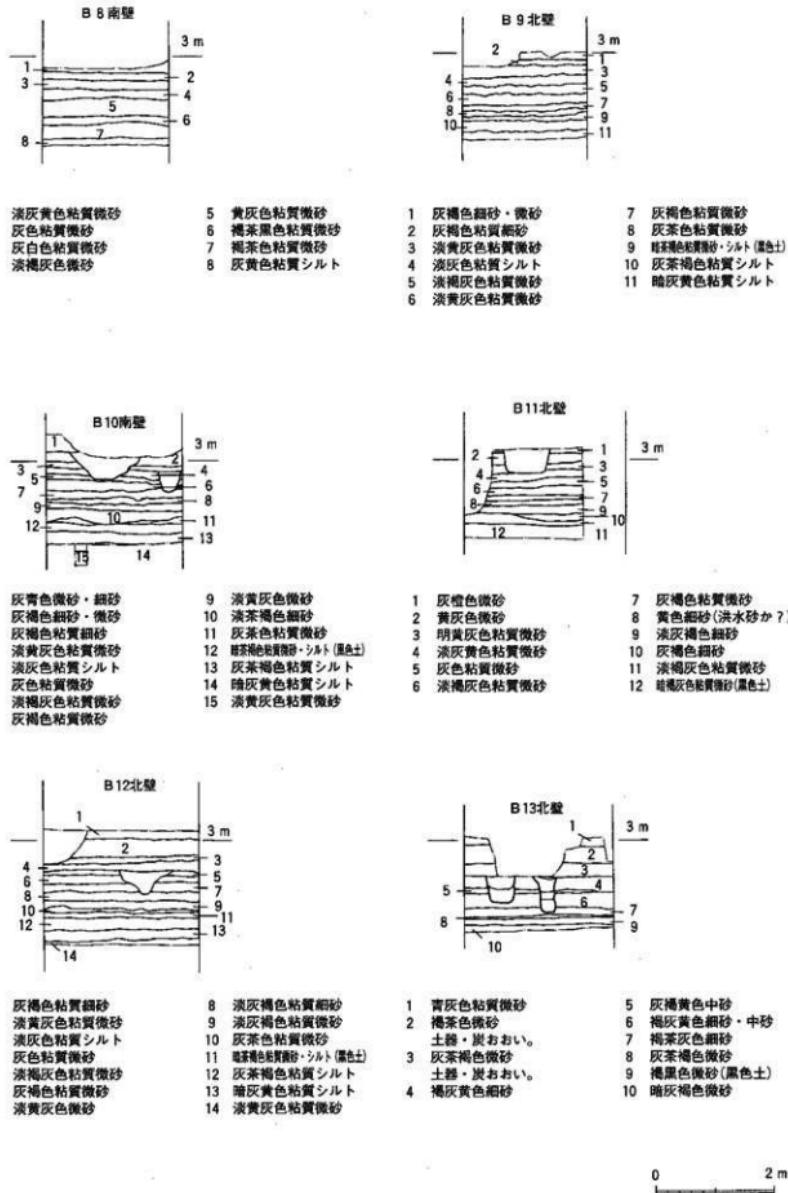
第1図 調査地点



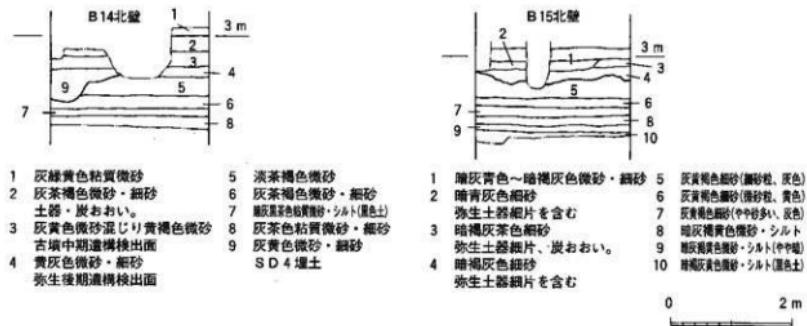
第2図 調査区位置図 (S = 1/2500)



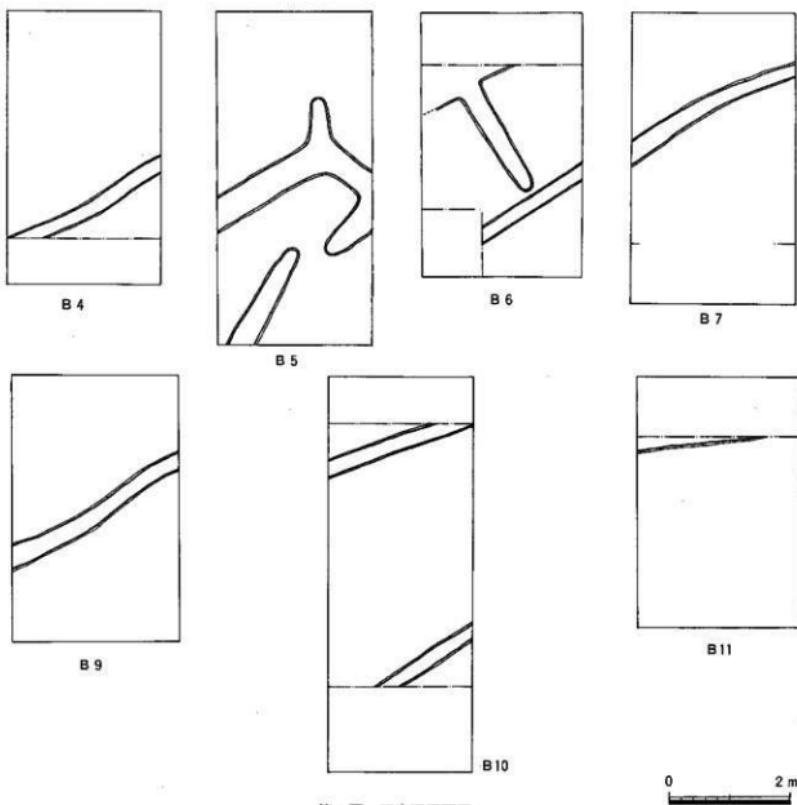
第3図 調査区土層図1



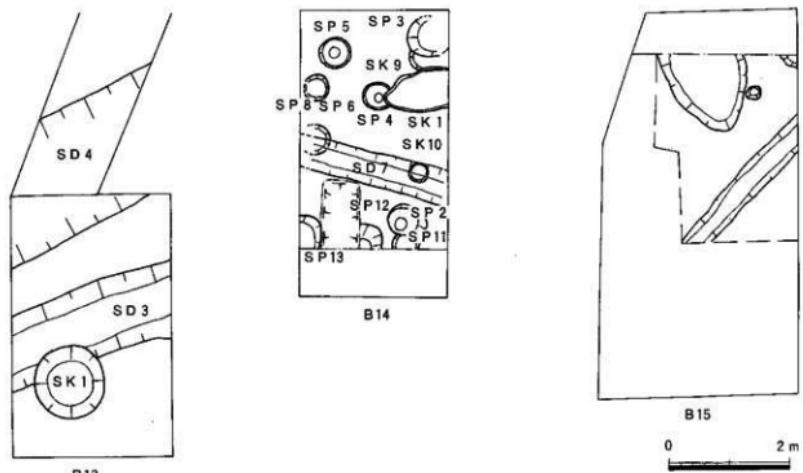
第4図 調査区土層図2



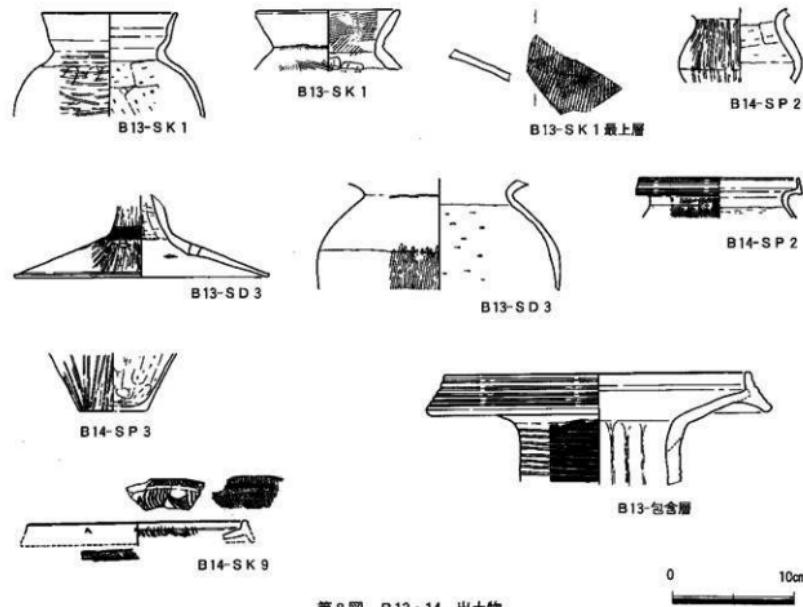
第5図 調査区土層図 3



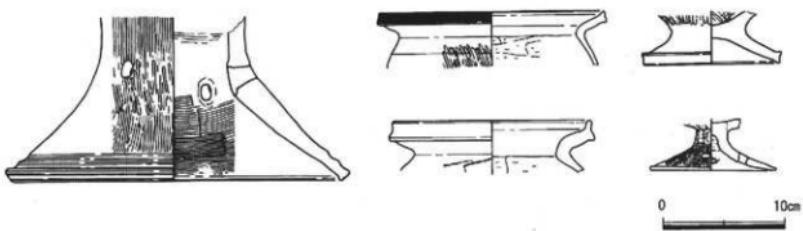
第6図 調査区平面図 1



第7図 調査区平面図2



第8図 B13・14、出土物



第9図 B13・14間管路-河道出土物



第10図 B15-南壁



第12図 B13-南壁



第11図 B7-黒色土上面、あぜ検出状況



第13図 B14-SK I 調査状況



第14図 B14-遣構掘り下げ状況

# つしま 島（下水）遺跡

所在地　岡山市津島中  
調査原因　下水道管理設  
時　代　弥生～近世

調査期間　990604～990827  
調査面積　78.9m<sup>2</sup>  
担当者　扇崎　由

**遺跡の概要**　調査区は岡山大学内にある。雨水調査区は、南福利施設建設に伴う調査で確認された微高地の広がりと、中世に開削されたといわれる座主川用水の掘削時期をつかむことが期待された。汚水調査区では、南福利施設で確認された微高地の南西への広がりや、遺構の有無・津島地区一帯に広がる黒色土とその上層に形成される初期水田層の有無などの解明が課題であった。

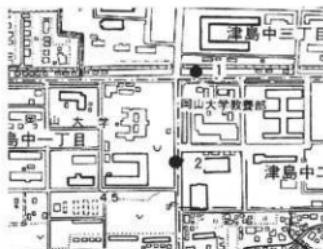
**調査の概要**　1. 雨水調査区　調査区の北端で近世後期の座主川用水と考えられる東西方向の河道を検出した。この河道の南側では北に低くなっている微高地基盤を確認した。この上面には段状ないし土坑状の掘り込みを検出した。幾度となく繰り返し掘削されたようで、時期も性格も不明である。このほか、微高地上の遺構は確認されなかった。微高地北端と近世座主川の間には段状ないし土坑状の掘り込みに先行する旧河道が存在する。

調査の結果、微高地上の明確な遺構は確認できなかったが、雨水調査区は微高地のほぼ北端にあり、座主川用水の初源は不明ながら少なくともこの地点においては自然地形を利用して設置されたであろうことが判明した。

2. 汚水調査区　調査区の東端で南北方向の近世後期の用水路を検出した。最上層は真砂土であることから上部は明治後期まで利用されていたと思われる。下層では板材や丸太材を利用して簡単な堰き止めを行っていた。漆塗りの箱の側板がここにかかっていた。

この調査区では、全体に地層に砂質が強く、他の地点で見られるような中世から近世の水田層は確認されない。3層上面で土坑ないし溝状の遺構を検出したが、土師質の小片を含むのみで時期の特定には至らない。また、標高2m付近では砂礫層になり、津島地区一帯に広がる黒色土は確認されなかった。

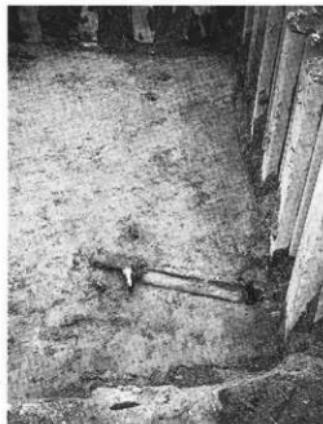
なお、小面積のため鋼矢板の影響を受け磁北を記録することができなかつたが、図の上がおおむね北である。



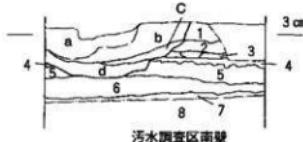
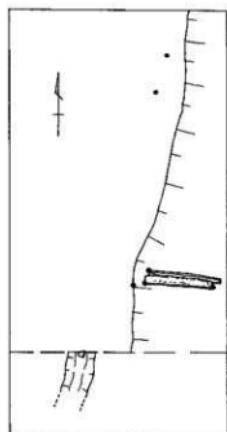
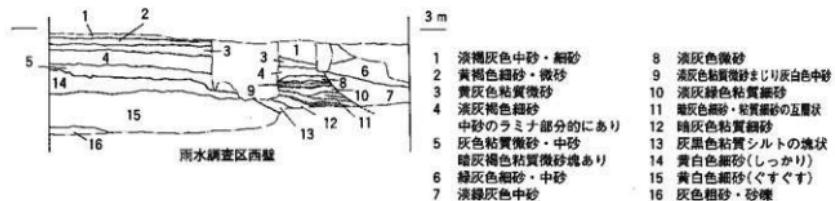
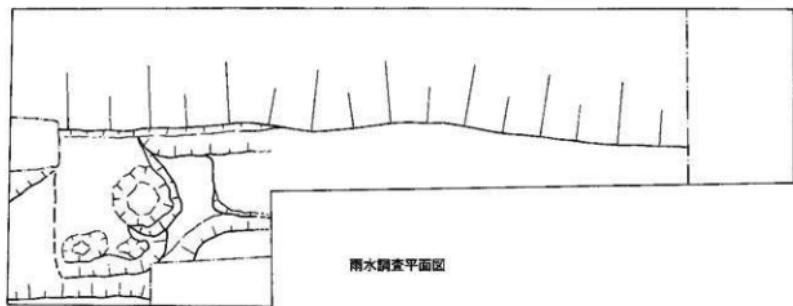
第1図 調査位置図



第2図 雨水調査区西壁



第3図 汚水調査区-満検出状況



1	灰褐色細砂・微砂
2	淡灰褐色細砂・微砂
3	灰色粘質微砂
4	褐灰茶色粘質細砂
5	灰黃褐色粘質細砂
6	黃褐色粘質細砂
7	淡灰褐色粗砂
8	砂礫層
a	真砂土
b	1～4層の塊状堆積
c	灰色粗砂
d	灰青色粗砂

0 2 m

第4図 各調査区平面図・土層図

## つしま 津島(ガソリンスタンド)遺跡

所在地 岡山市学南町二丁目207-1他 調査期間 980821~980822  
調査原因 ガソリンスタンド建設 調査面積 110.74m<sup>2</sup> (事業面積1694.66m<sup>2</sup>)  
時代 弥生時代~中世 担当者 高橋伸二・河田健司

**調査に至る経緯** 当該地にガソリンスタンド新設事業が計画された。当該地は都市計画道路万成国富線に面している。万成国富線は、県教育委員会が事前に発掘調査を実施しており、古代の大溝、弥生前期の水田跡等も検出されている。当該地も遺跡の所在が予想されたので、平成10年7月6日に試掘を実施した。その結果、中世遺構面と弥生水田跡の所在を確認したので、法第57条の2に基づく届出を提出し、遺構面に影響を及ぼさないよう指導した。

当該事業の内、建物部分の基礎掘削は、造成盛土高を勘案すれば遺構面に到達しないので工事立会とし、ガソリンタンク埋設部分については前期水田層に達するので、当教育委員会文化課専門職員が記録することで合意した。

**試掘の結果** 当該計画地の内、地下タンク部分に試掘坑1、建物部分に試掘坑2を設定した。その結果は、試掘坑1で地表下130cm付近に弥生時代前期水田層と推定される土層の存在が確認された。試掘坑2では、地表下約70cmに不安定ながら遺構面が認められ、浅い土壤状遺構が検出された。さらに試掘坑1と同様、地表下130cm付近に弥生時代前期水田層が確認された。

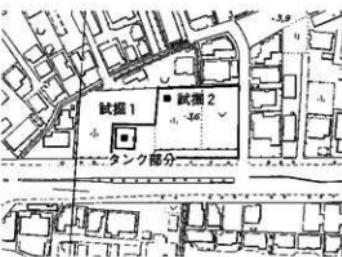
したがって、当該地は集落の縁辺ないし水田地に当たる遺構が形成されており、遺跡地と判断された。

**調査の概要と期末** 8月になり、ガソリンタンク部分の掘削工程になり、調査をするように連絡があった。しかし、現地に赴いたところ、すでに大半が掘削されていて、面的な調査は困難な状況であった。そこで施工者に厳重な注意をすると共に、法第98条の書類を提出し、現状での記録を急行った。

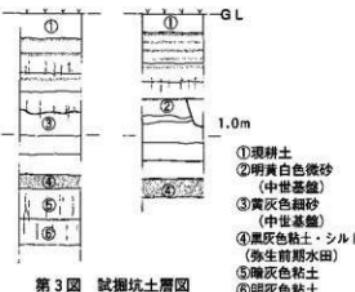
残存状況が比較的良好な南壁の土層を観察・実測し、当該地における遺跡内容の概況を記録することとした。その成果は、試掘結果を補正するような知見を得ることは出来なかった。ただ、前期水田土層に若干の起伏が検出され、畔の存在が予想できた。顕微鏡を



第1図 調査地点



第2図 試掘坑の位置 (1/5,000)



第3図 試掘坑土層図

載せておく。二度とこのような事態が起こらないよう  
にしていきたい。(神谷)

遺跡での無断土木工事に係る顛末書

平成10年8月17日

岡山市教育委員会 教育長様

広島市中区大手町二丁目7番10号  
広島三井ビルディング13階  
昭和シェル石油株式会社 広島支店  
支店長 乙部 覚

岡山市藤崎564番地の3  
株式会社江口建設  
代表取締役 江口太郎

遺跡での無断土木工事に係る顛末書

当社は岡山市学南町二丁目207-1外にガソリンスタンドを新設の予定でおりましたが、予定地が津島遺跡の周辺部にあたるとのことと、貴委員会と協議を行い事前に試掘・確認調査等を実施して、その結果を踏まえて工事が埋蔵文化財等に影響を与えないように文化財保護に努めてまいりました。

その結果、ガソリンタンク部分に間しましては掘削行為が避けられないとのことで、土木工事に先行して発掘調査を実施する事で貴教育委員会との協議がどとのい、工事関係者にも調査に協力するよう指示しております。ところが連絡の不徹底から工事担当者が、貴教育委員会に連絡をとる等の措置をすることなく、本工事に着手して発掘調査のできない状態にしてしまいました。

かかる行為は当社の不注意によりひきおこされたものであります、文化財保護法の精神に反することでもあり誠に遺憾なことと存じます。

事後の措置につきましては、貴委員会のご指示に沿って対応いたしますとともに、今後はこのような事態が二度と発生することのないよう十分に注意して実施する所存でございますので、よろしくお取りはからい下さいますようお願い申し上げます。



第4図 調査時情景



第5図 土層写真1



第6図 土層写真2

# 小山馬揃遺跡

所在地 岡山市門前字広田369-1ほか  
調査原因 店舗(ホームセンター)建設  
時代 中世

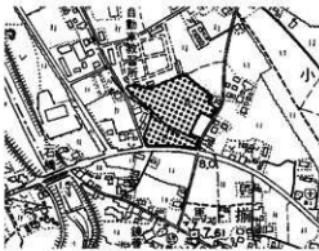
調査期間 980825～980904  
調査面積 約1500m<sup>2</sup>  
担当者 安川 満・河田健司

**遺跡の概要** 小山馬揃遺跡は岡山市小山・馬揃・門前にまたがって所在する、中世を中心とする遺跡の総称である。遺跡の南東域には弥生時代に遡る微高地も確認されているが、低湿地跡や河道跡などの比較的軟弱な地盤の地帯にも包含層・遺構が広く分布している。付近は近年、住宅団地の開発が活発であり、それに伴い郊外型の店舗建設も国道180号線沿いを中心に増加している。現在のところ、面的な調査例が極めて少ないため実体は不明な部分が多いが、立会調査、試掘調査により範囲は拡がりつつある。また、遺跡中には高松城水攻め築堤跡も想定されている。なお、今回の調査地点は、試掘調査であらたに発見された地点であり、遺跡の西端付近にあたるとと思われる。

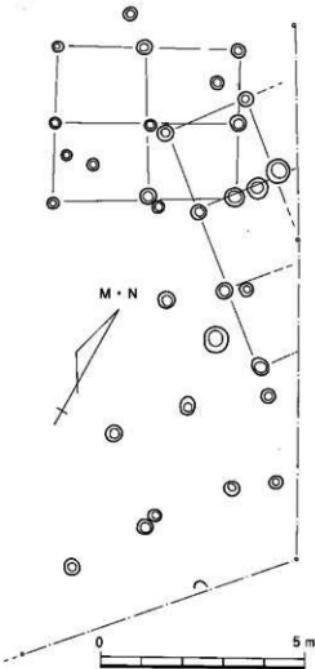
**調査の概要** 工事に先立って用地内に四箇所の試掘坑を掘削したところ、南東部の試掘坑3からごく薄いながら遺物包含層とみられる灰黒色細砂・微砂層と中世のものと考えられる柱穴を検出した。しかし、西と北側の試掘坑1・2では包含層は検出されず、中・近世水田層下は河道堆積層と考えられる粗い砂層となっていた。この時点では建物・調整池・浄化槽の予定位位置は河道にあたり、遺跡への影響は軽微と判断し、建物基礎や調整池等の掘削時に立ち会うこととした。しかし、調整池の1次掘削の際、河道堆積層の上面で複数の遺構を検出し、急速すべての掘削部分に対し発掘調査を実施することとなった。

検出遺構は調整池部分の南東端、建物基礎部分の南東部に集中している。検出面は河道堆積砂層の上面である。河道はわずかに含まれる土器類から平安時代に遡るものと考えられる。

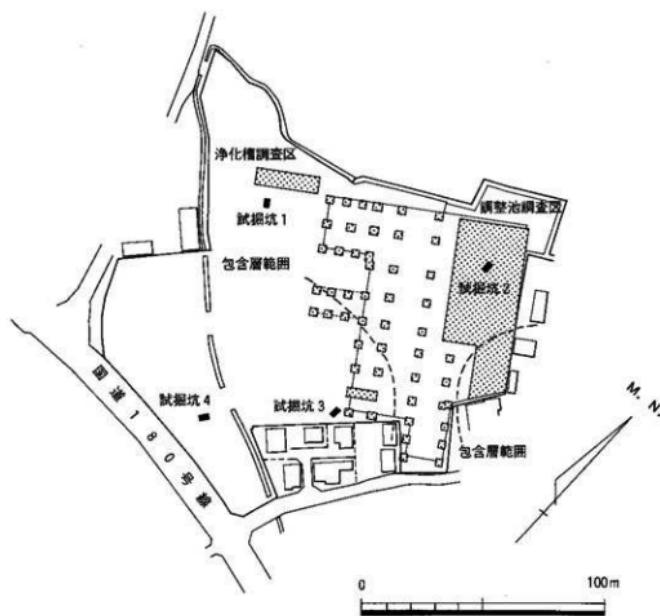
調整池南東部では中世の柱穴群を検出した。柱穴は組み合わせのわからないものも多いが、二間二間以上、三間一間以上の最低二棟の掘立柱建物が存在する。建物部分では柱穴のほか、性格不明のピット、土壙を検出したが、調査範囲が狭いこともあり組み合わせなどは認識できなかった。



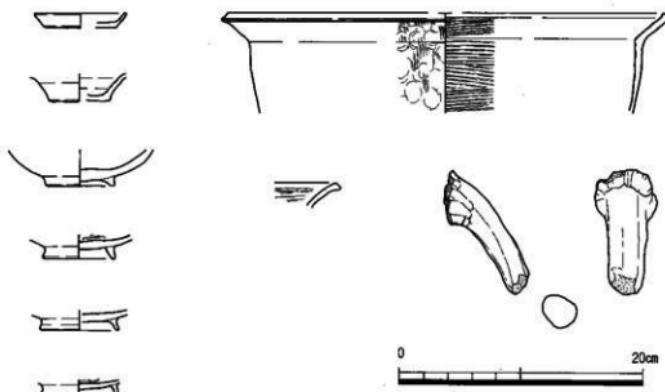
第1図 調査地点



第2図 検出遺構（調整池調査区）



第3図 調査区の位置



第4図 出土遺物

# 津島江道（岡北中）遺跡

所在地 岡山市津島東1丁目1-1

調査原因 校舎建設

時代 繩紋時代～

調査期間 981019～981113

調査面積 114m<sup>2</sup>

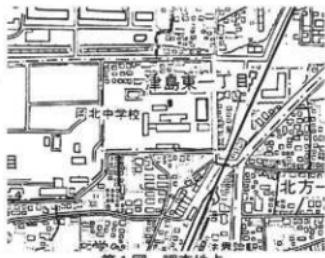
担当者 草原孝典

遺跡の概要 校舎本棟と1997年に調査をおこなった南棟とをつなぐ廊下の部分の発掘調査である。津島江道遺跡は、旭川西岸の沖積平野部に位置する。遺跡の立地する地形は、北東から南西へ延びる幅100m前後の細長い自然堤防である。

学校内や隣接地での発掘調査から、津島江道遺跡は繩紋時代から中世にかけての集落遺跡、官衙遺跡と考えられている。遺構・遺物のピークは、弥生時代後期から古墳時代初頭、古墳時代後期から奈良時代の2時期である。また、遺構の広がりは地形の高い位置を核にして、同じ微高地でも何ヶ所かの集中地に分かれようである。学校敷地内では、給食棟・体育館・本棟東半一帯と、南棟南半一帯の二つの集中地が確認できる。今回の調査区は、その中間にあたり、集落縁辺の様相がとらえられることが予想された。

調査の概要 検出できた遺構面は、近世、中世、古墳時代である。近世は方形の土壙が1基検出されたが遺物はほとんどなく、粘土取り穴のような用途が推測される。中世は、素掘り溝と小ピットが若干検出された。遺物も少なく、ここは基本的に耕作地であったと予想される。古墳時代でもその様相は変わらず、用水路と推測される溝が2本検出された。遺物は土器の細片が出土したのみで、細かく時期を限定するのは難しいが、給食棟調査区や本棟調査区で検出された微高地縁辺を廻る溝とつながることが予想され、古墳時代後期のものと推測される。なお、上層の水田層から古墳時代のものと思われる鉄鎌が1点出土している。

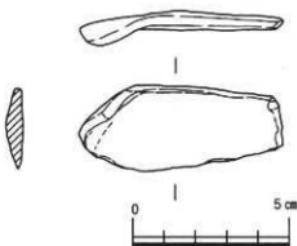
まとめ 狹い調査面積ではあるが、微高地縁辺の様相をとらえることができた。今回の調査区でもそうだが、微高地縁辺の溝は、微高地の形状に合わせて北東から南西にのび、低位に入ると西へ直線的にのびる傾向がある。つまり、水路とくに支水路は、微高地縁辺を除けば東西方向が主といえる。また、繩紋晚期～弥生前期の水田層がしばしば上面に形成される黒褐色土は存在するが、畠などの遺構は認められなかっ



第1図 調査地点



第2図 中世遺構面



第3図 鉄鎌

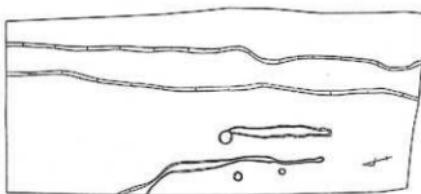
た。あったものが削平された可能性も残るが、ここは水田化されなかったということも十分考えられる。その下層では、縄紋後期の造構が展開しうる基盤土も確認されたが、遺構・遺物は検出されなかった。南棟の発掘区ではこの基盤土はなかったのに対し、給食棟と本棟の発掘区では基盤土や造構・遺物が確認されており、縄紋後期の生活域は学校敷地の北半に限定される可能性が高い。



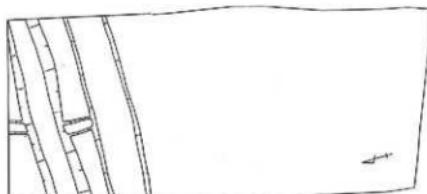
第4図 古墳時代遺構面



近世遺構面



中世遺構面



古墳時代遺構面 0\_1m

第5図 各期の遺構

おかやまじょうにのまる  
岡山城二の丸（榎原病院）石垣

所在地 岡山市丸の内二丁目7-28、9-10の一部

調査原因 病院建設

時代 近世

調査期間 990105~990113

調査面積 100m<sup>2</sup>

担当者 乗岡実・安川満

**遺跡の概要** 岡山城の本丸は旭川畔にあり、公園緑地としても保存と活用がなされているのに対し、内堀を挟んだ西側は岡山城の主要部(二の丸内屋敷)でありながら都市化が進んでいる。一带は地山の丘に因んで石山と呼ばれ、西端には西の丸がある。東端は石山最高所として岡山藩主池田家の祖廟があった郭があり、戦国大名の宇喜多直家が、天正1(1573)年に入城した時の本丸との伝承をもち、石山で唯一の国史跡指定地となっている。発掘地は、その北西の隣接地で、祖廟跡の頂から8mの段差をもって低い。祖廟跡から西の丸へと続く繋ぎの郭の北斜面である。

**調査の概要** 病棟建て替え工事に際し、現地表下3m以深で埋没石垣を発見した。この石垣は、西をやや北に振りながら東西に延び、江戸時代の城絵図にも示されている。絵図によると東は史跡石垣まで延びるが、検出した東端は史跡石垣から13mの位置で、東に高まる岩盤に当たって終わる。石垣の高さは最大で2.8mの4段積みであるが、本来は3mを越えたとみられる。しかし、断面の立ち上がりが80度を越えて急であることなどから、4mを越えるような高石垣とは考えられない。絵図との整合性を考えると、いまの東端と史跡石垣の間は、列石に近い石組で繋がっていたのかもしれない。石垣の最下段は、東部では岩盤、中・西部ではマサ土による造成土に据えられている。石材は最大長辺1.9m、長方体に近い花崗岩の割石で、随所に矢穴を残す。最長辺を石垣面の横にとって積むものが多い。石垣面から背後1.6mまでは、裏込の円礫が充填されている。構築年代の決め手となる出土遺物はないが、石垣の特徴からして、宇喜多直家はおろか宇喜多秀家・小早川秀秋期までも遡りえず、池田期に入って造られたものとみられる。なお、この年代観は東の史跡石垣についても同様である。

国・県・原因者との協議により、発見石垣は将来の復元を前提に解体して石材を保管し、二期工事が予定されている西側延長部については、設計変更して保存する運びとなっている。



第1図 調査地点



第2図 検出石垣（北西から）

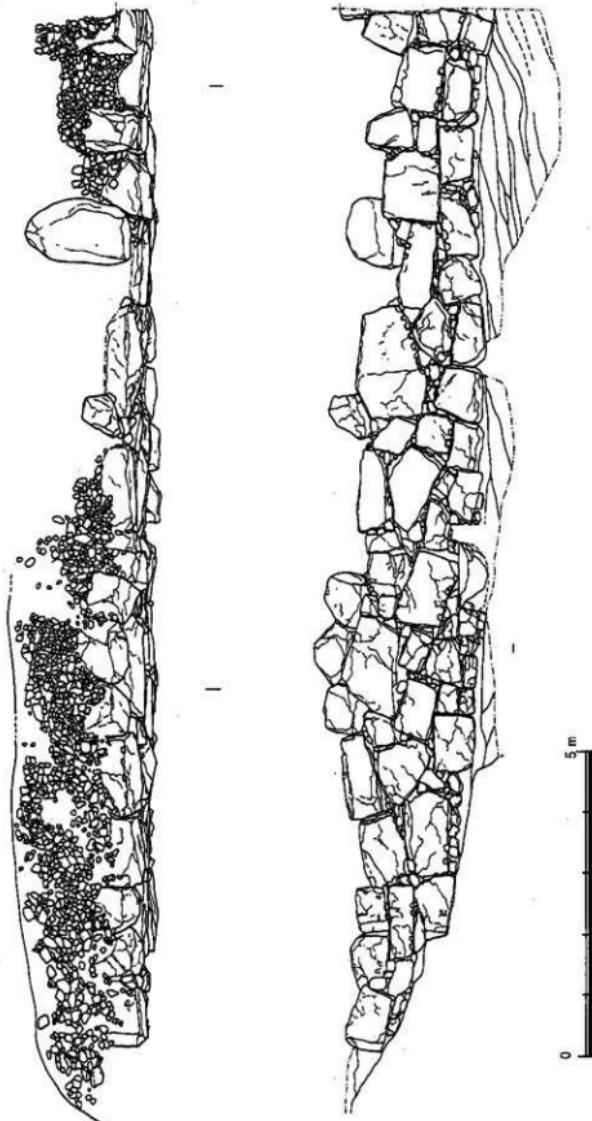


第3図 検出石垣（北東から）



第4図 石垣背後

第5図 様出石通



## ハガ(高島小)遺跡

所在地 岡山市国府市場  
調査原因 運動場の拡張  
時代 古代～中世

調査期間 990105～990507  
調査面積 453m<sup>2</sup>  
担当者 草原孝典

**遺跡の概要** ハガ遺跡は、旭川東岸の平野部に位置する。周辺には多量の舶載鏡を出土した備前車塚古墳や、上道氏の氏寺とされる賞田廃寺、幡多廃寺などがあり、古代における中枢地の一つであったことがうかがわれる。また、地名が示す通り、備前国府は一帯にあったことが古くから考察されており、当發掘地の西約200mにある南古市場(高島公民館)遺跡からは平安時代前期の越州窯青磁をはじめとして多量の土器(主に食膳具)が出土しているなど、国府中枢地がすぐ近くにあることが予想できる。今回の發掘でも、国府中心地を追究する手掛りとなる遺構・遺物が期待された。また、当遺跡の南約100mの位置にある中井・三反田遺跡では墳丘を削平された5、6世紀の小形古墳が群として検出されており、この古墳群の北限、もしくは母体となる集落が検出されることも考慮された。

**調査の概要** 検出された遺構面は3面で、それぞれ9～10世紀、11～12世紀、12～13世紀である。7世紀の遺構も1つ確認した。而してのひろがりはなかったようである。

9～10世紀面では、掘立柱建物1棟、土壙、溝が検出された。掘立柱建物の柱穴は一辺約1mの方形平面を呈するもので、相当に大規模な建物があったと考えられる。土壙はいくつか検出されたが、三彩の瓶片が出土したものがあった。この土壙には高杯、杯、鉢なども含まれており、該期の土器の組み合わせを示す良好な資料である。溝は調査区の西側と南側で検出しておらず、幅1.8mと幅0.8mの2本が平行して磁北に方向を合わせている。溝間は3mである。調査区はこれらの溝が方形に囲む一角に位置するものと推測され、当調査区はその区画の西限と南限の一部に相当する。こうした遺構や遺物の組み合わせは一般集落と異なり、官衙の一部であった可能性が高い。

11～12世紀面は、遺構としては西側調査区の築地の基礎状の高まりだけである。これは後の水田の畦畔として利用され、かなり削平を受けていることもあり、今回の發掘ではこの時期の可能性があるといったとら



第1図 調査地点



第2図 9～10世紀面



第3図 9～10世紀面遺物出土状況

え方しかできない。しかし、遺物は土器のほかに軒丸瓦、軒平瓦など、多く出土している。また、平安時代の泥塔も数個体分あった。瓦は山陽町の備前国分僧寺や長船町の服部廃寺と同文のものがあり、とくに軒平瓦は前者と同文のものが主体を占めている。瓦や泥塔、築地状の遺構などから寺院があったことは確実であるが、瓦当文様が国府直轄の国分僧寺や、国衙領内にある服部廃寺のものと共通することから、国府と極めて緊密度の高い寺院であったと思われる。

12~13世紀面は、北側と東側で溝が検出され、当地の耕作開発のための水路と推測される。この時期の開発によって、9~12世紀の遺構面はかなり削平を受けている。

このほか調査区の東側では一辺1.2mほどに集石した塚状遺構も検出しており、その遺構の下部には深さが0.8m、径1.0m以上の土壠が確認された。共伴した備前焼や層位から16~17世紀のものと考えられる。周辺には明辨寺合戦時の首を埋めたとの伝承をもつ塚が多数あったらしく、この遺構もその一連と推測される。

**ま と め** 今回の調査は、調査区の幅が平均1.5mとかなり限定された条件のもとであったが、平安時代前期の官衙らしき遺構や、平安時代後期の国府との関連が強く窺える寺院の存在を具体的に想定することができる資料が得られた。9~10世紀の遺構面では、調査区北側中央で掘り方が一辺1mもある柱穴で構成された建物があり、しかもほぼ磁北に方向を合わせている。西側の調査区では、2本平行する溝が磁北に向いており、東側の調査区でも区画を想定させるような磁北方向の溝が検出されている。ただし、東側の調査区の溝については、調査区の幅に規制されて、平行するような溝の有無が確認できないことや、西側調査区の溝と比べてやや小規模であることから、建物等に伴うような溝の可能性を考えている。しかし、東西両調査区の溝がセットとなって区画を形成していくとすると、一辺50mほどの区画ということになり、調査区の設定されている敷地は、その区画の南半1/3程度に相当することになる。この点については本体工事に伴う調査によって明らかになるものと思われる。

11~12世紀の瓦の研究では、地方と平安京とに分布する同范・同形瓦から、国司の介在する流通關係を明らかにしているが、ここで出土した瓦は、在地において国府がどのような形態で瓦の流通を掌握していたのかを解明する手掛かりとなりそうである。これから遺構・遺物の整理をさらに進めて、遺跡の性格を慎重に検討していきたい。



第4図 11~12世紀面の瓦出土状況



第5図 塚状遺構

みなみがた ちょうせんじ  
南方(長泉寺)遺跡

所在地 岡山市南方三丁目10-14 調査期間 990111~990129  
調査原因 納骨堂建設 調査面積 42m<sup>2</sup>  
時代 江戸時代 担当者 扇崎由・高橋伸二

**遺跡の概要**　調査地は旭川西岸の沖積平野に位置し、調査地点の南側に南方塗田遺跡が隣接する。周辺部での試掘調査などから、寺に関連した近世遺構のか、弥生時代の遺構も予想された。

**調査の概要**　発掘は本堂西側の墓地に建設される納骨堂の予定地を対象とした。調査着手時すでに墓地の石塔類は移転されていたが、地表下70cm程度の深さでカメ棺墓11基、木棺墓2基を検出した。これらは、いずれも二基を一単位とした配列が認められることから、いわゆる「夫婦墓」の形態であると推定される。

副葬品には磁器碗、銭貨類などがあるが、木棺墓のひとつからはガラス瓶、箱庭道具と推定される陶器類が出土した。発見した埋葬は、磁器碗の年代などから、大半が19世紀前半のものとみられる。

さらに下層については、土器細片を若干採集したものの明確な遺構を検出しえなかった。

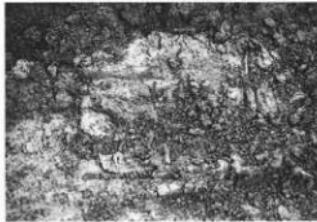
**まとめ**　弥生時代の集落関連の遺構は確認されなかったが、岡山市内では調査例が少ない江戸時代後期の墓地の実体が明らかとなった。



第1図 調査地点



第2図 石棺検出状況



第3図 木棺検出状況



第4図 木棺断面

# にしむらかいづか 西村貝塚（市道）遺跡

所在地 岡山市神崎町2480-1ほか22筆

調査原因 市道拡幅

時代 中世

調査期間 990120～

調査面積 1080m<sup>2</sup>

担当者 高橋伸二

**遺跡の概要** 西村貝塚は吉井川河口部東岸の丘陵上に位置する。この丘陵部の南斜面では掘から中腹にかけて、ほかにも多数の貝塚が知られており、その多くはハイガイを主とする小規模なものである。岡山県南部の旧海岸沿いの丘陵部では、こうした中世貝塚が展開し、一帯はその集中地のひとつとなっている。

**調査の概要** 調査は市道の拡幅工事にともなうもので、丘陵頂にある神前神社付近から山裾までの広範囲にわたる。このうち、今年度は丘陵の上半部にあたる側所が対象となった。

今回の調査地で検出された遺構は、貝塚2個所のほか、溝、柱穴類などである。貝層はいずれも既存の道路によって一部が削り取られており、以前より路肩に貝層の断面が露呈していた。貝種はハイガイがほとんどで、少量のシジミが混じるが、遺物は両貝塚とともに若干の陶器片、土師質土器片が検出されたのみである。

貝塚周辺のわずかな平坦面で、溝や柱穴類が確認されたが、溝内から土器細片が少数出土したほかは、共伴遺物は検出されなかった。

**まとめ** 岡山県南部で広く確認される古代末から中世にかけての小規模貝塚の調査例のひとつとなつたが、発掘対象地が狭小なため柱穴の配列や時期などをひとつ判然としなかった。次年度の丘陵下半部の調査に期待したい。



第1図 調査地点



第2図 貝塚1



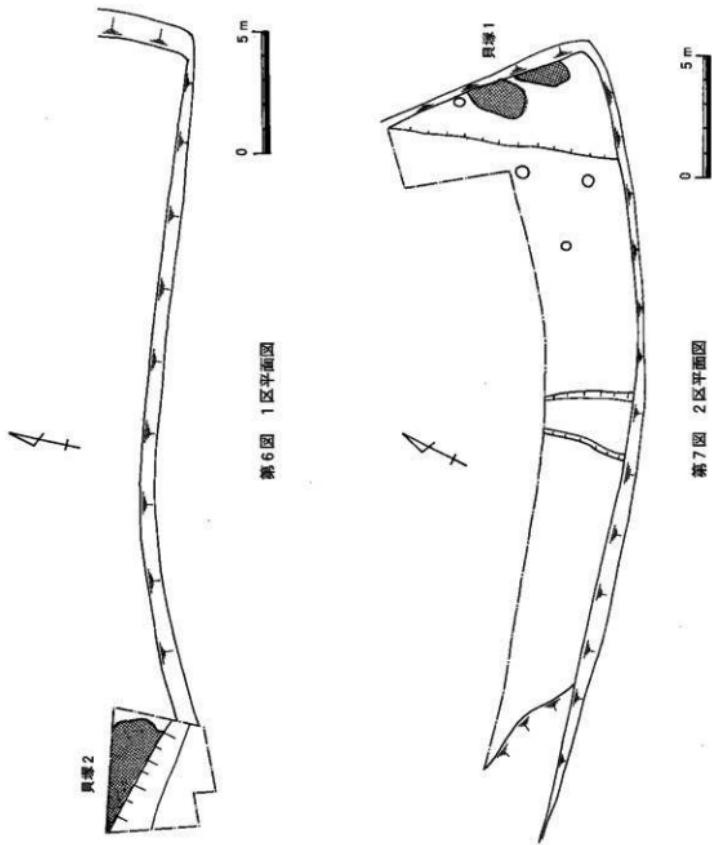
第3図 貝塚2



第4図 調査区全景



第5図 調査区配置図



第6図 1区平面図

第7図 2区平面図

# 津島江道遺跡

所在地 岡山市学南町三丁目749-1 ほか

調査原因 集合住宅建設

時代 弥生時代後期～古墳時代初頭

調査期間 98.11.27

調査面積 約30m<sup>2</sup>

担当者 安川 満

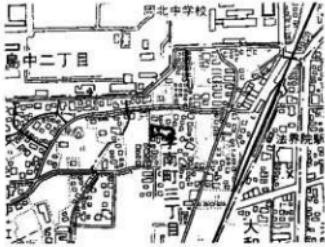
**遺跡の概要** 津島江道遺跡は岡山市学南町二丁目、三丁目、津島東一丁目にかけて所在する縄文時代晚期から古代にわたる複合遺跡である。周辺には弥生時代前期の中核的な集落である津島遺跡、縄文時代後期の集落を含む津島岡大遺跡などが展開する。これまでに岡北中学校や県青年館の敷地が発掘されており、突帯文土器の段階に遡る水田跡や官衙的と言われる掘立柱建物群などが検出されている。

**調査の概要** 調査地は岡北中学校から南に約200mの地点である。確認調査により地表下30～50cmに遺物

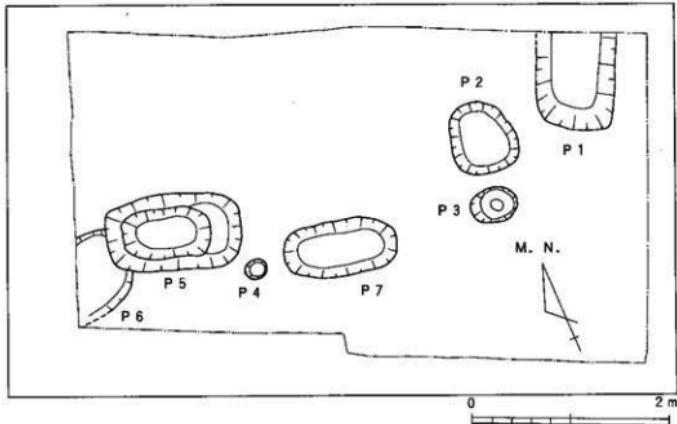
包含層があり、その下の黄褐色微砂・細砂層を掘り込んで遺構が存在することが判明した。

さらに下層の地表下135～155cm付近には、弥生時代前期の水田層と思われる黒褐色シルト層がある。周囲では現地表の耕土にさえ土器片が散乱し、重層的かつ濃密な遺構の存在が予想された。この結果をふまえ、造成土をかさ上げするなど建物の基礎掘削が埋蔵文化財に達しないように設計変更するとともに、掘削が深くおよぶ浄化槽部分については工事に立ち会うこととした。

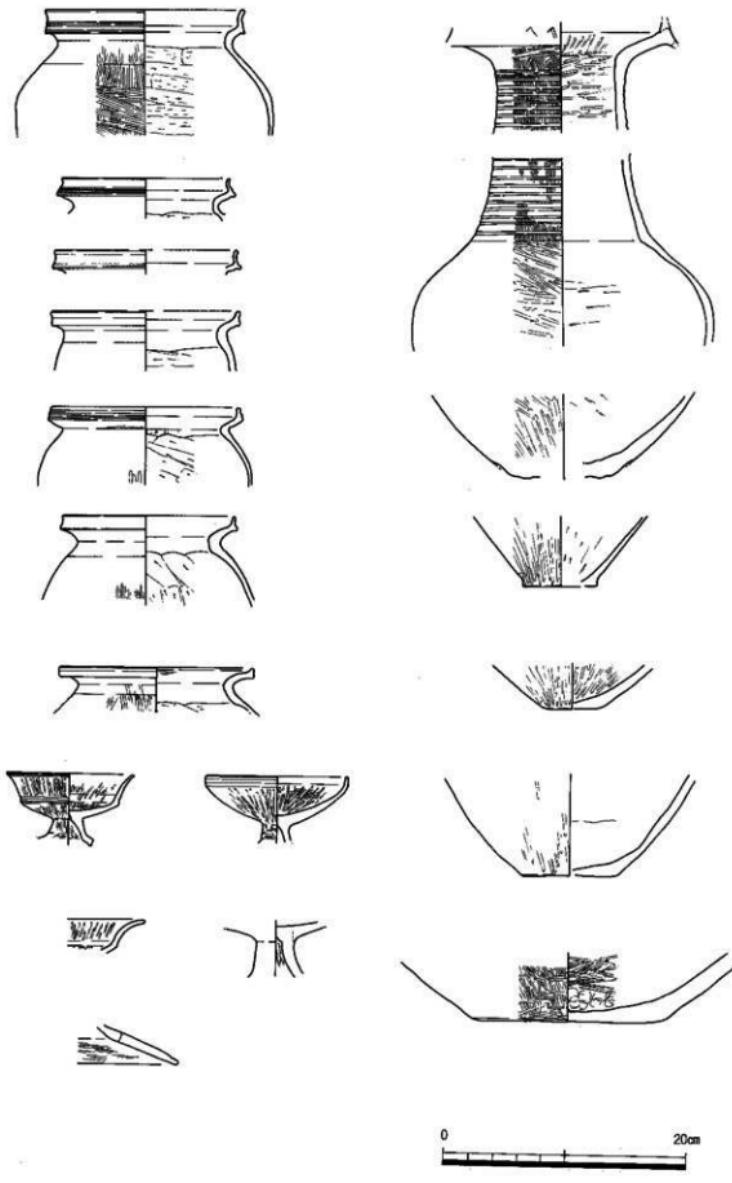
浄化槽部分では数基の遺構を検出した。ほとんどが性格不明だが、P1、P5は土壤墓の可能性がある。P1は幅約80cm、長さ100cm以上の隅丸長方形の土壤で、埋土中から多量の弥生時代後期末の土器が出土した。P5は、幅約80cm、長さ約140cmの土壤であり、やはり埋土中に多量の土器を含んでいた。



第1図 位置図



第2図 浄化槽検出遺構 (S=1/50)



第4図 P1 出土土器 (S=1/4)

しせきおかやまじょうほんまるした の だん  
史跡岡山城本丸下の段 (第2次)

所在 地 岡山市丸の内二丁目

調査期間 98.11.18~99.03.31

調査原因 史跡整備

調査面積 800m<sup>2</sup>

時代 近世

担当者 乗岡 実

**遺跡の概要** 近世城郭としての岡山城の基本構造を成したのは宇喜多秀家で、慶長2年(1597)に完成したと伝わるが、以後の城主の小早川秀秋や池田氏も整備改造を行った。本丸は旭川の西岸にあり、天守のある本段、西に一段下がった中の段、それらを取り巻く下の段からなり、国指定史跡岡山城跡の中核部をなす。史跡整備を目指しての発掘調査は、中の段の完了をうけ下の段に着手しており、当年度はその第2次調査にあたる。

**調査の概要** 江戸時代の絵図に示された櫓や蔵などを、遺構として確認できた。また、さらに深い層位では、石垣の根や石組を検出し、宇喜多秀家の本丸普請工事(伝1590~1597年)から続く40年間ほどの間に、下の段が頻繁に改造されたことも判ってきた。秀家期の下の段は、石垣、櫓・蔵など、軍備や施設が十分に達成されておらず、生活面もかなり低い。

**◎南東部の本段石垣** 石垣は、最深部が現地表下3.0mにあり、高さが約16.0mとなる。胴木は用いない。自然石を横に積んだもので、構築に前後する造成土の遺物から、宇喜多秀家が積んだことが追認できる。関ヶ原以前の石垣では全国屈指の高さとなる。基底がそれだけ深いのは西部で、東は浅くなり、東端の隅では自然の露岩に直に乗せられていて基底は4mも高くなる。この巨岩は、本段に埋め込まれた丘の裾で、本段石垣の隅の位置を規定したに違いない。

石垣構築直後の地盤は、西側で現在地表下2.5mの深さにあり、以後に4~5度の地盤の重上げが行なわれている。1632年に池田光政が岡山城に入る頃までに地盤は現地表下0.4mまで上がり、それが明治維新まで続く。東端の露岩前面では、海拔2m以下に砂礫の自然堆積があり、秀家の生活面形成に先立って、川が流れていたことが判る。付近の旭川は本丸造営に際して、新たに秀家が掘ったとの伝承は否定される。

石垣前から膨大量の瓦と少量の陶磁器が出土した。特筆すべきは、秀家期の地表に伴う金箔おしの大形獅子口である。石垣上から落ちた状況で、秀家期の本段



第1図 位置図



第2図 南東部の蔵跡



第3図 檻櫓と多門(手前)の櫓台



第4図 宍粟櫓の櫓台

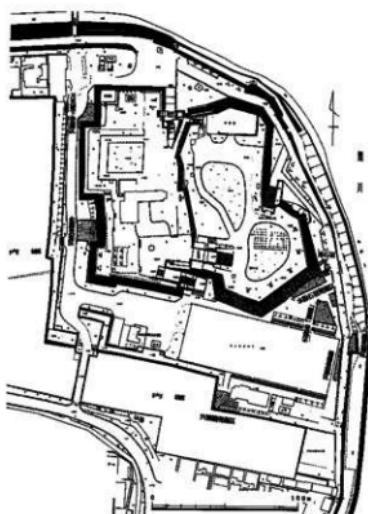
にはこの瓦を戴く御殿建築があり、しかも続く短期のうちに改造もしくは建て替えがあったことが窺える。

◎南東部の蔵 先の高石垣の南で、絵図に蔵が示された位置では、17世紀前半までの遺物を含む造成土の上に、蔵の壁が載ったとみられる石組を検出した。ただ、その東西幅は8.4m(4間半)あり、17世紀末の絵図に示された幅3間とは一致しない。絵図の間違いでなければ、絵図に示された蔵の遺構は失われ、それより古い蔵の遺構となる。さらに、造成土を挟んで下層でも、同様の石組が検出され、石垣前でもみた地盤の重上げに対応して、17世紀前半のうちで蔵の建て替えがあったことが判る。秀家期やその次の生活面は、下層の石組よりもさらに深く、金箔おしの桐文鬼瓦などを伴うが、砂礫の流水堆積に抉り込まれた個所があり、旭川の洪水で壊滅的な被害を蒙ったことが窺える。

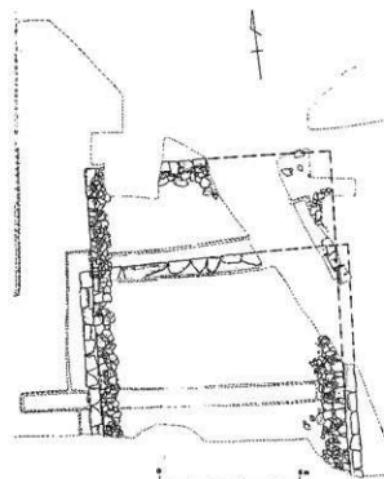
◎南東部の弓櫓・檜櫓・多門櫓 最北の弓櫓では旭川に張り出す櫓台の頂部を掘り、礎石4個を検出した。南隣の檜櫓は、城内へ張り出した西半部が削平され現地表に痕跡を留めてなかったが、基底はよく残っており、櫓台の南北16.4m(9間)が測れた。櫓台の芯には角石が充填されている。その南に続く多門櫓でも、西辺の石垣と階段の基底が残っていた。これら櫓台の城内側石垣は、宇喜多秀家期以降の瓦を含む造成土に載り、前池田氏の時期に築かれた可能性が強い。そうすると、組み合う旭川側の現役石垣も宇喜多期には未だなく、秀家期の旭川畔は土手であったとも見通せる。

◎南部の内堀に面する宍粟櫓 樓台の頂部は南北7.6m(4間)、東西13.5m(7間)で、割石と円礫が敷きつめられていた。大きな割石は礎石とみられる。丁寧な造りの床というだけでなく、たとえば火薬類を保管するための防湿策の可能性が考えられる。櫓から北に下りる階段も残っているが、直下の石材から、さらに古い階段が埋め込まれている可能性がある。

◎西部の金蔵 絵図に金蔵が示された辺りを発掘し、金蔵の壁の痕跡ともみられる石組、それを取り巻く石組排水溝が検出した。また、中の段の南西に建っていた大納戸櫓の櫓台石垣の根を掘り下げて、直下の造成土の遺物から、この櫓が秀家の時には未だなかったという中の段の発掘成果が追認できた。さらに下層には粘土堆積があり、かつては湿润な低地であったことが判る。



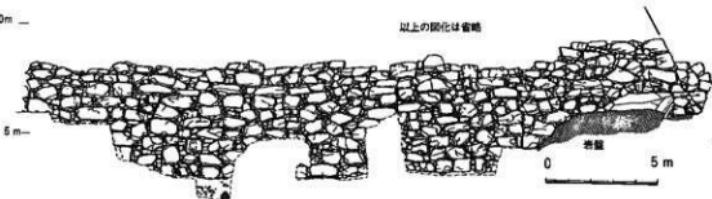
第5図 発掘位置



第6図 南東部の蔵（新・古）跡

T. P10m

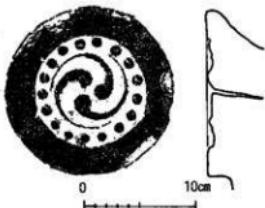
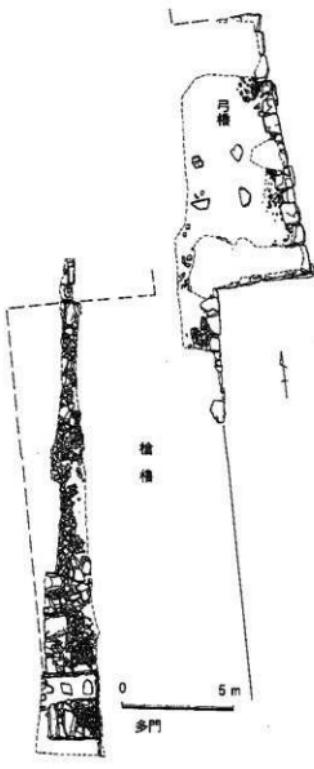
以上の開化は省略



第7図 南東部の本段石垣立面



第8図 穴棊檜平面



第10図 金箔おしの獅子口 (絆巻部)

第9図 南東部の椎群

## II. 埋蔵文化財関連の協議と調整

日本列島不景気の嵐が吹き荒れている。立会に出かけて作業員同士の話を聞くとはなしに聞いてみると、景気のいい話は出てこない。仕事が無い無いの言葉ばかり。対岸のことと思っていたら、どうもこちらにもリストラの波が押し寄せてくる気配。埋蔵文化財の調査や保護に専念できることも難しい世の中になってきたのか・・・。

1998年度は、建築確認申請時に271件の埋蔵文化財に関する相談があり、そのうち144件の浄化槽設置時立会に対応した。事前の試掘・確認調査には23件対応し、13件について遺物包含層を確認した。

岡山市教育委員会で取り扱った埋蔵文化財発掘の届出・通知等（直営分を含む）の一覧は以下のとおりである。件数としては例年並みに推移している。一覧は文化課受付日において年度の区分けをしている。

埋蔵文化財発掘の報告（98条の2）	10件
埋蔵文化財発掘の届出（57条の3）	25件
埋蔵文化財発掘の届出（57条の1）	6件
埋蔵文化財発掘の届出（57条の2）	46件
指定史跡の現状変更許可の通知（80条）	10件（進達5件）
遺跡発見の届出・通知（57条の5・6）	5件
埋蔵文化財試掘調査・確認調査報告	23件（進達1件）
埋蔵文化財認定通知	15件

このほか、市域内での発掘調査として以下の遺跡がある。詳細は『岡山県埋蔵文化財報告29』（岡山県教育委員会1999年）に紹介されている。

- ・百間川米田遺跡（旭川放水路改修工事に伴う発掘調査）
- ・百間川原尾島遺跡（旭川放水路改修工事に伴う発掘調査）
- ・天瀬遺跡（一般国道2号京橋共同溝建設に伴う発掘調査）
- ・津島遺跡（岡山家庭裁判所所長宿舎建て替えに伴う発掘調査）
- ・北方藪ノ内遺跡（都市計画道路万成国富線建設に伴う発掘調査）
- ・北方地蔵遺跡（都市計画道路万成国富線建設に伴う発掘調査）

## 埋蔵文化財発掘の通知（第98条の2 第1項） (10件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	遺跡の時代
高松城水攻め築堤跡	その他遺跡 (堤防跡)	岡山市立田797ほか	120m <sup>2</sup>	公園造成	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19980415～ 19980530	中世・近世
津島遺跡	散布地	岡山市学南町二丁目 日、津島新野一丁目、 津島中一丁目の市道	249.2m <sup>2</sup>	電線地中化による市道の整備	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19980518～ 19980633	弥生・古墳・奈良・平安・中世
津島遺跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市津島新野一丁目 日、津島中一丁目	110.53m <sup>2</sup>	その他開発 (下水道)	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19980611～ 19990331	弥生・古墳・奈良・平安・中世
津島遺跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市学南町二丁目 207-1・3、208-1・3、 209-1・3	110.74m <sup>2</sup>	その他建物 (ガソリンスタンド)	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19980821～ 19980831	弥生・古墳・奈良・平安・中世
小山馬道跡	散布地・ 集落跡	岡山市門前字広田 369-1外3塁、小山 字屋里523-6外1塁	1,500m <sup>2</sup>	その他遺物 (店舗)	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19980825～ 19980904	中世
津島江渡遺跡	集落跡・ 官衙跡	岡山市津島東一丁目 1番1号	114m <sup>2</sup>	学校	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長 戸村彰志	19980109～ 19990331	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世
岡山城二の丸内堀敷 郭石垣遺跡	城館跡	岡山市九ノ内二丁目 7-28、9-1の一部	100m <sup>2</sup>	その他建物	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19990105～ 19990113	近世
ハガ道跡	集落跡・ 官衙跡	岡山市園府市場162 -2、164-1、165、 166、167-1	602m <sup>2</sup>	学校用地造成	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19990105～ 19990831	古墳・奈良・平安・中世
南方道跡	散布地	岡山市南方三丁目10 -40	42m <sup>2</sup>	その他建物 (納骨堂)	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19990111～ 19990129	弥生・古墳・奈良・平安・中世
西村貝塚	集落跡・ 貝塚	岡山市神崎町2480- 1他 22塚	1,080m <sup>2</sup>	道路 (市道の拡幅)	岡山市大倅一丁目1番1号	岡山市教育委員会教育長	19990120～ 20010331	平安・中世

## 第57条第1項 (6件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	遺跡の時代
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	1,020m <sup>2</sup>	青山大学コラボ レーションセンター新設工事	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19980701～ 19990215	縄文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世・近世
曳田遺跡(包含層)	集落跡	岡山市曳田町二丁目 5番1号	164m <sup>2</sup>	その他建物 (病院)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19980803～ 19981009	縄文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	27m <sup>2</sup>	その他 (学校)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19981015～ 19981027	縄文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世・近世
鹿田遺跡	集落跡	岡山市鹿田町二丁目 5番1号	3,000m <sup>2</sup>	その他建物 (病院)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19981127～ 19990331	縄文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	31m <sup>2</sup>	学校 (青山大学エレベーター新設工事)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19981102～ 19981120	縄文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世・近世
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	780m <sup>2</sup>	学校 (環境理工学部校舎新 築工事)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19990301～ 19990831	縄文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世・近世

## 第57条の2 第1項

(46件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指示事項 遺跡の時代
津島遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市学南町二丁目地先	270m <sup>2</sup>	電線地中化工事	岡山市青江2・3 9番地の1	中国電力株式会社岡山営業所所長	199805 中旬～ 19990930	工事立会 弥生・古墳・奈良・平安・中世
上伊福遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市伊福町一丁目地先	175m <sup>2</sup>	電線地中化工事	岡山市青江2・3 9番地の1	中国電力株式会社岡山営業所所長	199805 中旬～ 19990531	工事立会 弥生・古墳
南方遺跡	集落跡	岡山市南方二丁目地先	175m <sup>2</sup>	電線地中化工事	岡山市青江2・3 9番地の1	中国電力株式会社岡山営業所所長	199807 上旬～ 20000331	工事立会 弥生
北方新ノ内遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市中井町一丁目地先	175m <sup>2</sup>	電線地中化工事	岡山市青江2・3 9番地の1	中国電力株式会社岡山営業所所長	199805 中旬～ 19990531	工事立会 奈良・平安・中世
津島遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市伊島町一丁目8番18号	78.80m <sup>2</sup>	住宅	岡山市伊島町一丁目8番18号	三宅 雅宣	19980530 ～ 19980625	工事立会 弥生
津島遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市いずみ町1・学南町1-2・1-5地先	101.95m <sup>2</sup>	その他の施設(電気通話設備設置)	岡山市中山下2-90	日本電信電話株式会社岡山支店長	199807中 199812下	工事立会 弥生・古墳・奈良・平安・中世
津島遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市学南町二丁目207-1・207-3・208-1、 209-3・208-3	1,694.68 m <sup>2</sup>	その他の施設(ガソリンスタンド)	広島市中区大手町二丁目7番10号	明和シェル石油株式会社広島支店支店長	19980715 19981115	工事前半前に発掘調査 弥生・古墳・奈良・平安・中世
北方地蔵遺跡・ 北方新ノ内遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市大和町二丁目9番3号地先・中井町二丁目6番地先	335m <sup>2</sup>	ガス管を新設	岡山市桜橋二丁目1番1号	岡山瓦斯株式会社取締役社長	19980525 ～ 19990630	工事立会 奈良・平安・中世
津島遺跡	集落跡	岡山市船岡町・いづみ町地内	0.15m <sup>2</sup>	電気(電柱立替)	岡山市青江2・3 9番地の1	中国電力株式会社岡山営業所所長	19980501 ～ 19980530	工事立会 弥生
上伊福遺跡	散布地	岡山市伊福町二丁目28番20号	264.36m <sup>2</sup>	住宅	岡山市伊福町二丁目28番20号	則兼一豊	19980930 19990310	工事立会 弥生・古墳
津島遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市いずみ町地先	33.5m <sup>2</sup>	電気(地中化粧)	岡山市青江2・3 9番地の1	中国電力株式会社岡山営業所所長	19980501 ～ 19980530	工事立会 弥生・古墳・奈良・平安・中世
津島岡大遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市津島町一丁目3番地・学南町二丁目7-13番地	41.01m <sup>2</sup>	その他の施設(電気通話設備設置)	岡山市中山下二丁目1-90	日本電信電話株式会社岡山支店長	198877年 199111月	工事立会 弥生・古墳・奈良・平安・中世
鹿田遺跡	散布地	岡山市鹿田町本町52-13	469.61m <sup>2</sup>	その他の施設(密室)	岡山市鹿田町本町2番7号	更生保護法人 厚生省済会吉松善徳理事長	19980820 19990315	工事立会 平成・中世
小山馬緑遺跡	散布地・集落跡	岡山市門前字広田369-1外5・6・7・8・9番地・小山馬緑里523-5外11等	17,855.6 5m <sup>2</sup>	その他の施設(店舗・ホームセンターの建設)	津山市材木町132番地の25	株式会社ナンバ 代次取締役	19980525 ～ 19981215	工事立会 中世
南方遺跡	散布地	岡山市岡体町5番102・103・120	124.5m <sup>2</sup>	電力ケーブル用溝道工事	岡山市内山下一丁目4番9号	中国電力株式会社岡山支店 取締役支店長	19981022 ～ 20000620	工事立会 弥生
足守両廻遺跡	生産遺跡(水田跡等)	岡山市足守大字並松1587-4	492.96m <sup>2</sup>	その他の施設(共同住宅)	岡山市足守大字 並松1587-4	宇野 香	19980830 19981215	工事立会 古墳・奈良・平安
朝庭鼻貝塚	貝塚	岡山市津島東三丁目2645-136地先用水路	約60m <sup>2</sup>	道路	岡山市理大町1-1	学校法人加計学園岡山理科大学 学長	19981001 ～ 19990331	工事立会 (岡山理科大学附属文化財 調査会)
津島遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市学南町二丁目859-5	249.78m <sup>2</sup>	その他の施設(共同住宅)	倉敷市福田町古新田5・5・5	三宅 直行	19980926 ～ 19990228	工事立会 弥生・古墳
北方地蔵遺跡・ 北方新ノ内遺跡	集落跡・生産遺跡	岡山市中井町一丁目1-13番地から岡山市中井町二丁目2-5-8番地	214.6m <sup>2</sup>	水道	岡山市鹿田町二丁目1番1号	岡山市水道事業管理者水道局長	19981001 19990230	工事立会 奈良・平安・中世
嚴治山城跡	城郭跡	岡山市大井1990-1	137.55m <sup>2</sup>	その他の施設(山動車、音響装置等)	広島市中区	株式会社デジタルツーリング中国 代表取締役	19980910 ～ 19981130	工事立会 中世・近世
津寺遺跡	集落跡	岡山市津寺字中尾229番5	300m <sup>2</sup>	宅地造成	岡山市加茂999番地の2	石井茂子	19981110 ～ 19981210	工事立会 弥生・古墳
南方遺跡	集落跡	岡山市南方一丁目2-118	215.19m <sup>2</sup>	その他の施設(事務所付共同住宅)	倉敷市西河知町1258-15	木村み乃星	19981020 19990324	工事立会 弥生

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指 示 事 場 遺跡の時代
南 方 遺 跡	集落・生産遺跡	岡山市南方二丁目 276-24	93.78m <sup>2</sup>	その他の建物 (共同住宅)	岡山市雄町610 番の2	森正次	19981020 ～ 19990320	工事立会 弥生・古墳
南 方 遺 跡	生産遺跡	岡山市南方三丁目 263-外7筆	764.09m <sup>2</sup>	その他の建物 (共同住宅)	高梁市祐木町2	八代義弘・馬 鳥敬子	19981020 ～ 19990310	工事立会 弥生・古墳
雄 町 遺 跡	集落跡	岡山市雄町308	1,200m <sup>2</sup>	宅地造成・そ の他の建物 (医院)	福山市藏王町 5-23-1	手島裕之	19981101 ～ 19981201	工事立会 弥生・古墳
津 烏 江 遺 跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市学南町三丁目 749-1、749-4	601.05m <sup>2</sup>	その他の建物 (共同住宅)	岡山市藤田5 6 4-2 2 7	中下秀斎	19981115 ～ 19990315	工事立会 弥生
津 烏 遺 跡	集落跡	西山市船岡町内	1.4m <sup>2</sup>	電気 (電柱の新設)	岡山市青江2 3 9番地の1	中國電力株式 会社西山営業 所所長	19981110 ～ 19981130	工事立会 弥生
北 方 遺 跡	散布地	岡山市北方1丁目6 6 7 - 1	557.35m <sup>2</sup>	共同住宅	岡山市北方6 5 1	原田 春	199812- 19990330	工事立会 弥生
南 方 遺 跡	散布地	岡山市南方三丁目 10-40	42m <sup>2</sup>	その他の建物 (納骨堂)	岡山市南方三丁 目10番4 0号	高庭山長泉寺 代表役員	19981215 ～ 19990531	工事着手式開園開 会式・古墳・奈 良・平安・中世
南 方 遺 跡	集落跡・ その他の墓	岡山市御体町2番- 4番地先	346.16m <sup>2</sup>	ガス管設置	高梁市桜橋二丁 目1番1号	岡山瓦斯株式 会社取締役社 長	19981127 ～ 19990225	工事立会 弥生・古墳
絵 国 町 遺 跡	生産遺跡	岡山市絵国町370- 31、370-35	122.98m <sup>2</sup>	住宅	岡山市津守居 一丁目7番2 2 ～1	大熊登	19990215 ～ 19990720	工事立会 弥生・古墳
津 烏 江 遺 跡	集落跡	岡山市津烏東一丁目 9 6 4 - 1	136.50m <sup>2</sup>	住宅 (共同住宅)	岡山市津烏東二 丁目1 - 3	花房光弘	19990118 ～ 19990404 末	工事立会 弥生・古墳
加 茂 遺 新	散布地	岡山市加茂3 4 5	210m <sup>2</sup>	農業開拓 (水路改良)	岡山市高松臺古 才2 4 7番地	高松土地改良 区理事長	19990120 ～ 19990310	工事立会 弥生・古墳
高 松 沼 田 遺 跡	集落跡	岡山市高松原古才前 川3 9 2、川平1 3 3 - 2	249.27m <sup>2</sup>	その他の建物 (園 立100周年記念 館の建設)	岡山市高松原古 才3 3 6 - 2	岡山市立高松原農 業学校附属園芸100 周年記念館実行 委員会委員長	199904下旬 ～ 199904下旬	工事立会 弥生・古墳・奈 良・平安・中世
上 伊 横 遺 跡	散布地	岡山市伊福町3丁目 8 8 - 2	133.48m <sup>2</sup>	住宅	岡山市富田町一 丁目7番3号	藤間滋	19990226 ～ 19990330	工事立会 弥生・古墳
原 尾 島 遺 跡	生産遺跡	岡山市原尾島 687-1687-5687-7687 -8688-1	513.21m <sup>2</sup>	その他の建物 (共同住宅)	岡山市原尾島3 丁目1 5 - 3 1	佐藤 洋	19990210 ～ 19990381	工事立会 弥生・古墳
岡山城二の丸遺構	城館跡	岡山市内山下一丁目 8番1 0 2、8番1 0 3	124.56m <sup>2</sup>	その他の建物 (店舗・共同 住宅)	岡山市内山下一 丁目8番2号	有限会社六舟 庵代取締役	19990222 ～ 19990322	工事立会 近世
北 方 遺 跡	散布地	岡山市北方一丁目6 6 9 - 1	452.90m <sup>2</sup>	共同住宅の建 設	岡山市兵团5 - 5 0	森 憲	19990420 ～ 19990620	工事立会 弥生時代
南 方 遺 跡	集落跡	岡山市南方1丁目2 - 1 0 3	467.07m <sup>2</sup>	事務所ビルの 建設	岡山市新庄下8 9 3	株式会社カイン ドマジメント 代表取締役	19990301 ～ 19990715	工事立会 弥生時代
上 伊 横 遺 跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市伊福町1 8 - 1 0 8 6 等	232.94m <sup>2</sup>	病院駐輪場	岡山市伊福町1 丁目17番18号	社会福祉法人慈恵 財团生介太郎岡 山市病院生慈恵財 團	19990401 ～ 19990515	工事立会 弥生・古墳
沢 田 遺 跡	生産遺跡	岡山市藤原6 0	3428m <sup>2</sup>	工場	岡山市藤原6 0	株式会社康慶 堂代表取締役	19990401 ～ 19990801	工事立会 弥生
津 烏 遺 跡	散布地	岡山市学南町2丁目 7 6 9 の一部	141.04m <sup>2</sup>	その他の建物 (共同住宅)	岡山市学南町2 丁目1 2 - 1 7	片山明正	19990325 ～ 19990525	工事立会 弥生・古墳・奈 良・平安・中世
赤 田 遺 跡	集落跡	岡山市赤字天神木 2 0 4 - 6	904.34m <sup>2</sup>	共同住宅新築	岡山市赤田2 5 4	松本利之	19990515 ～ 19991031	工事立会 弥生
雄 町 遺 跡	集落跡	岡山市雄町376-1	2779m <sup>2</sup>	宅地造成	岡山市中島6 9 - 3	株式会社八代 不動産 代表取締役	199903- 199906	工事立会 義文・弥生・古墳
南 方 遺 跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市南方西丁目 1534-1,1537-1533-1 ,1532-1	1953.15m <sup>2</sup>	その他の建物 (共同住宅)	岡山市大和町一 丁目1 2 - 1 0	小野田吉夫	19990410 ～ 19991210	工事立会 弥生
小 山 馬 捕 遺 跡	散布地・ 集落跡	岡山市門前庄広田 368-13,369-5,370- 372-1,374-1	4862.67m <sup>2</sup>	その他の商業 (店舗建設)	姫路市三左衛門 町1 2 1	ウエルマート 株式会社 代表取締役	19990410 ～ 19990510	工事立会 中世

## 第57条の3 第1項

(25件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指 示 事 墓 遭難の時代
高松城跡(二ノ丸跡)	集落跡・ 城館跡	岡山市高松656番4 地先～675番地先	1,536m <sup>2</sup>	道路	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19980401 ～ 19990331	寧生の発掘調査 弥生・古墳・奈 良・平安・中世
津島遺跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市津島新野一丁 目、津島中一丁目地 内	110.53m <sup>2</sup>	その他の開発 (下水道污水 管埋設)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19980427 ～ 19990326	工事立会 弥生・古墳・奈 良・平安・中世
岡山城二ノ丸跡	城館跡	岡山市内山下一丁目 10-1地先から内山 下二丁目10-18地先	29.1m <sup>2</sup>	径100m <sup>2</sup> 配水管 設工事	岡山市鹿田町二 丁目1番1号	岡山市水道事 業管理者水道局 長	19980425 ～ 19980531	工事立会 中世・近世
二日市遺跡	生産遺跡	岡山市二日市56	352m <sup>2</sup>	その他の建築物 (木造平屋建 物の復元)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市教育委 員会教育長	19980506 ～ 199810 末	復元工事 中世・近世
津島遺跡	散布地	岡山市宇南町二丁 目、津島新野一丁目、 津島中一丁目	576.6m <sup>2</sup>	その他の開発 (電線共同溝 敷設工事)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19980518 ～ 19990331	工事着手前に発掘 調査
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	1020m <sup>2</sup>	岡山大学コラボ レーションセンタ ー新宮工事	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19990301 ～ 20000331	工事着手前に発掘調査 純文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世・近世
鹿田遺跡(包含層)	集落跡	岡山市鹿田町二丁目 5番1号	164m <sup>2</sup>	その他の建築物 (病院)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19981102 ～ 19990228	工事着手前に発掘 調査
鹿田遺跡(包含層)	集落跡	岡山市鹿田町二丁目 5番1号	84m <sup>2</sup>	その他の建築物 (病院)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19980701 ～ 19980717	工事立会 純文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世
吉備東山遺跡	集落跡	岡山市吉備津1635地 先～吉備津1854地先 まで	445.8m <sup>2</sup>	配水管布設工 事	岡山市鹿田町二 丁目1～1	岡山市水道事 業管理者水道局 長	19980727 ～ 19981218	工事立会 弥生・古墳
西村貝塚	集落跡・ 貝塚	岡山市神崎町2480-1 地22筆	1,080m <sup>2</sup>	道路改良	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19981001 ～ 20010331	工事着手前に発掘 調査
津島江道遺跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市津島東一丁目 1番1号	114m <sup>2</sup>	学校 (渡り廊下)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19981012 ～ 19981130	工事着手前に発掘 調査
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	27m <sup>2</sup>	その他 (学校)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19981030 ～ 19981130	工事着手前に発掘調査 純文・弥生・古 墳・奈良・平安・ 中世
岡山城二の丸遺構	城跡跡	岡山市内山下一丁目 8-11地先～内山下一 丁目9-6地先	70.45m <sup>2</sup>	水道(100mm 配水管布設)	岡山市鹿田町二 丁目1番1号	岡山市水道事 業管理者水道局 長	19981102 ～ 19990319	工事立会 近世
岡山城二の丸遺構	城跡跡	岡山市内山下一丁目 2-5地先～内山下一 丁目4-9地先	136.68m <sup>2</sup>	水道(100mm 配水管布設)	岡山市鹿田町二 丁目1番1号	岡山市水道事 業管理者水道局 長	19981102 ～ 19990319	工事立会 近世
津島遺跡	記載なし	岡山市學園町二丁目 16-18番地先～21-16番 地先、24-1番地先 95-18番地先～津島中一 丁目118番地先	記載なし	その他の開発 (下水道)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	199812～ 199905末	工事立会 記載なし
西祖遺跡	散布地	岡山市浅川～西祖地 内	291m <sup>2</sup>	水道 (水道管埋設)	岡山市鹿田町二 丁目1番1号	岡山市水道事 業管理者水道局 長	199910上旬 ～ 199903下旬	工事立会 中世
鹿田遺跡	集落跡	岡山市鹿田町二丁目 5番1号	3,000m <sup>2</sup>	その他の建築物 (病院)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	20000201 ～ 20021129	工事着手前に発掘調 査
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目 1番1号	31m <sup>2</sup>	その他の開発 (岡山大學 工学部北二号 バーナ新館)	岡山市津島中一 丁目1番1号	岡山大学長	19981201 ～ 19990328	工事着手前に発掘調 査
八ガ遺跡	集落跡	岡山市國府市場16 7-1地5筆	453m <sup>2</sup>	学校用地造成 工事	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19990104 ～ 19990531	工事着手前に発掘調 査
津島遺跡	散布地	岡山市学南町一丁目 1～15番	560m <sup>2</sup>	その他の開発 (下水道)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	199901末 ～ 200003 末	工事立会 弥生・古墳・奈 良・平安・中世
津島遺跡	散布地	岡山市学南町一丁目	700m <sup>2</sup>	その他の開発 (下水道)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	199901末 ～ 199912 末	工事立会 弥生・古墳・奈 良・平安・中世
西祖遺跡	散布地	岡山市西祖295地先 ～554地先～559地先	143m <sup>2</sup>	その他の開發 (下水道)	岡山市大供一丁 目1番1号	岡山市長	19990120 ～ 19990325	工事立会 中世

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指 示 事 項 遺跡の時代
津島遺跡	生産遺跡	岡山市津島新町二丁目915-7番地先～1107-1番地先	21m <sup>2</sup>	その他の開発(下水道)	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	1999023月～199912月	工事立会 弥生・古墳・秦 安・平安・中世
津島岡大遺跡	集落跡	岡山市津島中三丁目1番1号	780m <sup>2</sup>	学校(環境理工学部校舎新築工事)	岡山市津島中一丁目1番1号	岡山大学長	19990301月～19990831	工事着手前発掘調査 縄文・新石器・古 墳・秦安・平安・ 中世
津島遺跡	集落跡・ 生産遺跡	岡山市津島新町二丁目909-2, 909-3, 930-2, 908-3, 908-4, 908-5, 908-6	228.34m <sup>2</sup>	下水道管埋設	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	199905 初期 200003末	工事立会 縄文・新石器・古 墳・秦安・平安・ 中世

## 第57条の5 第1項

(2件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指 示 事 項 遺跡の時代
東古松西畠遺跡	散布地	岡山市東古松219の8		土木工事中 (個人住宅新築工事)	岡山市東古松219の8, 岡山市東古松新築地マニッシュ201	鷲村透、福島伸也	19980825	慣用工事 中世
岡山城二の丸内匠敷 郭石垣遺構	城館跡	岡山市丸ノ内二丁目7-28、9-1の一部		土木工事中 (第二次廻削中)	岡山市丸の内二丁目1番1号	医療法人社団十全会理事長	19981125	工事着手前発掘調査 近世

## 第57条の6 第1項

(3件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指 示 事 項 遺跡の時代
	散布地	岡山市吉備津914-2 地先から吉備津1635 地先まで		水道管の埋設	岡山市蔦原町二丁目1番1号	岡山市水道事業管理者水道局長	19981026 ～ 19990226	工事立会 中世・近世
妹尾住田遺跡	散布地・ 貝塚	岡山市妹尾上寺1 180番地		市営住宅建て替え	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	19990515 ～ 20001115	工事着手前発掘調査 中世
北方長田遺跡	集落跡	岡山市三野一丁目1 124番1		水質試験所造 築工事	岡山市蔦原町二丁目1番1号	岡山市水道事業管理者水道局長	19990308	工事着手前発掘調査 弥生・中世

## 第80条第1項

(15件)

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指 示 事 項
造山古墳	史跡	岡山市新庄下996-3		階段に転落防止用の防護柵を設置する。	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	許可日～ 19990331	権限委任の規定により許可
岡山城跡	史跡	岡山市丸の内二丁目3番901番198年及び後楽園278番地		98フルーフマーケット	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	19980622 ～ 19980602	権限委任の規定により許可
津島遺跡	史跡	岡山市いずみ町2番1号		おかやまの祭り・祭祭り98開催のため	岡山市学南町三丁目2番1号	おかやまの祭り・祭祭禮運営委員会会長	19980713 ～ 19980722	権限委任の規定により許可
岡山城跡	史跡	岡山市丸の内二丁目3-1		岡山城たきが狂言	岡山市丸の内二丁目1-3	山陽放送株式会社業務局長	19980918 ～ 19980922	権限委任の規定により許可
アユモドキ (地域を定めず)	天然記念物	岡山市紙園461番地先		魚巣及び棘立ブロック養殖岸工	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	許可の日～ 19990331	権限委任の規定により許可
アユモドキ (地域を定めず)	天然記念物	岡山市紙園461番地先		魚巣及び棘立ブロック養殖岸工	岡山市大併一丁目1番1号	岡山市長	許可の日～ 19990331	権限委任の規定により許可

遺跡の名称	遺跡の種類	所在地	面積	工事の目的	住所	氏名・機関	工事期間	指揮事務
岡山城跡	史跡	岡山市丸之内二丁目3番ノ901		鳥城東市ワリーマーケット	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	19981003～19981004	権限委任の規定により許可
岡山城跡	史跡	岡山市丸之内二丁目3番ノ901外		菊花大会	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	19981012～19981120	権限委任の規定により許可
津島通跡	史跡	岡山市いずみ町2番1号		「98メルヘンスボーフェア」開催のため	岡山市学南町3-2-1	メルヘンスボーフェア実行委員会実行委員長	19981109～19981117	権限委任の規定により許可
岡山城跡	史跡	岡山市丸之内二丁目3番ノ901地19壁及び後楽園278番地		本丸下の段にて発掘調査	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	許可の日～19990331	権限委任の規定により許可
岡山後楽園及び史跡 岡山城跡	史跡・特別名勝	岡山市後楽園		汚水管埋設	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	許可の日19990331	許可（岡山県教育委員会の指示）
アユモドキ (地域を定めず)	天然記念物	岡山市賞田302番地先(古田橋尻川中流部)		魚巣ブロック積造岸工	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	許可の日19990331	権限委任の規定により許可
アユモドキ (地域を定めず)	天然記念物	岡山市紙淵地内		公共下水道・紙淵地内雨水管理設工事(その2)廃止工	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	～19990331	権限委任の規定により許可
岡山後楽園及び史跡 岡山城跡	史跡・特別名勝	岡山市後楽園		電線地中化の変更工事	岡山市青江一丁目6番51号	中国電力株式会社岡山営業所所長	許可の日19990331	許可（岡山県教育委員会の指示）
岡山城跡	史跡	岡山市丸之内二丁目3番地の901ほか		岡山城の城まつり 島城時代村	岡山市大倉一丁目1番1号	岡山市長	19990414～19990419	権限委任の規定により許可

### III. 普及・啓発事業と刊行物

普及・啓発事業の一環として、本年度も文化財保護強調週間にあわせた速報展を開催した。また、発掘調査の成果を現場で公開する現地説明会も3か所で行うことができた。この概要集とは別の正式な発掘調査報告書の刊行は、発掘主体者の義務であり、迅速に行われなければならないが、あいかわらず立ち遅れているのが、実状である。

#### ◎埋蔵文化財速報展'98

1998年10月28日～10月30日。岡山市役所1階市民ホールで過去1年間に発掘した遺跡を遺物とパネルで紹介した。巨大な造山古墳に隣接する位置で発見され全国的に脚光を浴びた造山2号墳の埴輪や、津島江道(岡北中)遺跡で出土した弓を射る人などを描いた弥生後期の絵画土器に、見学者の关心が集まった。



第1図 埋蔵文化財速報展

#### ◎発掘調査現地説明会（遺跡内容は本書第I章を参照）

高松城築堤跡 1998年5月23日（約300名）

新道遺跡 1998年9月5日（約100名）

岡山城本丸下の段 1999年3月6日（約150名）



第2図 高松城築堤の説明会



第3図 新道遺跡の説明会



第4図 岡山城の説明会

#### 『長坂古墳群』

1996年に岡山市足守地区での土取り工事に伴って発掘された前期の小古墳3基の報告書。いずれも中心主体は箱式石棺であるが、土器棺を用いて複数埋葬を行なうものがある。特に1号墳は、前代の特殊器台を転用する特異なものであった。周辺での古墳群の動向、埋葬頭位、土器棺などに関しての考察も行なっている。また、1979年に刊行した『足守庄莊園造構緊急調査勝手比定造構発掘調査概報』を再録した。その「経塚」造構からも、特殊器台片が出土している。

#### 『岡山市埋蔵文化財調査の概要』1997（平成9）年度

## IV. 受領図書一覧

（このページは2面あります。次頁へ翻訳してお読みください。）

各地の教育委員会や研究機関から交換図書あるいは寄贈図書として、毎年多くの報告書が岡山市教育委員会に送付されます。それらは、芳田叢書庫に整理保管しており、発掘調査を進めるうえで参考し活用させていただいています。来年度には念願の岡山市埋蔵文化財センターがいよいよ運用されます。その埋蔵文化財センターには書庫も設置され、現在よりは外部の人にとっても参考しやすくなる環境が整えられると思われます。受領図書一覧の活用されることを期待します。また受領図書一覧を掲載する事によって、送って頂いている各教育委員会及び研究機関の方々へのご厚情に感謝の意を表させていただきます。

### 凡例

県名（県コード）

所属機関

報告書名（シリーズ名） 発行年月日

（財団法人は「財」、シリーズ名における市名・教育委員会名は「市」と省略、また埋蔵文化財は「埋文」と省略しています。「に係る発掘調査報告書」「に係る発掘調査」「に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」は省略）

〈 〉は副題、（ ）は報告書シリーズ名を表す。

<p><b>岩手（03）</b></p> <p>盛岡市教育委員会 大船渡跡群〈大船町遺跡〉（平成6・7年度発掘調査概報） 970331 大船渡跡群〈大船町遺跡・大船町遺跡〉（平成8・9年度発掘調査概報） 980331 雪造跡（平成8年度発掘調査概報） 980331</p> <p><b>福島（07）</b></p> <p>会津若松市教育委員会 若松城跡II（市文化財調査報告書 第55号） 980331 上居合道跡発掘調査報告書Ⅲ〈市道3-4号線拡幅工事（平成9年度）〉（同上、第56号） 980331 磐梯山道跡群発掘調査概要報告書II〈会津レクレーション公園整備（平成9年度）〉（同上、第57号） 980325 上居合道跡発掘調査概報（同上、第58号） 980325</p> <p>いわき市教育委員会 平塙跡遺跡〈弥生墓跡の調査〉 981130 (財)いわき市教育文化事業団 年報7（平成7年度） 970329 年報8 990316 年報9 990120 研究紀要9 980313 研究紀要10 990104 視界道路（平成9年度確認発掘調査概報） 980325 折込A遺跡〈古代青長船跡の調査〉（市埋蔵文化財調査報告書 第34号・県第三土地地区廻り理事事業 地内埋蔵文化財調査報告書 II） 980325 上ノ原新家（同上第55番・常磐自動車道いわき市内埋蔵文化財調査報告書） 980331</p>	<p><b>茨城（08）</b></p> <p>（財）ひたちなか市文化・スポーツ振興公社 舟塙I（1997年度舟塙遺跡群発掘調査の成果）（文化財調査報告第16集） 980331</p> <p><b>玉里村教育委員会</b></p> <p>椎原山古墳（発掘調査概報） 980331 玉里村教育委員会・玉里村立史料館 玉里村民族誌（ふるさとの民風） 980330 玉里村立史料館 980331 玉里村立史料館 第3号 980331 特別民団録〈日坂人の暮らす海〉 990123</p> <p><b>栃木（09）</b></p> <p>佐野市教育委員会 上林北遺跡・上林II遺跡・辺手遺跡〈佐野新都市開発整備事業〉（市埋蔵文化財発掘調査報告書 第17集） 9803</p> <p><b>群馬（10）</b></p> <p>前橋市教育委員会 平成6年度文化財調査報告書 第25集 960320 平成7年度文化財調査報告書 第26集 960920 平成9年度市内遺跡発掘調査報告書 980325 前橋市埋蔵文化財発掘調査団 中京遺跡群Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ（「増田工業団地造成事業」） 960325 相荷遺跡（都市計画道路3・4・19号新前橋駅川曲経道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 第1巻） 970325 下新田川沖遺跡〈民防住宅開発〉 980324 下新田川沖II遺跡〈民防住宅開発〉 980710 王者宮遺跡〈老人保健施設建設工事〉 980325 六供中央安寺遺跡・六供I・堂木丘遺跡（市都市計画事業六供土地区画整理事業） 980325</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

芳賀東部内地道路〈芳賀東部住宅団地試験工事〉	980327	千葉 (12)	
上佐島中里遺跡〈特別保護老人ホーム「春の里」建設〉	980327	(財) 千葉市文化財調査協会	
五代町保育園建設	980331	千葉市文化財調査(市内道路)報告書(平成9年度) (市内道路報告書 第10番目)	980331
鳥取福善寺遺跡〈鳥取町土地改良に事業〉	980331	地蔵作遺跡発掘調査会	970331
鳥取東原遺跡〈鳥取町風致工事〉	980331	小中台 (2) 遺跡	970731
川曲見沙門遺跡〈特別保護老人ホーム建設〉	981120	千葉市立加賀貝貝博物館	980331
上泉太郎三遺跡〈民間開発(マンション建設)〉	981225	貝塚博物館紀要 第25号	980331
高崎市教育委員会		松戸市教育委員会	
高崎市道路分布地図(高崎市内道路詳細分布調査報告書)	9803	平成8年度松戸市内道路発掘調査報告書(桜木内道路・小野道路・	
市内道路災害緊急発掘調査報告書(市文化財調査報告 第154集)		崩ノ脇道路・野馬鹿土手・上本郷道路・通源寺道路・平賀長谷	
	980331	道路・八ヶ崎道路・秋山神社道路・仲通道路・駒平	
若田園遺跡 I・II 遺跡 (同上第156集)	980331	賀向山遺跡 (市文化財調査報告 第28集)	980331
平成9年度高崎市内小城模擬文財化発掘調査概報2 (上中居荒特 II 遺跡・新保八坂遺跡・金谷町東正六遺跡) (同上 第158集)	980331	松戸市教育委員会	
		小野道路第12地点発掘調査報告書 (同上 第29集)	980331
下中居荒二遺跡 II (都市計画道路建設に伴う発掘調査報告(2)) (市文化財調査報告 第159集)	980331	松戸市道路調査会	
高崎市遺跡調査会		八ヶ崎道路第5地点発掘調査報告書	980424
引間V道路発掘調査報告書(高崎市道路調査会報告書 第58集)	970825	小野 (小野道路第3地点発掘調査報告書)	980501
飯塚新田西II 遺跡 (古墳建設) (同上 第69集)	980331	沿ノ台道路	980126
上中居荒二遺跡 (同上 第70集)	980331	浦山市教育委員会	
八幡二子塚遺跡 (宅地造成) (同上 第71集)	980331	中臣敷背遺跡 (平成9年度市内道路発掘調査報告書I) (市堀文	
劍崎絆荷遺跡 (宅地造成) (同上 第72集)	980331	財調査報告 Vol.26)	980330
山名柳沢遺跡 (グリーンヒル高崎住宅団地開発) (同上 第74集)	980325	西面道教育委員会	
		市内道路発掘調査報告書1998	980327
埼玉 (11)			
浦和市教育委員会			
大古寺遺跡・井沼方造跡・井沼方南遺跡 (市内道路発掘調査報告書 第26集)	980325	東京 (13)	
四指定史跡 見沼通船運整備事業のあらまし	980331	千代田区教育委員会・千代田区立四ツ谷町歴史民俗資料館	
浦和市道路調査会		歴史資料目録 (市文化財調査報告書10)	980331
本庄遺跡発掘調査報告書 (第4地点) (市道路調査会報告書 第204集)	960131	東京都千代田区二ツ橋二丁目遺跡調査会	
玄蕃新田本庄遺跡 (第3次)・鎌谷西遺跡 (第1次)・大崎東新井遺跡 (第1次) (同駅63号建設地内 (大崎大門地区) 発掘調査報告書1) (同上 第207集)	960228	東京都千代田区上落合二丁目西遺跡調査会	
本村遺跡発掘調査報告書 (第X I地点) (同上 第219集)	960630	東京都新宿区上落合二丁目西遺跡 (アドリーム落合新幹線事業)	
真島山城跡発掘調査報告書 (同上 第222集)	970325	980831	
下大久保新田遺跡発掘調査報告書 (第2次) (同上 第224集)	970325	新宿区王子不動産遺跡調査会	
大久保領家町片山遺跡発掘調査報告書 (第6地点) (同上 第225集)	970325	東京都新宿区各仲之町遺跡IV ((仮称) プリンスハイツ市谷新施	
松木遺跡発掘調査報告書 (第19次) (同上 第226集)	970325	工事)	980831
鶴谷遺跡 (第3次)・南方遺跡 (第1次) 発掘調査報告書 (同上 第227集)	970325	新宿区百人町遺跡調査会	
鶴谷遺跡 (第4次)・南方遺跡 (第2次) 発掘調査報告書 (同上 第228集)	970325	東京都新宿区百人町三丁目西遺跡 (都営百人町三丁目草日2地块建	
本庄遺跡発掘調査報告書 (第7地点) (同上 第230集)	970829	設)	970331
井沼方遺跡発掘調査報告書 (第6次) (同上 第231集)	970829	都内第二遺跡調査会・西台遺跡調査会	
大久保領家町片山遺跡発掘調査報告書 (第7地点) (同上 第232集)	970831	西台後藤山遺跡第1地点発掘調査報告書	990331
中尾久遺跡発掘調査報告書 (第2次) (同上 第234集)	971031	地下鉄7号線渋谷・駒込間遺跡調査会	
山崎貝塚発掘調査報告書 (第4次) (同上 第235集)	971225	市谷山道遺跡・朝日下遺跡・駒込近分町遺跡・駒込浅 (地下鉄7号線	
不動谷南遺跡発掘調査報告書 (同上 第236集)	971225	渋谷・駒込両遺跡発掘調査報告書 第6集)	960331
鶴谷遺跡発掘調査報告書 (第6次) (同上 第239集)	980205	參鬱高速度交通名古屋・地下鉄7号線渋谷・駒込間遺跡調査会	
鶴谷遺跡発掘調査報告書 (第5次) (同上 第240集)	980325	江戸城外郭塀・市谷御外門横笛・御銀塚 (同上5-2)	970210
井沼方遺跡 (第13・14・15次)・井沼方南遺跡発掘調査報告書 (同上 第241集)	980325	(財) 東京都歴史文化財団	
上木崎立遺跡発掘調査報告書 (同上 第242集)	980325	江戸東京博物館要覧 1998	980702
別所遺跡発掘調査報告書 (第3次) (同上 第243集)	980325	豊島区教育委員会	
日向北遺跡発掘調査報告書 (第3次) (同上 第244集)	980331	豊島区立郷土資料館年報 付・研究記要 第12号	980327
和田南遺跡発掘調査報告書 (第4次) (同上 第245集)	980731	足立区伊興遺跡調査会	
追祖士後原遺跡発掘調査報告書 (第2次) (同上 第246集)	980731	足立区北部の遺跡群 (宮八幡神社遺跡・花塚遺跡・法華寺守内遺	
		跡・白旗塚古墳群・大驚神社 境内遺跡・古千谷地区下水道敷設	
		工事に伴う発掘調査)	980331
神奈川 (14)			
川崎市教育委員会			
川崎市文化財調査集録 第32集			970331

<p><b>小田原市教育委員会</b></p> <p>平成7年度小田原市緊急調査報告書(市文化財調査報告書 第66集)</p> <p>960331</p> <p>小田原城下 横手橋町造跡第Ⅷ地点 (同上 第67集) 960331</p> <p>今井降馬跡・酒井降馬跡発掘調査報告書 (同上 第68集) 960331</p> <p>下馬下遺跡第Ⅲ 960331</p> <p>千代南原遺跡敷地点発掘調査報告書</p> <p>970331</p> <p>相模原市教育委員会</p> <p>相模原市「田名向原、旧石器時代遺跡の調査」 平成8年度 相模原市文化財年報 平成9年度 相模原市文化財年報</p> <p>960731 970331 980331</p>	<p><b>山梨(19)</b></p> <p>甲府市教育委員会</p> <p>横根・桜井横石塚古墳群調査報告書(分布調査報告・横根文群39号) 塙・桜井内山文群9号跡 910330</p> <p>史跡 武田氏館跡(平成7・8年度試掘調査概要報告書Ⅲ) 市文化財調査報告 980320</p>
<p><b>新潟(15)</b></p> <p>三条市教育委員会</p> <p>来迎寺遺跡Ⅱ(農道工事)(市埋蔵文化財調査報告書 第9号) 980331</p>	
<p><b>富山(16)</b></p> <p>(財) 富山県文化振興団理埋蔵文化財調査事務所</p> <p>五社造於史跡発掘調査報告(能越自動車道建設Ⅰ)(富山県文化振興財團理埋藏文化財調査報告 第9集) 980331</p> <p>理藏文化財調査概要(平成9年度) 980331</p> <p>理藏文化財年報(9) 980331</p> <p>富山考古学研究(紀要別刊号) 980331</p> <p>富山市教育委員会</p> <p>富山市住海富田遺跡試掘調査概要 960329</p> <p>富山市内遺跡発掘調査概要Ⅰ 960331</p> <p>富山市住海富田遺跡試掘調査概要(県営公告防除特別土地改良事業に伴う試掘調査3) 980331</p> <p>任海官道跡(個人住宅建設)(富山市内遺跡発掘調査概要Ⅱ) 980331</p> <p>富山市安庭寺遺跡発掘調査報告書 980331</p> <p>富山市豊田大坂遺跡発掘調査概要 980331</p> <p>上野井田遺跡(病院施設建設) 980731</p>	<p><b>長野(20)</b></p> <p>松本市教育委員会</p> <p>長野県松本市今北新緑Ⅱ緊急発掘調査報告書(同上No.131) 980325</p> <p>松本城下町筋本町3・4次・伊勢町14~17次試掘調査報告書(同上No.132) 980331</p> <p>向原遺跡緊急発掘調査報告書(同上No.133) 980326</p> <p>長野県松本市塙崎遺跡緊急発掘調査報告書(同上No.134) 980227</p> <p>上田市教育委員会</p> <p>市内遺跡Ⅳ(平成6年度市内道路発掘調査報告書)(市文化財調査報告書第55集) 970324</p> <p>市内遺跡Ⅴ(平成7年度同上)(同上 第59集) 960325</p> <p>市内遺跡Ⅵ(平成8年度同上)(同上 第65集) 970325</p> <p>平成9年度 市内遺跡(同上)(同上 第71集) 980325</p> <p>上田原遺跡・塙崎古墳群、下之条桑里水田遺跡(県営球場建設)(同上 第56集) 960331</p> <p>裏之木遺跡(同上 第57集) 960331</p> <p>大塚遺跡(遊歩道建設)(同上 第58集) 960331</p> <p>史跡上田城跡(国指定史跡上田城跡本丸内発掘調査報告書)(同上 第60集) 970324</p> <p>八幡城Ⅱ(新立新古戦(長野)の建設)(同上 第61集) 970325</p> <p>下町遺跡(信州大學機械学部大学院棟建設)(同上 第62集) 970228</p> <p>古城遺跡(上田市立第一中学校建設)(同上 第63集) 970325</p> <p>金井養護施設Ⅱ(住宅展示場建設)(同上 第64集) 970325</p> <p>浦田A・官署遺跡(同上 第65集) 980320</p> <p>西之手遺跡Ⅱ(市道西野竹14号線代替地取得事業)(同上 第66集) 980331</p> <p>宮原遺跡緊急発掘調査報告書(同上 第70集) 980331</p> <p>上田市教育委員会・厚生省関東管区医師局</p> <p>八幡豪遺跡Ⅲ(國立長野病院看護婦宿舎建設)(同上 第67集) 980325</p> <p>上田市教育委員会・長野県上田建設事務所</p> <p>吉峰遺跡(国道道路改良工事)(上田丸子線建設)(同上 第68集) 980325</p> <p>上田市教育委員会・長野県住宅供給公社</p> <p>八幡豪遺跡Ⅰ(長野県職員住宅建設工事)(同上 第63集) 970325</p> <p>更埴市教育委員会</p> <p>更埴市埋蔵文化財調査報告書(平成元年度) 900331</p> <p>平成9年度 更埴市埋蔵文化財調査報告書 980331</p> <p>大塚遺跡Ⅳ・V(中部電力南宮安電所・鉄塔建設) 940331</p> <p>更埴委託水田址高月地点遺跡(森地区農業集落排水將來処理場建設) 950324</p> <p>坪山遺跡・判官塚古墳(県営は塙整備事業西部沖地区長尾根工区工事) 950324</p> <p>大塚遺跡Ⅵ(オーラン機械倉庫建設) 950331</p> <p>平成5年度 更埴市埋蔵文化財調査報告書 950331</p> <p>荒井遺跡Ⅲ 宮脇遺跡 950331</p> <p>栗訪南冲遺跡(西友更店建設) 960329</p> <p>町浦遺跡(大窓堂(株)倉庫建設) 960331</p> <p>城ノ内遺跡Ⅱ(長野電子工業(株)建設) 960331</p> <p>星代遺跡群町淮遺跡Ⅱ(大窓堂(株)倉庫建設) 960331</p> <p>八代城跡範囲確定調査報告書</p>
<p><b>石川(17)</b></p> <p>金沢市埋蔵文化財センター</p> <p>金沢市押野西遺跡Ⅱ(金沢市文化財紀要138) 960331</p> <p>金沢市北聚遺跡(第14次)(河上139) 980331</p> <p>穀部東遺跡(同上141) 980331</p> <p>千木東遺跡(同上142) 980331</p> <p>長田町遺跡・長町遺跡・穴水町遺跡(同上143) 980331</p> <p>近岡遺跡(同上144) 980331</p> <p>平成9年度 金沢市埋蔵文化財調査年報(同上145) 980331</p> <p>七尾市教育委員会</p> <p>奥原町遺跡発掘調査報告書(主要地方道七尾能登島公園改良工事)(市埋蔵文化財調査報告書 第23集) 980331</p> <p>野々市市教育委員会</p> <p>上新庄二ノケラ遺跡(野々市南部土地区画整理事業Ⅰ) 980331</p> <p>富樫館遺跡Ⅰ(集合住宅建築) 980331</p> <p>糸田遺跡(社屋建設) 980331</p> <p>長池・二日市・御経塚遺跡群(御経塚第二土地区画整理事業) 980331</p> <p>上林遺跡 980331</p>	
<p><b>福井(18)</b></p> <p>福井市教育委員会</p> <p>今市遺跡(県立音楽堂(仮称)周辺整備事業) 960329</p> <p>遺跡発掘調査専合契約Ⅰ(安田城山前遺跡・堀切遺跡・北堀共) 960331</p> <p>和田神明遺跡(北陸電力株式会社成和電気所建設工事) 970331</p>	

岐阜 (21)		980615
岐阜市教育委員会		
平成9年度岐阜市 市内遺跡発掘調査報告書	9803	特別展 発掘された名古屋の五世紀
(財)岐阜市教育文化振興事業団		豊橋市教育委員会
岐阜市 北山3号墳 (財)市教育文化振興事業団報告書 第2集	9807	瑞穂庄塚古墳 (市埋蔵文化財調査報告書 第43集)
タルイビアセンター		豊橋市教育委員会・呉田地区遺跡調査会
タルイビアセンター歴史民俗資料館報No.3 平成8年度	970722	市場遺跡・吉村塚神社古墓群・車呂大塚古墳 丰呂土地区面整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書-市場地区- (市埋蔵文化財調査報告書 第42集)
タルイビアセンター歴史民俗資料館報No.4 平成9年度	980623	水神古墳 (市埋蔵文化財調査報告書 第44集)
神岡町教育委員会		市場遺跡 (丰呂土地区面整理事業-市場地区-) (同上 第45集)
江馬氏城館跡 (下船町南堀尾長部周辺の調査) (市埋蔵文化財探査報告書 第5集)	980331	さんまい貝塚 (丰呂土地区面整理事業-市場地区-) (同上 第46集)
神岡町教育委員会・富山大学文学部考古学教室		980325
江馬氏城館跡 (下船町南堀尾長部周辺の調査) (市埋蔵文化財探査報告書 I)	950331	水神古墳原 (丰呂土地区面整理事業-水神地区-) (同上 第47集)
静岡 (22)		980325
静岡市教育委員会		篠根遺跡・大海津遺跡 (I) (丰呂土地区面整理事業-篠根・水神・大海津地区-) (同上 第48集)
ふらるー No. 5 (平成7年度 静岡市文化財年報)	970325	水神遺跡 (同上 第49集)
石原塙古墳群・石原塙1号墳 (市埋蔵文化財調査報告書 38)	970310	(財) 湿戸市埋蔵文化財センター
有東遺跡 第16次調査報告書 (同上 39)	970331	平成9年度 湿戸市埋蔵文化財センター年報
東大谷1号墳 (同上 47)	980331	湿戸市埋蔵文化財センター研究紀要 第6輯
浜松市教育委員会		上品野蟹川遺跡 (品野第小学校移転) ((財)市埋蔵文化財センター調査報告 第16集)
千人塙古墳・千人冢平・宇摩坂古墳群	9803	駒箭第一号墳 (同上 第19集)
(財)浜松市文化協会		市内遺跡調査報告 I (同上 第20集)
宇摩坂古墳群	980320	六古窯の時代 (財) 湿戸市埋蔵文化財センター企画展開録
三島市教育委員会		981128
三島市文化財年報 (第9号)	971225	豊田市教育委員会
中村分離跡・火打B遺跡・台町C遺跡 (災害緊急地帯適合監視事業)	980330	手取城 (内藤氏所城・七州城跡の発掘調査報告書) (市埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集)
三島市埋蔵文化財発掘調査報告書 VI (初音ヶ原B遺跡第1地点・赤王山古墳群・試掘調査・自然科学分析)	980330	母母郷土史料 (母郷土の御跡・母郷土誌) (豊田市文化財叢書 33)
焼津市歴史民俗資料館		980131
焼津市歴史民俗資料館年報11	971130	豊田の驛をいたい中村寿一伝
焼津市歴史民俗資料館年報12	981031	豊田史料叢書 (第12回記念)
愛知 (23)		980210
愛知県陶磁資料館		別別異「糸の歴史-古代豊田の交通-」
日本の三彩と絵胎 (天下に咲いた春)		豊田市郷土資料館
(財)愛知県埋蔵文化財センター		與茶派巡記
円通寺古墳・N A335号墳 I・II (県埋蔵文化財センター調査報告書 第75集)	980831	940330
東新規遺跡 (同上 第76集)	980831	安城市教育委員会
東刈安賀道跡 (同上 第77集)	980831	松林遺跡 (市埋蔵文化財発掘調査報告書 第3集)
吉田城跡 III (同上 第78集)	980831	本神道跡 (同上 第4集)
一色青海遺跡 (同上 第79集)	980831	98
名古屋市教育委員会		
埋蔵文化財調査報告書27 (市文化財調査報告35)	971205	三重 (24)
小林遺跡 (第1・2次) (埋蔵文化財調査報告書28 (同上36))	980320	三重県埋蔵文化財センター
正木町遺跡 (第7次~第9次) (同上29)	980320	考古学からみた三重の木の文化 (平成10年度 第18回 三重県埋蔵文化財研究会)
曾池遺跡 (第2次発掘調査概要報告書)	980325	9812
伊勢山中学校遺跡 (第7次発掘調査の概要)	980331	津市埋蔵文化財センター
大高南地区遺跡発掘調査報告書	980331	四ヶ町C遺跡発掘調査報告 (市埋蔵文化財調査報告 26)
徳重北部古跡発掘調査報告書	980331	市埋蔵文化財センター年報2 (平成8年度)
寺山2号墳発掘調査報告書	980331	9803
鏡板谷塚跡発掘調査の概要 (N A208号塚)	980331	津市教育委員会
名古屋市教育委員会・名古屋市見晴台古資料館		山王遺跡 (中勢北部サイエンスティ第1期事業区) (市埋蔵文化財調査報告 27)
高藏遺跡第18次発掘調査報告書	980330	980228
名古屋市見晴台古資料館		鶴来市教育委員会
高藏遺跡第17次発掘調査報告書	980331	鉢鹿市埋蔵文化財調査年報IV
見晴台教育'97	980331	970331
名古屋市見晴台考古資料館年報15 1997(平成9)年度事業報告		椎野町教育委員会
		野田遺跡発掘調査報告 (市埋蔵文化財調査報告 第14集)
		「墨・文字・韻」-最後の墨書きが語るもの (古代シンポジウム) 980301
		滋賀 (25)
		大津市教育委員会
		太鼓塚遺跡発掘調査報告書 (一般国道161号 (西大津バイパス) 建設 (市埋蔵文化財調査報告書19))
		920331

長浜市教育委員会		
島立遺跡Ⅱ(発生時代終末から古墳時代初頭の集落遺跡) (長浜市 真岡査定報告書 第15集)	9803	
川崎遺跡Ⅰ発掘調査報告書 (川崎遺跡 2・3次調査報告書) (同上 第16集)		
北堀里小遣跡 (北堀里小遣跡の成立・展開と長浜市北東部の様相に 関する試論) (同上 第22集)	9803	
下坂中町遺跡 (同上 第23集)	980330	
草津市教育委員会		
平成7年度 草津市文化財年報 (市文化財調査報告書 第29冊)	970331	
後遺跡・中層遺跡発掘調査概要 (草津川改修工連続遺跡発掘調査報告 書Ⅱ) (同上 第32冊)	980227	
信楽町		
火平の都 番吉塗 (その火像を求めて)	970331	
秦荘町教育委員会		
寄在町・町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ	970331	
企雨輪寺道跡発掘調査報告書Ⅱ (秦荘町文化財調査報告書12)	980331	
京都 (26)		
(財) 京都府埋蔵文化財調査センター		
京都府埋蔵文化財情報 第67号	980326	
京都府埋蔵文化財情報 第68号	980626	
京都府埋蔵文化財情報 第69号	980926	
京都府埋蔵文化財情報 第70号	981216	
第16回小さな展覧会	980815	
(財) 京都市埋蔵文化財研究所		
水系遺跡 長徳京左京・七条三井 (市埋蔵文化財研究所調査報告 第17番)	980301	
南ノ庄田瓦窯跡 (同上 第18冊)	981212	
平成8年度 京都市埋蔵文化財調査概要	980331	
研究紀要 第4号	980331	
向日市教育委員会		
史跡長岡宮大極殿跡 (保存整備事業報告)	980331	
(財) 向日市埋蔵文化財センター		
鶴冠牛遺跡 (市埋蔵文化財調査報告書第45集)	971228	
平成8年度 財團法人 向日市埋蔵文化財センター 年報 (都城9)	980227	
(財) 長岡京市埋蔵文化財センター		
長岡京市埋蔵文化財調査報告書 (市埋蔵文化財調査報告書 第13集)		
長岡京市教育委員会		
長岡京市文化財調査報告書 第38冊	980331	
(財) 長岡京市埋蔵文化財センター		
長岡京市埋蔵文化財センター年報 (平成8年度)	980331	
長岡京跡右京跡580次・今里遺跡発掘調査報告書 (市埋蔵文化財發 掘調査報告書)		
大阪 (27)		
大阪府立歴史文化博物館		
縄文の折り・弥生の心「森の神から稻作の神へ」 (大阪府立歴史文 化博物館16)	980425	
平成10年秋季特別展 単衣跡の宝石箱 (ちょっとオシャレな発生人) (同上17)	981003	
大阪府立近づ飛鳥博物館		
平成10年度秋季特別展 大化の薄券令 古墳のおわり (大阪府立近 づ飛鳥博物館図録16)	981006	
(財) 大阪府埋蔵文化財調査研究センター		
東大阪市所在 巨峯・若江北遺跡発掘調査報告書-第5次- (都市 計画道路大阪中央幹線状態巨峰 墓文立点前行草薙跡道橋建設 (財) 大阪府埋蔵文化財調査研究センター調査報告書 第15集)	960930	
大阪市教育委員会・(財) 大阪市文化財協会		
平成8年度 大阪城天守文化財抱き廻し発掘調査報告書	980331	
(財) 大阪市文化財協会		
大阪の歴史と文化誌 初刊号	981024	
大阪の歴史と文化誌 第2号	990226	
大阪城天守閣		
大和加賀記録 (一) 治川時代大阪城関係資料集 第一号	970331	
テーマ展 甲・青の世界 (大阪城天守閣藏甲冑展)	980418	
大阪市立博物館		
特別展 木と人 (出土木製品にみる人知恵)	980922	
(財) 大阪市文化財協会		
天満本願寺発掘調査報告Ⅲ	880317	
長原・瓜破遺跡発掘調査報告Ⅹ (1991年度大阪市長吉瓜破地区土 地区面整理事業)	971129	
天満本願寺発掘調査報告Ⅳ	980226	
長原遺跡東部地区発掘調査報告Ⅰ (1995年度大阪市長吉東部地区土 地区面整理事業)	980320	
南住庄遺跡発掘調査報告	980331	
桑ノ洋遺跡発掘調査報告	980331	
住友吹所跡発掘調査報告 (住友銀行銀谷新システムセンター建設)	980331	
山之内遺跡発掘調査報告	980331	
堺市埋蔵文化財センター		
①環濠郭都市遺跡・②堺埋蔵都市遺跡 (堺市文化財調査概要報告 第71冊)	980331	
平成8年度 市内遺跡立会調査概要報告 (同上 第73冊)	980331	
東淡山遺跡発掘調査概要報告 (同上 第74冊)	980331	
①少佐遺跡 (IMI-9) ②堺埋蔵都市 (SKT642) (同上 第76冊)	980930	
豊中市教育委員会		
桙谷麻績群2-29号塗跡 (市文化財調査報告 第38集)	9603	
高槻市教育委員会・高槻市立埋蔵文化財調査センター		
高槻市文化財年報 平成8年度	980227	
高槻市立埋蔵文化財調査センター		
馬上遺跡群22 (市文化財調査概要24)	9803	
史跡・今城跡古墳980330		
安瀬宮山古墳1998	980330改訂	
枚方市教育委員会		
九頭神遺跡 (九頭神廟宇) (市文化財調査報告 第32集)	970331	
枚方市埋蔵文化財発掘調査概要1997 (同上 第33集)	980331	
枚方歴史フォーラム 実代の枚方 (兼体大王と達米人) (市政50周年記 念 歴史街道整備地域モデル実業推進イベント)	971122	
(財) 枚方市文化財研究調査会		
枚方市文化財年報19 (1997年度分)	980701	
20年のあゆみ		
新版 図録・枚方の遺跡		
八尾市教育委員会		
八尾市内遺跡 平成9年度発掘調査報告書Ⅰ (平成9年度国庫補助 事業) (市文化財調査報告38)	980331	
八尾市内遺跡 平成9年度発掘調査報告書Ⅱ (平成9年度公共事業) (同上39)	980331	
富田林市教育委員会		
富田林市埋蔵文化財調査報告書29	980331	
富田林市埋蔵文化財調査会		
太郎池遺跡 (市埋蔵調査会報告?)	970831	
甲田遺跡 (同上9)	971229	
甲田遺跡Ⅱ (同上10)	980130	

鐵道遺跡 (同上11)	98031	音谷塗跡 (阪和小野山田地区開発事業) (同上 第169番)	971226
鐵道遺跡 (同上14)	9803	山本北町内道路 (宝塚市本西園地建設事業) (同上 第170番)	980316
桜井遺跡 (同上16)	98031	待出窯跡群 (待出淨水池施設工事) (同上 第171番)	980331
喜志遺跡 (同上17)	98031	山宮遺跡 (農林漁業用排水施設財源身帯農整備事業) (同上 第172番)	980331
河内長野市教育委員会		八多中遺跡・清水刷り道路 (山陽自動車道建設X X VI) (同上 第173番)	980331
河内長野市埋蔵文化財調査報告書 XIV (市文化財調査報告書第29輯)	98031	まるやま遺跡 (本州四国連絡道路建設V) (同上 第178番)	980320
上原遺跡 穴穴古墳 (市遺跡調査会報 X IX)	98031	兵庫県佐用郡佐用町所在 八反田遺跡 (同上 第180番)	980331
羽曳野市教育委員会		神戸市教育委員会	
豊田白鳥遺跡発掘調査報告書 (大阪ガス南部支社羽曳野営業センター新築工事)	920331	特別展 ひょうご復興の町から	9711
古市遺跡群 X IX (市埋蔵文化財調査報告書 第35)	980331	佐吉宮町遺跡 (第17次・18次) 阪神・淡路大震災復興に伴う調査	980330
東大阪市立郷土博物館		平成7年度 神戸市埋蔵文化財年報	9803
1998年度特別展示 河内国へのいざない (7~9世纪の河内国) 981027		安井遺跡 (第8次調査) - 震災復興概要一	980331
泉南市教育委員会		神戸市東灘区本山遺跡 (第22次調査)	980331
泉南市遺跡群発掘調査報告書 XIV (市文化財調査報告書 第三十集)	970331	尼崎市教育委員会	
泉南市遺跡群発掘調査報告書 X V (同上 第三十一集)	980331	尼崎市内施設・復興事業に伴う発掘調査報告書 (市文化財調査報告 第26集)	9803
海会寺跡古史跡指定10周年記念 第10回歴史の幸ひらく泉南シンボジウム 古代寺院の成立と展開 (日本古代国家の成立を探るV)	971102	尼崎市埋蔵文化財調査年報 (平成5年度)	980325
兵庫 (28)		姫路市教育委員会	
兵庫県立歴史博物館		姫路市立城郭研究室	
特別展 三万年の旅 (ナウマンゾウから汽車と鉄まで)	981003	城郭研究室年報 Vol.7 1997	980320
兵庫県教育委員会		姫路城跡園 (城壁経路の城下と城郭)	981001
平成9年度 年報	980930	姫路市都市局 城周辺整備事務所	
叶室城跡 (三原川敷谷災害対策特別事業) (県文化財調査報告 第113番)	920331	特別史跡姫路城跡石垣修理工事報告書 6 (三箇所近石垣)	980331
伊丹町部発掘調査報告書 (宮の前地区市街地再開発事業) (同上 第123番)	930331	七尾土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査会・六甲山麓道路調査会	
三田市 北浜ニュータウン内遺跡調査報告書Ⅲ (同上 第125番)	930331	宗高尾城跡・丹波尾城跡 (発掘調査の概要)	980320
岩井城跡 (但馬空港建設) (同上 第130番)	9403	加古川市教育委員会	
神戸市西区 玉津田中遺跡 (田中特定土地区画整理事業) (同上 第135-5番)	960329	「開かれた古跡時代のタイムカプセル」記録集 (行者塚古墳の調査から) (加古川文化財調査報 告16)	980331
三木市 今呂木遺跡 (一般県道三木環状線道路改良事業) (同上 第133番)	9403	豊野市教育委員会	
尼崎市 東武庫遺跡 (尼崎東武庫元町田舎建設) (同上 第150番)	9503	奥村寺寺跡 (調査の概要と出土瓦の研究) (市文化財調査報告18) 970829	
西ヶ原遺跡発掘調査報告書 (山陽自動車道関係X X ) (同上 第151番)	960329	中庭内天神山・三神山古墳群 (市文化財調査報告19)	980330
箭頭塚・宮の沢城跡・短河上中遺跡発掘調査報告書 (山陽自動車道建設X I) (同上 第153番)	960329	小神社の堂遺跡 (依希掛垂農業協同組合營農センター建設) (市文化財調査報告20)	980331
田井野遺跡発掘調査報告書 (山陽自動車道建設X X II) (同上 第154番)	960329	赤穂市教育委員会	
下内藤遺跡 (同上 第155番)		赤穂の鳥居と狹太 (市文化財調査報告書47)	980325
大谷瓦窯跡 (山陽自動車道関係X X III) (同上 第156番)	970331	周世・人相道塙発掘調査報告書V (石垣開発事業) (市文化財調査報告書46)	980331
小名石窯跡 (山陽自動車道関係X X IV) (同上 第157番)	970331	三田市教育委員会	
塙塙西遺跡発掘調査報告書 (本州四国連絡道路建設報告II) (同上 第160番)	970331	三田の文化財 (新規指定文化財 (平成3))	980331
小部遺跡 (阪急電鉄宝塚泉等 (川西市) 連続立体交差事業) (同上 第163番)	970331	さんだのくらべ 6 (たのしむ道具)	980331
有岡城跡・伊丹城跡 II (同上 第164番)	970331	少雲墓 (じゅうはちさんじゅうご)	980331
田能田中遺跡 (田園競馬場廢止改築事業) (同上 第166番)	9970331	さんだ風土記 5 980901	
久野々遺跡 (一般造営整備事業 (仁井II号地区)) (同上 第167番)	970331	さんだのくらし 7 (かざる道具)	990303
三條九ノ坪遺跡 (被災マンション等再建事業) (同上 第168番)	971225	企画展 「日本の青磁・三田の青磁」	
		加東郡教育委員会	
		上瀬屋・清瀬寺遺跡 (関戸土地区画整理事業) (郡埋蔵文化財報告20)	980331
		中町教育委員会	
		思い出道路I (第1区~5区文化財発掘調査) (町文化財報告 17)	980331
		西近畿文化財調査研究所	
		攝津市帝國園 舟岡遺跡発掘調査報告書 (西近畿文化財調査研究所所長団報告書 第1集)	980325

上郡町教育委員会・上郷町埋蔵文化財調査委員会 西野山・堀遺跡(高田地区原宮拝場整備事業) (町文化財調査報告1)	970331	唐古・健道跡 Vol.2 (土器編) 橋原町教育委員会 橋原町内遺跡発掘調査概要報告書 1995年度 (町文化財調査概要18)	980331
上郡町教育委員会・白旗城跡(赤松氏城跡) (町文化財調査報告2)	980331	香芝市二上山博物館 赤佐古跡とサヌカイト (石材の原産地と消費地)	980425
使用部教育委員会 平成8年度佐用郡埋蔵文化財調査年報 (郡文化財報告書 第1集)	980331	広陵町教育委員会 広陵町指定文化財 平成7年度版	971225
西紀、丹南町教育委員会 西紀町の石造物 丹南町の石造物	9903 9903	河合町教育委員会 河合町指定史跡 ナガレ山古墳	
今田町教育委員会 今田町団体宿営施設整備事業 (町文化財調査報告 第2集)	940331	和歌山(30) (財) 和歌山市文化体育振興事業団 霧ノ森遺跡 第3次発掘調査概報	921130
今田町の中世城跡 (同上 第3集)	970228	木ノ森古跡 第9次発掘調査概報	980331
今田の道標 (町文化財記録 第1集)	950331	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報5 (平成7年 (1995))	980331
今田町指定文化財団跡 平成7年度版	960331	中野遺跡 第2次発掘調査概報	980331
園田家文書目録 (町古文書史料報告 第一集)	980331	友田町遺跡 第2・3次発掘調査概報	980331
奈良(29)		秋月遺跡 第6次発掘調査概報	980331
奈良県教育委員会 石碑遺跡調査 (奈史跡名勝天然記念物調査報告書 第70冊)	970331	鳥取(31) (財) 鳥取県教育文化財団・鳥取県埋蔵文化財センター 米子城跡2遺跡 (G・3・7・号木子駅境線道路改良工事) (県教育文化財团開発調査報告書56)	980331
奈良県教育委員会・櫛原考古学研究所 芝ノ前遺跡 (奈史跡名勝天然記念物調査報告書 第53冊)	880331	鳥取市教育委員会 史跡出城跡附太閤ヶ平 太鼓御門発掘調査報告書	980320
奈良県立埋蔵考古研究所 県道跡調査報告1995年度	970331	平成9年度 鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書 桂見遺跡群	980331
保津・宮古遺跡4次発掘調査報告 (県文化財調査報告書 第59集)	900331	(財) 鳥取市教育振興協会 吉見遺跡 (市道占吉本線道路整備事業)	980331
宮浦遺跡 (遺構編) (奈史跡名勝天然記念物調査報告第71冊)	960331	平成9年度 桂見遺跡発掘調査報告書 (布勢総合運動公園整備事業)	980331
福ノ谷遺跡・白川火葬墓群 (屏山文化財調査報告書 第73集)	960331	秋里遺跡 (G・4・8号宮下十六本松線道路改良事業)	980331
一ノ谷遺跡 (同上 第74集)	960331	秋里遺跡 (市街計画事業 (公共下水道) 秋里污水4号幹管下水道新設事業)	980331
平城京左京三条二坊八坪 (東三坊跡路西跡跡の調査) (同上 第76集)	980331	布勢墳墓群 (布勢総合運動公園整備事業)	980331
小山戸城跡 (河上 第77集)	980331	桂見遺跡群 (とつりり出合いの森整備に伴う市道出合いの森整備事業)	980331
平城京右京二条一坊七・八・九・十坪 (同上 第79集)	980331	河原毛田遺跡発掘調査報告書 (同上 第96集)	980331
越部古墳 (同上 第82集)	970331		
黒塚古墳	980420		
櫛原考古学研究所年報23 (平成8年度)	980331		
木永雅雄先生旧藏図書目録 (保護)	980615		
奈良県立埋蔵考古学研究所概要	981101		
奈良県立埋蔵考古学研究所内 (財) 由良大和古代文化研究会 研究紀要 第6集	980715		
高岡町教育委員会 タニギチ古墳群 (付タニギチ墳墓群) 発掘調査報告 (町文化財調査報告書 第17号)	960331		
奈良県橿原市千坂資料館 かしはらの歴史をさぐる6 (平成9年度埋蔵文化財発掘調査報報)	990202		
橿原市教育委員会文化財課 橿原市埋蔵文化財発掘調査概報 (藤原京跡) (橿原市埋蔵文化財調査概要)	980331		
桜井市教育委員会 桜井市平成7年度図庫補助による発掘調査報告書 (市立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第17集)	960330		
(財) 桜井市文化財協会 市内埋蔵文化財1993年度発掘調査報告書	940330		
谷遺跡第5次調査 (同上1992年度発掘調査報告書2)	940330		
桜井市大福遺跡調査報告 (大福小学校第三・第四次発掘調査概報)	950331		
田原本町教育委員会 唐古・健道跡 第61次調査概報 (町埋蔵文化財調査概要16)	970331		
田原本町埋蔵文化財調査年報6 1996年度	970331		

石田道跡Ⅲ同上15 むかしむかしのあさくみがわ(よみがえるあさくみがわのながれⅡ) 9803	岡山県自然保護センター研究報告編集委員会 岡山県自然保護センター研究報告 第6号 岡山県自然保護センター年報 第6号 平成9年度 岡山県郷土文化財団 岡山の自然と文化 17〈郷土文化講座から〉 980331
板屋三重跡(志津見ダム建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5) 980331	倉敷埋蔵文化財センター 倉敷埋蔵文化財センター年報4〈平成8(1996)年度〉 平成9年度西展 発掘くらしき〈わたしの町の遺跡展〉 たんけんくらしきの古代 河原7号墳(倉敷埋蔵文化財発掘調査報告 第7集) 980331
かんじの流れ'97(志津見ダム建設予定地内の遺跡4) 荒船古墳群・荒船道跡 木立川流域条里道跡 (2) 980330	倉敷市立自然史博物館 由加山の自然(倉敷市立自然史博物館第14回特別展「由加山の自然」 解説書) 980330
上沢三重跡・猿谷古墳・大井谷城跡・上塙治横穴墓群第7・12・ 22・23・33・35・36・37文群(斐伊川放水路建設予定地内埋蔵文 化財発掘調査報告書4) 980331	宇野郷遺跡物語コレクション(7)ゴマノハグサ科←クサトベ科(収 蔵資料目録 第7号) 倉敷市立自然史博物館 第7号 980331
鳥根県立立木風土記の丘 古代の調べ 981003	津市教育委員会 有本遺跡 男戸鶴古墳 上這戸鶴遺跡(津山総合流沿センター2) (市埋蔵文化財発掘調査報告 第62集) 日上航山古墳群(市埋蔵文化財発掘調査報告 第63集) 舟の前衝から鳳凰の世界へ(安東次男文庫目録) 980331
松江市教育委員会・(財) 松江市教育文化振興事業団 俊尻遺跡群発掘調査報告書(第2回商業用地造成工事) 980331	津市教育委員会・津山弥生の里文化財センター 年報 津山牛の里 第5号(平成8年度) 980331
向山古墳群発掘調査報告書(市文化財調査報告書 第77集) (財) 松江市教育文化振興事業団 980331	津洋洋学資料館 洋学研究誌 一滴 第6号 9810
鳥取県立文化振興事業団 埋蔵文化財調査年報II 9803	津山郷土博物館 矢吹家資料目録下(土蔵収蔵資料の部)(津山郷土博物館紀要第10号) 980331
出雲市教育委員会 市道渡橋柄平野線道路改良工事に伴う小山遺跡第2地点発掘調査報告 書 9812	津山松平藤弓行日記6(同上 第十一号) 津山藩と小豆島(津山郷土博物館特別展図録第17冊) 981010
藤ヶ森遺跡 (I地点・II地点) 9803	綾社市教育委員会 綾社市埋蔵文化財発掘調査年報(綾社市埋蔵文化財発掘調査年報8) 981130
西谷遺跡群測量調査報告書 9803	高梁市教育委員会 平成9年 史跡唐松山城跡木本復元整備工事報告書 980331
志田遺跡発掘調査報告書 9803	備前市文化協会 創立25周年記念誌(我が町の文化遺産) 981012
上塙治横穴墓群第34支群発掘調査報告書 9803	備前堺紀年紀念式典調査委員会・備前市教育委員会 備前堺紀年紀念式典調査報告書 980331
出雲市埋蔵文化財調査報告書 第8集 980330	御津町教育委員会 御津尾谷遺跡(御津町埋蔵文化財発掘調査報告 9) 980331
古志本郷遺跡第6次発掘調査報告書(市道本郷新宮筋道路改良工事) 980331	昌久町教育委員会 史跡門田月坂遺跡整備事業報告書 980331
岡山(33) 中国電力内山下室電所建設事業埋蔵文化財調査委員会 岡山城二の丸跡(中国電力内山下室電所建設) 980331	備前長船博物館 岡山の優品業 981106
岡山県教育委員会 岡山黒帯埋蔵文化財報告28 981031	鴨方町 岡西の孔子 西山道場 981028
高下遺跡・浅川古墳群ほか・横原古墳群・模原古墳群・〈一般国道2号 改修工事(岡山バイパス)〉(県埋蔵文化財発掘調査報告123) 970228	鴨方町教育委員会 江戸へ百八十二里 鴨方町家公園 記録集不載 970331
症木遺跡2(岡山県立大学建設) (同上124) 980330	北房町教育委員会 大谷一号墳(北房町埋蔵文化財発掘調査報告 7) 980325
伊福原町開拓跡(県立岡山工業高等学校兼教育施設(實習棟)改 築) (同上125) 980331	奥津町教育委員会 大神宮No.14造跡(街道奥津福見宣新設工事) (町埋蔵文化財発掘 調査報告 3) 980331
北方下沼遺跡・北方横田遺跡・北方中溝遺跡・北方赤堀遺跡(都市 計画道路万成・国宮線建設Ⅰ) (同上126) 980331	広島(34) 広島歴史民俗資料館 平成10年度考古文献展 ひろしまの古代寺院(寺町庵寺と水切り川) 980424
津寺遺跡2(山陽自動車道建設15) (同上127) 980331	980331
大岩遺跡・田益田中遺跡・白壁古遺跡(山陽自動車道建設16) (同 上128) 980331	980331
大田赤堀遺跡2・大田障子遺跡・大田松川久保遺跡・大田正興遺 跡・大田西奥田遺跡(グリーンヒルズ津山建設) (同上129) 980331	980331
十六夜山古墳・十六夜山遺跡(県立津山高等学校校舎改築) (同 上130) 980331	980331
水洞古墳群・水洞遺跡(一般道路別所下長田組雪害(凍雪害防止) 事跡) (同上131) 980331	980331
段林道跡・段林古墳(県道矢掛島線改良事業) (同上132) 980331	980331
室尾石牛谷口古墳ほか(主要地方道津山智頭八束改良工事) (同上 133) 980331	980331
清谷遺跡ほか(県営矢掛島雪場整備事業) (同上134) 980331	980331
池田敷布地・石塔鼻散石地ほか・阿知境遺跡ほか(同上135) 981130	980331
岡山県立博物館 岡山県立博物館研究報告 第16号 9503	980331
岡山県立博物館研究報告 第17号 9603	980331
岡山県立博物館研究報告 第18号 9703	980331
年報 平成3年度~平成5年度 980331	980331
年報 平成6年度~平成8年度 980331	980331

平成10年度 秋の展示会 道具と木のはなし 木の建築・木の芸術 をつくった道具の歴史	981023	徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会	
広島県埋蔵文化財調査センター		三谷道跡 (徳島市佐古配水場施設増設)	970331
西本 6号遺跡 (系埋蔵文化財調査センター調査報告書 第143集)	970331	徳島市教育委員会	
灰塚ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (Ⅱ) (同上 第158集)	980331	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要 7	970331
灰塚ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (Ⅲ) (同上 第159集)	980331	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要 8	980331
(財) 広島県埋蔵文化財調査センター		徳島市立考古資料館	
研究報告書	9803	開館記念企画展 遺物が語る弥生人の顔 いにしえの巣島 (古代からのメッセージ) (徳島市立考古資料館展 示説明)	
千代田遺跡周辺造成事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 (II) (同上 第160集)	980331	海南町教育委員会	
同上 (III) (同上 第161集)	980331	海南・大里 2号墳発掘調査報告書	970331
中臣道跡 B地点発掘調査報告書 I (同上 第162集)	980331	香川 (37)	
伎倉跡 (同上 第163集)	980331	高松市教育委員会	
浅谷山東B地点遺跡・清水3号古墳 (同上 第164集)	980331	越前道跡 (一般国道11号高松東道路建設 第六帶)	951031
山の神道跡群・池の道遺跡群 (同上 第165集)	980331	岳石道跡 (一般国道11号高松東道路建設 第七帶) (市道文化財 調査報告 第30集)	951031
法成寺古寺跡・法成寺古寺谷古墳 (同上 第166集)	980331	弘福寺領御坂城山田郡田園関係道跡発掘調査概報 (第2次弘福寺領 田園調査事業) (同上 第33集)	9703
兩連古墳発掘調査報告書 (同上 第167集)	980331	日暮・松林遺跡 (都市計画道路福岡多町線建設) (同上 第34集)	970331
東ノ木遺跡発掘調査報告書 (同上 第168集)	980331	弘福寺領御坂城山田郡田園関係道跡発掘調査概報 (第2次弘福寺領 田園調査事業) (同上 第35集)	9803
住吉古墳・足谷 (同上 第169集)	980331	境町・下西原遺跡太田第2地区南整理事業 (同上 第36集)	
市谷第6・7号古墳 (同上 第170集)	980331	種子島教育委員会・岡山理科大学人類学教室	
寺之下遺跡 (同上 第171集)	980331	平尾墳墓群	981231
大将軍遺跡発掘調査報告 (河内 第172集)	980331	愛媛 (38)	
宮ヶ森第1-5号古墳 (同上 第173集)	980331	(財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター	
犀田遺跡 (同上 第174集)	980331	高城跡 (追後古墳調査報告書 第1分冊) (埋蔵文化財 発掘調査報告書 第66集)	980331
(財) 広島市歴史科学教育振興団		高瀬・古照新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書 (同上 第67集)	
巣取遺跡発掘調査報告書 (事業団調査報告書 第21集)	9703	西国貞貞自軌道車 同上 X II 伊予市轟 II (同上 第58集)	950331
栗ヶ谷遺跡発掘調査報告書 (同上 第22集)	9803	登畠遺跡 (一般国道J96号今治バイパスⅢ) (同上 第69集)	980331
佐佐時代の土笛づくり (昭和9年度考古学教室から)	9803	火内遺跡・阿波道跡 (宍粟大橋建設 第3集) (同上 第70集)	9803
福山市教育委員会		四村日本遺跡 (美濃今治丹原線の建設 第1集) (同上 第71集)	9803
草戸千軒可風跡 (法音寺城改築工事)	970331	西野春日谷遺跡・通谷池2号墳 (えひめこどもの城建設) (同上 第72集)	9803
(財) 東京都市教育文化振興事業団埋蔵文化財センター		糸山5号土坑墓・糸山ミカン谷遺跡・姫内城跡 II (同上 第73集)	9903
古志喜跡発掘調査報告書 (文化財センター調査報告書 第8冊)	960331	中塙城遺跡 (平成10年度主要地方道宿毛丸馬線) (同上 第74集)	990331
下上戸遺跡発掘調査報告書 (同上 第10番)	9703	松山市教育委員会・(財) 松山市生涯学習推進費回埋蔵文化財センター	
後追1号遺跡発掘調査報告書 (同上 第13番)	9703	大崎ヶ台遺跡 II (9次調査) (市文化財調査報告書 第62集)	980331
小越遺跡発掘調査報告書 (同上 第15番)	970712	朝日谷2号墳 (同上 第63集)	980331
上横上3号遺跡発掘調査報告書 (同上 第18番)	980331	和気・报江の遺跡 II (原原遺跡・谷町遺跡) (同上 第64集)	980331
新市町立歴史民俗資料館		石井・穴穴の遺跡 (浮穴小学校構内遺跡・石井東小学校構内遺跡・ 越智遺跡・石井北小学校遺跡) (同上 第65集)	980331
備後耕	970331	福首寺地区の遺跡 II (北久米寺遺跡4次・5次・6次・新造J・筋 遺跡) (同上 第67集)	980701
山口 (35)		松山市文化財調査年報 X	980901
下関市教育委員会			
長門国府跡 (金屋地区) 発掘調査報告書 (市埋蔵文化財調査報告書 66)	980330		
下関市立考古博物館			
研究紀要 第2号	980331		
年報3 (平成9年度)	980331		
平成10年度企画展 下関の弥生時代 (近年の発掘成果から)	980926		
周防国府跡調査会・防府市教育委員会			
周防国府跡第98次発掘調査概報 (防府市埋蔵文化財調査概要 9804)			
周防国府跡第98次発掘調査 (S-K-D-D) (同上) 950327	950331		
下右田遺跡1994-A次調査・第11次調査 (SM-DG) (同上) 9603			
防府市教育委員会			
周防国府跡第101次発掘調査概報 (同上) 9801			
平成7年度防府市内遺跡発掘調査概要 (周防国府跡第93-95次発掘 調査概要) (同上) 9702	970327		
周防国府跡第94-96次発掘調査概要 (同上) 9701	970327		
平成8年度防府市内遺跡発掘調査概要 (同上) 9802	980327		
高知 (39)			
(財) 高知県文化財団 煙蔵文化財センター			
田村遺跡群 (平成9年度 高知空港発掘調査)			

田村遺跡群（平成10年度 高知空港整備調査）	9901	天神遺跡（宅地造成工事）（同上 第80集）	980331
<b>福岡（40）</b>		北九州市立考古博物館	980330
福岡県教育委員会		年報（平成9年度）	980330
福岡県埋蔵文化財調査年報（平成7年度）	980331	研究紀要 Vol.5	9806
貝元遺跡（九州自動車道延長工事）建設に伴う筑紫野市所在弥生・古墳時代大集落の発掘調査 報告I)	980331	開創15周年記念特別展 西と東の韓文土器（土器が語る韓文時代の日本列島）	980312
唐取五反田遺跡 I・福岡 A・B 遺跡（福岡県浮羽郡吉井町大字唐取、新治所在遺跡の調査）（一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第9集）	980331	福岡市教育委員会	
諸田遺跡群（福岡市筑紫野市大字永岡・常松・諸田所在遺跡の調査）（一般国道3号筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第5集）	980331	福岡市埋蔵文化財センター年報 第17号	981203
以来尺遺跡（福岡市筑紫野市大字筑紫所在遺跡の調査II）（同上 第6集）	980331	福岡市埋蔵文化財年報Vol.11（平成8（1996）年度）	980310
上糸野遺跡・宇野代遺跡 II（福岡県糸糸上郡新吉富村所在遺跡の調査）	980331	重要文化財旧日本生命株式会社 九州支店保存整備工事報告書	
一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告（第8集）	980331	9503	
大塚本遺跡（福岡県築上郡大半村大字下原所所在遺跡の調査）（同上 第9集）	980331	有田・小田部 第30集（市筑紫文化財調査報告書 第547集）	980331
鶴ヶ原遺跡（同上 第10集）		3ヶ道遺跡群3（第4次調査報告）（同上 第548集）	980331
穴出古墳群・坂山城跡（現山無線中継所関係埋蔵文化財調査報告書）	980331	多々良込道跡群（同上 第549集）	980313
下高橋馬屋川遺跡（2）（JR久留米駅・筑紫野線関係埋蔵文化財調査報告書B）（県文化財調査報告書 第133集）	980331	筑崎遺跡5・蒲田部木原遺跡5（同上 第550集）	
才田遺跡・東才田遺跡（九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告46）	980331	箱崎6（箱崎遺跡群第10次発掘の報告書）（同上 第551集）	980331
新倉郡把木町所在 植田遺跡・小穴原遺跡・二十谷遺跡・陣内遺跡・上野原遺跡（同上49）	980331	吉坂4（同上 第552集）	
中炒見遺跡・原の東遺跡 I（朝倉都朝金町所在中炒見遺跡の調査 I）（同上50）	980331	吉坂3（同上 第553集）	980331
甘木市所宮原遺跡の調査IV（D地区）（同上51）	980331	吉坂遺跡5（同上 第554集）	980331
甘木市所宮原遺跡の調査V（同上52）	980331	博多多61（同上 第556集）	980313
下唐原官園遺跡（一般河川山田川養老間関係埋蔵文化財調査報告2）	980331	博多多62（博多遺跡群第97次発掘調査概要）	980331
鈴ヶ山遺跡・広ミ遺跡（八女郡広川町新代所在遺跡の調査）（広川 インターチェンジ関係埋蔵文化財調査報告）	980331	博多多63（博多遺跡群第97次発掘調査概要）	980331
<b>福岡市教育委員会</b>		博多多65（博多遺跡群第99次・第101次発掘調査報告）	980331
埋蔵文化財調査年報14（平成8年度）	980331	博多多64（博多遺跡群第98次発掘の概要）（市埋蔵文化財調査報告書 第559集）	980331
上臼井吉古墳（測量・実測調査及び保存整備のための発掘調査）（町文化財調査報告書 第3集）	980331	雀居遺跡4（同上 第560集）	980325
（財）北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室		下月原C遺跡2（下月原C遺跡2次3次調査）（同上 第566集）	980320
小倉城跡2（勝山公園地下駐車場建設工事）（市埋蔵文化財調査報告書 第196集）	970331	板付周辺遺跡調査報告書第19集（同上 第567集）	980331
大畠遺跡（同上 第200集）	970331	安野B遺跡（同上 第568集）	980331
金丸遺跡2（一般国道200号線直方バイパス建設工事）（同上 第210集）	980220	難鍋領遺跡4（同上 第569集）	980331
琴ヶ遺跡2（同上 第211集）	980331	有田・小田部3.1（同上 第574集）	980331
乙丸宮ノ下遺跡（同上 第219集）	980331	耶珂遺跡群21（同上 第564集）	980331
小倉城下黒塚跡（同上 第222集）	980331	耶珂遺跡20（同上 第565集）	980331
研究紀要一冊12号－	980331	比恵遺跡群28（同上 第562集）	980331
北九州市教育委員会		比恵遺跡群25（同上 第561集）	980331
冷水遺跡2地点（鹿児・葛原線道路新設改良工事）（市文化財調査報告書 第73集）	980331	井尻B遺跡6（第8次調査報告）（同上 第571集）	980210
片伊田遺跡X・II・IV（鹿児・葛原線道路新設改良工事）（同上 第74集）	980331	和田B遺跡2（同上 第572集）	980331
廣隆寺跡（同上 第75集）	980331	野方岩名勝1嘉瀬（同上 第573集）	
乙丸遺跡2地点（同上 第76集）	980331	野芥遺跡2（第4次調査報告）（同上 第575集）	980331
紅梅（A）遺跡第3地点（同上 第77集）	980331	野芥遺跡3（第7次・第8次調査の報告）（同上 第576集）	980331
小倉城跡IV（鹿児島路の調査）（同上 第78集）	980331	入部 IV（同上 第577集）	980331
中尾遺跡（久留米整理事業）（同上 第79集）	980331	松木田遺跡群（同上 第578集）	980331
<b>久留米市教育委員会</b>		金武古墳群・金武古墳群吉武・郡の調査（同上 第579集）	980331
筑後国2号線今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告書（同上 第583集）		吉古遺跡群X（同上 第580集）	980330
今山遺跡（第7次調査の報告）（同上 第584集）		国道202号線今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告書（同上 第585集）	980331
飯石古墳群B文8号古墳（福岡市西区飯石所在前方後円墳の調査）		今山遺跡（第7次調査の報告）（同上 第586集）	980325
酒詠碑記跡（同上 第584集）		飯石古墳群吉武・郡の調査（同上 第587集）	980331
野芥大藪遺跡第1次発掘（福岡市外環状道路関係埋蔵文化財調査報告書4）		酒詠碑記跡（同上 第588集）	980331
福岡市西区楠木一丁目遺跡第2次調査・楠木遺跡第1次調査（同上 上5）		野芥大藪遺跡第1次発掘（福岡市外環状道路関係埋蔵文化財調査報告書4）	980331
中南部(5)（五十川遺跡群第3・4次・難鍋隈遺跡群第9次調査報告書）		中南部(5)（同上 上5）	980331
久留米市教育委員会		中南部(5)（五十川遺跡群第3・4次・難鍋隈遺跡群第9次調査報告書）	971226

瑞鳳遺跡 (岡上 第133集)	980131	(同上 第17集)	981030
筑後国府跡 第148次調査 (同上 第134集)	980131		
筑後国府跡 第149次調査 (同上 第135集)	980228		
筑後国府跡 第151次調査 (同上 第136集)	980228		
大寺寺遺跡 (大寺寺校区公民館建設Ⅱ) (岡上 第137集)	980331		
鶴水古墳群 第2次調査 (同上 第138集)	980331		
筑後国府跡 地分寺跡 (平成9年度発掘調査概要) (同上 第139集)	980331		
久留米市内遺跡群 (同上 第140集)	980331		
筑紫野市教育委員会			
岡田地区遺跡群Ⅱ (Ⅰ区の調査) (市文化財調査報告書 第56集)	980331		
岡田地区遺跡群Ⅲ (Ⅱ区の調査) (筑紫野市岡田地区民間整理事業) (同上 第56集)	980331		
腰・西小田地区遺跡群 (腰・西小田土地区面整理事業) 市裡藏文 化財発掘調査報告書 第38集	980331		
佐賀市教育委員会			
京像・名残I (市文化財調査報告書 第18集)	880331		
朝町山ノ口II (福岡県宗像市大字朝町山ノ口所在遺跡の発掘報告) (同上 第34集)	9103		
浦谷古墳群Ⅲ (同上 第36集)	9203		
光岡辻ノ原 (同上 第43集)	980331		
王丸長谷 (福岡県宗像市王丸所在遺跡の発掘調査報告) (同上 第44集)	980331		
野坂新田 (福岡県宗像市野坂所在遺跡の発掘調査報告) (同上 第45集)	980331		
九州歴史資料館			
九州歴史資料館年報 (平成9年度)	980725		
太宰府市教育委員会			
太宰府条坊跡X (市の文化財 第37集)	9803		
成形形古墳 (成形形跡第6次調査) (同上 第38集)	9803		
太宰府・佐野地区遺跡群Ⅳ (同上 第39集)	9803		
福岡市教育委員会			
赤九櫻尾遺跡 (町文化財調査報告書 第11集)	970331		
八並中原遺跡 (同上 第13集)	980331		
津屋崎町教育委員会			
勝浦北部丘陵遺跡群 (福岡ユーハイゴルフクラブ場造成工事)	980331		
生家町ヶ島原跡 (扱い手未定) 整備事業実施地区図	960331		
水巻町教育委員会			
上二貝塚 (市文化財調査報告書 第6集)	9803		
篠田町教育委員会			
国指定史跡 虎毛馬神龍石 (福岡県嘉瀬郡篠田町所在虎毛馬神龍石の調査報告書) (町文化財調査報告書 第4集)	980331		
夜須町教育委員会			
松崎遺跡I (保道山・西小田線関係) (町文化財調査報告書 第28集)	940131		
松崎遺跡II (夜須地区遺跡群Ⅷ) (同上 第33集)	960331		
法福寺遺跡 (夜須地区遺跡群Ⅸ) (同上 第34集)	960331		
初枕遺跡 (夜須地区遺跡群ⅩⅠ) (同上 第36集)	970331		
中牟田小学校跡 (同上 第37集)	970331		
伊都歴史資料館			
伊都国分寺跡 秋季企画展 (かがいた記)			
前原市教育委員会			
泊桂木遺跡 (市文化財調査報告書 第64集)	970331		
福岡県前原市 内外遺跡等分布地図	980331		
川原川右岸地区遺跡群Ⅱ (川原川右岸地区県営は湯整備事業)	980331		
大刀洗町教育委員会			
本郷野猪跡遺跡II (福岡県三井郡大刀洗町大字本郷所在遺跡の調査) (市文化財調査報告書 第13集)	970325		
本郷野猪跡遺跡III・IV (同上) (同上 第15集)	980331		
高橋家添造跡 II (福岡県三井郡大刀洗町大字高橋所在遺跡の調査)			
佐賀 (41)			
佐賀県教育委員会			
東福寺遺跡 (九州横断自動車道関係I 7) (市文化財調査報告書 第121集)	940331		
佐賀市教育委員会			
全立遺跡 II 4~9区の調査) (市文化財調査報告書 第87集)	980331		
久留里遺跡2区・友貴遺跡13区~17区・東千布遺跡4A区~4B区 (同上 第88集)	980331		
半田寄遺跡IV (同上 第89集)	980331		
修善寺遺跡II <2・3区の調査> (同上 第90集)	980331		
若宮原遺跡2区・3区 (同上 第91集)	980331		
東之吉遺跡 (5区) (同上 第92集)	980331		
坪の上遺跡 I (佐賀県水事史) (同上 第93集)	980331		
コガリ遺跡 (同上 第94集)	980331		
現田原遺跡 II (以上の調査) (同上 第95集)	980331		
佐賀県産業文化財認定調査報告書 (1993・1994年度) (同上 第96集)			
赤井出遺跡1区・千立山遺跡1区 (佐賀市久保泉工業団地関係5) (同上 第97集)	980331		
伊万里市教育委員会			
桔梗塚からだら (市道長浜33号線道路改良事業) (市文化財調査報告書 第42集)	950329		
宮ノ前北遺跡 (農業基礎整備地区内遺跡) (同上 第43集)	980329		
橋ノ御牧場跡 (伊万里港臨港道路工事) (同上 第44集)	970328		
三日町教育委員会			
石井中高遺跡 (町文化財調査報告書 第7集)	960329		
土生遺跡 I (土生遺跡第9次調査報告書) (同上 第8集)	980331		
土生遺跡 II (同上 第10次) (同上 第9集)	980331		
鏡山西教育委員会			
No.50松浦鎮信陣跡・No.49經川忠興陣跡 (竹内遺跡詳細分布調査) (町文化財調査報告書 第15集)	980331		
豊前遺跡 (県合志地区総合土地改良事業) (同上 第16集)	980331		
熊本 (43)			
熊本市教育委員会			
つづじヶ丘東穴門遺跡調査報告書 (平成8年度)	970325		
五丁中原遺跡 (五丁中原遺跡群第1次調査区概要報告書)	970331		
大分 (44)			
大分市歴史資料館			
府内及び大友氏関係遺跡総合調査研究年報IV	960331		
F u n a i 府内及び大友氏関係遺跡総合調査研究年報V	970331		
F u n a i 同上VI	980331		
佐伯市教育委員会			
泰祐古墳 (8農免農道整田地区整地工事)	980325		
大祐前遺跡 (美術館建設)	980331		
鹿児島県教育委員会			
第23回全国道路環境整備会議実行委員会・鹿児島県教育委員会・福宿市教育委員会 史跡活用のためのソフト事業の展開 (第23回全国道路環境整備会議 資料集)	9811		
加世田市教育委員会 桥ノ原遺跡 (市埋蔵文化財発掘調査報告書15)	9803		
国等の機関			
文化庁文化財保護部歴史遺跡課 伝統的聚落における歴史的環境整備を中心とした地域活性化方策の調査・検討	980331		

伝統的集落における歴史的環境整備を中心とした地域活性化に向け て(平成9年度 國立庁地域活性化推進費地域の歴史的特性を活 かした中間開発地域の活性化推進方策のあり方に関する調査)	
國立歴史民俗博物館	
國立歴史民俗博物館研究報告 第72集	970328
國立歴史民俗博物館研究報告 第75集	970328
國立歴史民俗博物館研究報告 第76集	980331
國立歴史民俗博物館研究年報 5 (1996年度)	980325
社寺の国宝・重文建造物等 様札絵文集成 (近畿編一) 『非文獻資 料の基礎的研究(様札)』報告書	960329
社寺の国宝・重文建造物等 様札絵文集成 (近畿編二) (同上)	960329
社寺の国宝・重文建造物等 様札絵文集成 (東北編) (同上)	970328
社寺の国宝・重文建造物等 様札絵文集成 (関東編) (同上)	970328
農耕開始期石器組成 3 北海道・東北・関東 (國立歴史民俗博物 館資料調査報告書7)	970331
農耕開始期石器組成4 中部・近畿 (三重・滋賀・京都・奈良・和 歌山)	970331
奈良國立文化財研究所	
奈良國立文化財研究所年報 1998-I	980930
奈良國立文化財研究所年報 1998-II	980930
発掘調査資料 第2部発掘調査一覧 別刷 (PP.191~256) (奈良國 立文化財研究所史料 第48冊)	980831
奈良國立文化財研究所 飛鳥資料館	
それからの飛鳥	980413
UTAMAKURA (影像・翻訳・万葉集)	981006
東京國立文化財研究所	
上野忍冬道跡調査 東京國立文化財研究所申請施設建設予定地地点發 掘調査概報 東京國立文化財研究所新宮予定地点 発掘調査概報	971031
大学・学校法人	
東京大学 大学院人文社会系研究科・文学部 考古学研究室	
東京大学考古学研究室紀要 第15号	971210
東京都立大学人文学部考古学研究室・遠利用の人類誌調査・飛騨山峡 の人類誌調査グループ	
人類誌年報1998 (遠利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・考古資料か らの人類誌)	980531
金沢大学文学部考古学講座	
金沢大学考古学紀要 第24号	980930
名古屋大学文学部考古学教室	
名古屋大学文学部研究論集131 (史学44) (考古学技術第13集)	9803
考古資料ソフトウェア写真集 第13集	980315
國學院大學文学部考古学研究室	
物見道跡 1998 (國學院大學文学部考古学実習報告 第33集)	980731
同志社大学歴史資料館	
同志社大学歴史資料館 官報 (創刊号)	980930
立命館大学文学部芸芸課程	
鴨谷東古墳群第3・4次発掘調査概報 (立命館大学文学部芸芸課 程研究報告 第4冊)	980331
久米田貝吹山古墳 第1~4次調査概報 (同上 第7冊)	980331
関西大学博物館	
関西大学博物館紀要 第4号	9803
学校法人 鶴馬育英会	
甲陽学院文庫 旧「宇津保文庫」考古資料目録 (乙編)	980531
森島大学文学部文化財学科	
文化財学報 第十六集 (岡田英男・古原宗伸先生追憶記念特集)	980331
奈良大学文学部考古学研究室	
五村謹述 『いきがいセンター建設』 (虎姫町文化財調査報告書 第2	
集)	980131
就業女子大学吉備地方文化研究所	
吉備地方文化研究 第九号	980901
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	
岡山大学構内遺跡調査研究年報15 1997年度	990129
津島町大通路10 第9次発掘 (工学部生体標記用工学科新管子定 地A V・AW04区) (岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第14番)	980325
徳島大学	
庄・武木遺跡1 (徳島大学藏本キャンパスにおける発掘調査) (德 島大学埋蔵文化財調査報告書 第1巻)	980331
福岡大学 (考古学研究室)	
這史跡 五郎山古墳 (保存整備に伴う発掘調査) (筑紫野市文化財 調査報告書 第57集)	980331
出版者・法人・個人	
国宝修理後演説連盟	
平成9年度 国宝修理後演説連盟 定期研修会講演集不載	
(財) 日本城郭協会	
日本の城郭址に関する調査報告書八	981201
田中智彦 (聖徳太閤と朝鮮教育大学)	
六十六都道府県美術のデータベース構築に向けての基礎研究 (研究 振興号令08610325) (平成8・9年度科学研究費補助金 (基盤研 究 C (2)) 研究成果報告書)	9803
山武国際学研究所	
山武考古学研究所年報No.15	980630
至文堂	
鷦尾 (日本の美術 第392号)	990115
(株) ゼンリン	
岡山県ふるさとの文化遺産 (郷土資料事典33)	980701
(株) 大雅館	
説説 日本の漢字	981101
(株) 大巧社	
經体大王と渡米人	981210
小学館	
權力と国家と戦争 (古代史の論点4)	980320
神と祭り (古代史の論点5)	990320
雄山閣株式会社	
李刊 考古学 第63号	980428
近藤義郎 夷蘇治山弥生墳丘墓発掘調査団	
岡山市 夷蘇治山弥生墳丘墓 (補訂2刷)	980610
外国	
中国洛陽市文物工作隊	
河洛史話	9512

## V. 資料紹介と研究ノート

津高支所保管の遺物  
亀甲地双鳥鏡  
近世の備前焼擂鉢とその模倣品



千足古墳の直弧文

## 津高支所保管の遺物

もの津高町域は、東は笹ヶ瀬川によって開けた盆地、西は吉備高原に続く丘陵地帯に広がっているが、いまは合併によって岡山市の一都となっている。ここに紹介する遺物は、旧津高町役場から岡山市津高支所に受け継がれたものである。注記がなく採集地が不明なものも多いが、貴重な考古資料であることには変わりなく、これ以上の散逸を防ぐため活用をはかるため、このたび教育委員会文化課が引き継いだ。この資料の由来を知る現役職員はなく、もはや不詳なことが多いが、注記の字体や津高地区での歴史研究をめぐる経緯から、津高町の教育長などを務められた河本一夫氏が採集されたものが含まれることは間違いない。

土器・陶磁器には1~11がある。1・2は弥生時代後期のものである。津高盆地縁辺の尾根筋などには、この時期の集落が点在するのが最近の発掘で明らかになってきており、この土器片もそうした遺跡の一つで採集されたものであろう。3・4は古墳時代後期の須恵器で、完形に近いことと合わせて、津高盆地に臨む丘陵に散在する横穴式石室墳のものであった可能性が強い。

5~10は中世後半期の備前焼、11は青磁碗である。このうち5・6・10には「清水採取」の注記があり、清水廃寺(岡山市芳賀字清水)での採集品であることが判る。清水廃寺は、中世の瓦や備前焼がたくさん採集できることで古くから著名であった。河本一夫氏ら横井郷土史研究会は清水廃寺についての報告書、「清水前谷史蹟調査報告」を1937年に発刊しており、亀山焼3点、備前焼15点、青磁1点、瓦質羽釜1点の完形遺物が掲載されている。ほとんどが骨蔵器で、このうち数点はいま横井小学校の応接室に保管されている。5~11は、同氏らの清水廃寺での調査活動のなかで採集され、完形品を差し引いた残りである可能性が高い。室町時代という年代も、この遺跡で從来知られる遺物の年代と一致する。

12~16は埴輪である。すべて窯窯焼成と判断できるものであり、基底部の二次調整を省略するなど川西編年のIV期後半に位置づけられる。採集地などの記載はなく、總てが同じ古墳から採集されたものかどうかは判らないが、時期観や特徴からその可能性はある。1・3は円筒埴輪でもかなりの大形品で、県内の出土品とすれば、作山古墳(総社市)、宿寺山古墳(都窪郡山手村)、小造山古墳(岡山市)などの大形前方後円墳からの出土である可能性が高い。

19~42は瓦である。19は白鳳時代の軒丸瓦である。同文品は津高盆地南西部にある津高北廃寺で知られており、その採集品と判断できる。

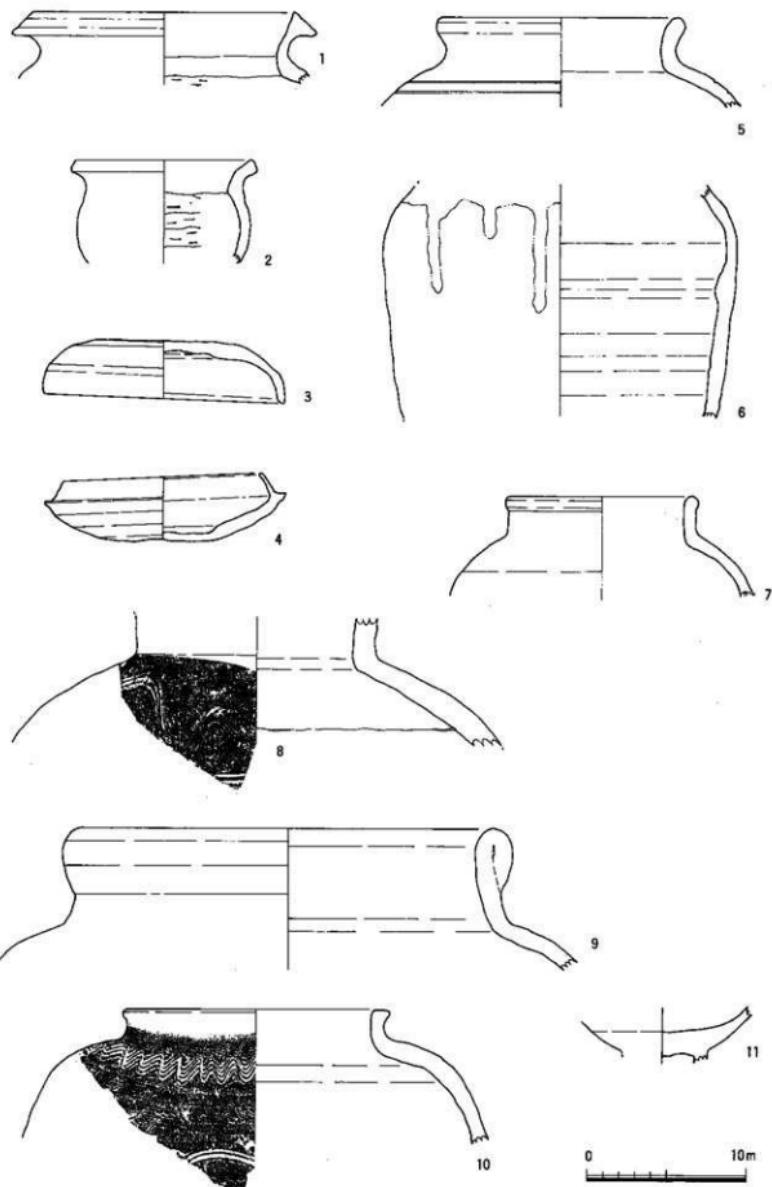
20~23は凸面に縄目があり、大雜把にいて平安時代の瓦、24~29は粗い格子目があり鎌倉時代の瓦である。「清水採取」の注記は25・27・28だけであるが、少なくとも24~29は年代観や特徴からして、清水廃寺で先の備前焼等と一緒に採集されたものである可能性が高い。20~23もその可能性があるが、津高北廃寺の新しい一群などが混ざっているかもしれない。30・31は室町時代で、これも清水廃寺で採集品の可能性がある。

32~35はさらに新しく、16世紀代のものである。このうち35は、丘陵部にある菅野地区の西廻で出土したことを示す注記がある。西廻には、谷に向かって張り出す比高40mほどの半独立丘があり、中世の横井城が居た横井城があったという。この瓦はその東麓斜面から出土したとみられるが、横井城に伴ったとするのは疑問で、未知の寺院跡を考えるべきかも知れない。

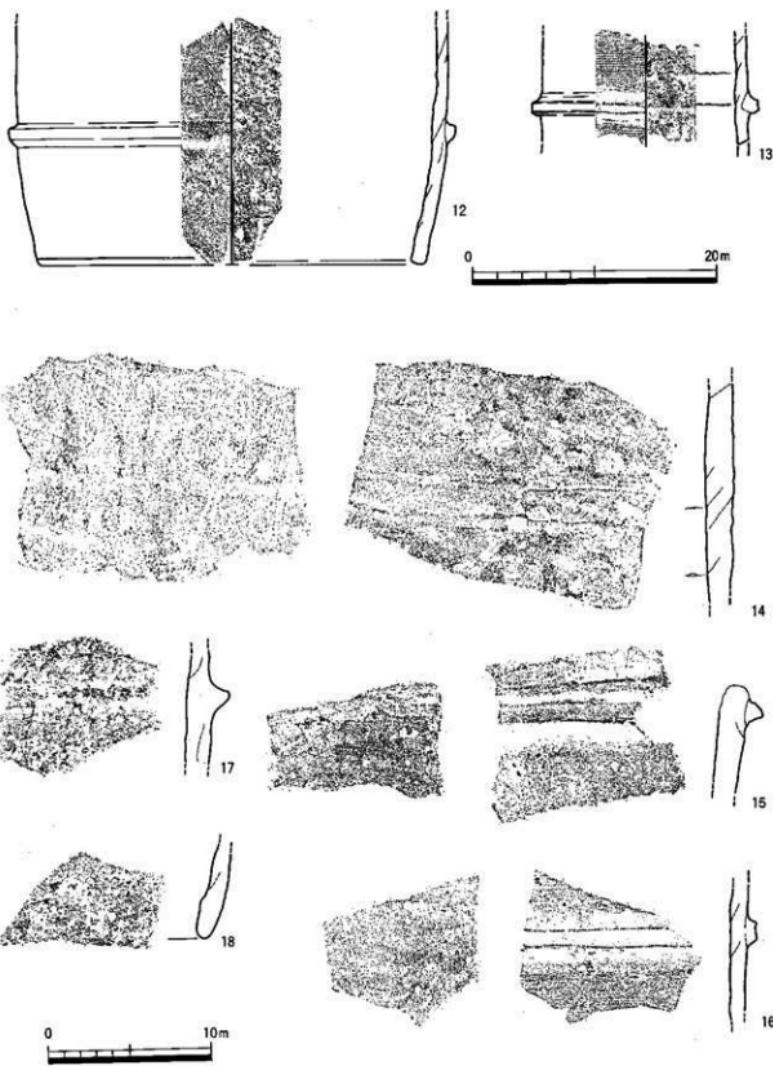
36~41は江戸中期・後期のものである。37・38・41は岡山藩主の池田家の家紋である揚羽蝶がモチーフになっている。旧津高町域には池田家の分家一族の墓や半田山お狩場など、池田家に関わる施設があるが、これらの瓦はむしろ岡山城で採集されてきた可能性が考えられる。

報告した遺物の由来と関連する遺跡・文献について、とくに水内昌康先生に多大なご教示をいただいた。また、遺物の図化は筆者らのほか、谷口光子・八木留利子があつた。

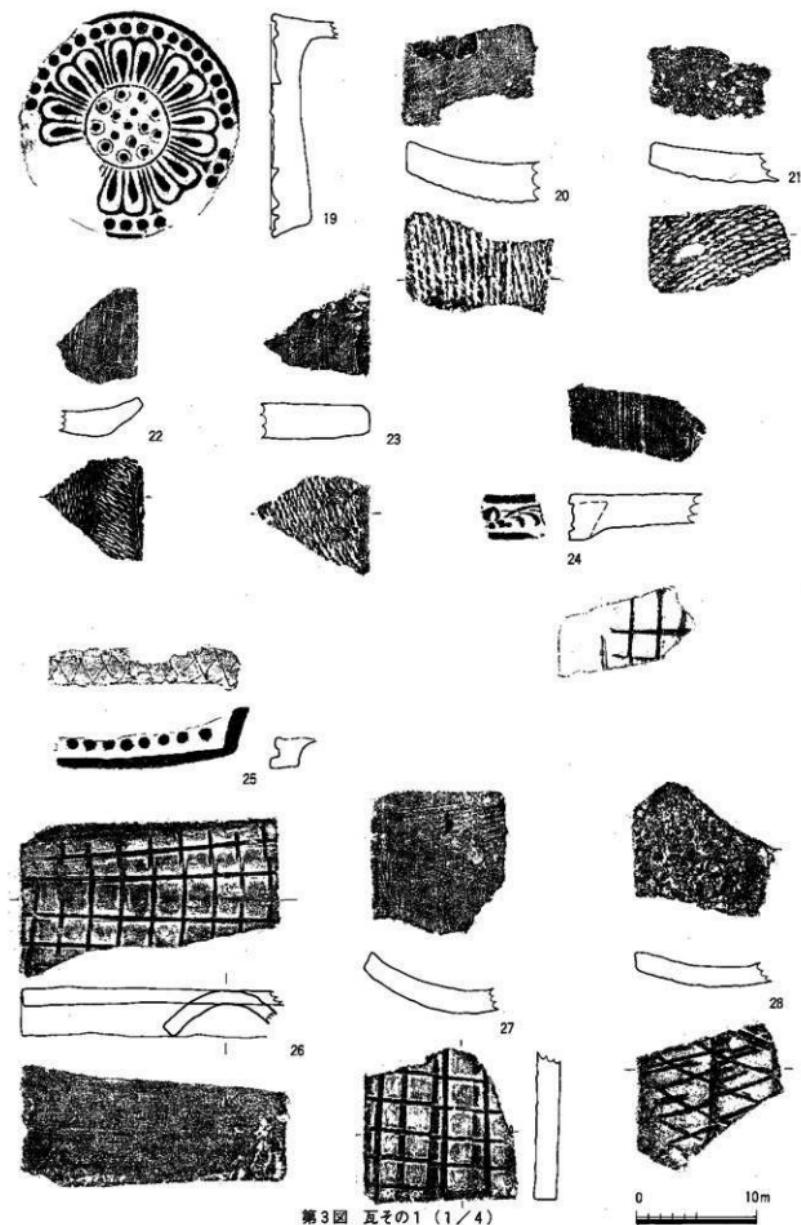
(埴輪=安川満、その他=乘岡実)



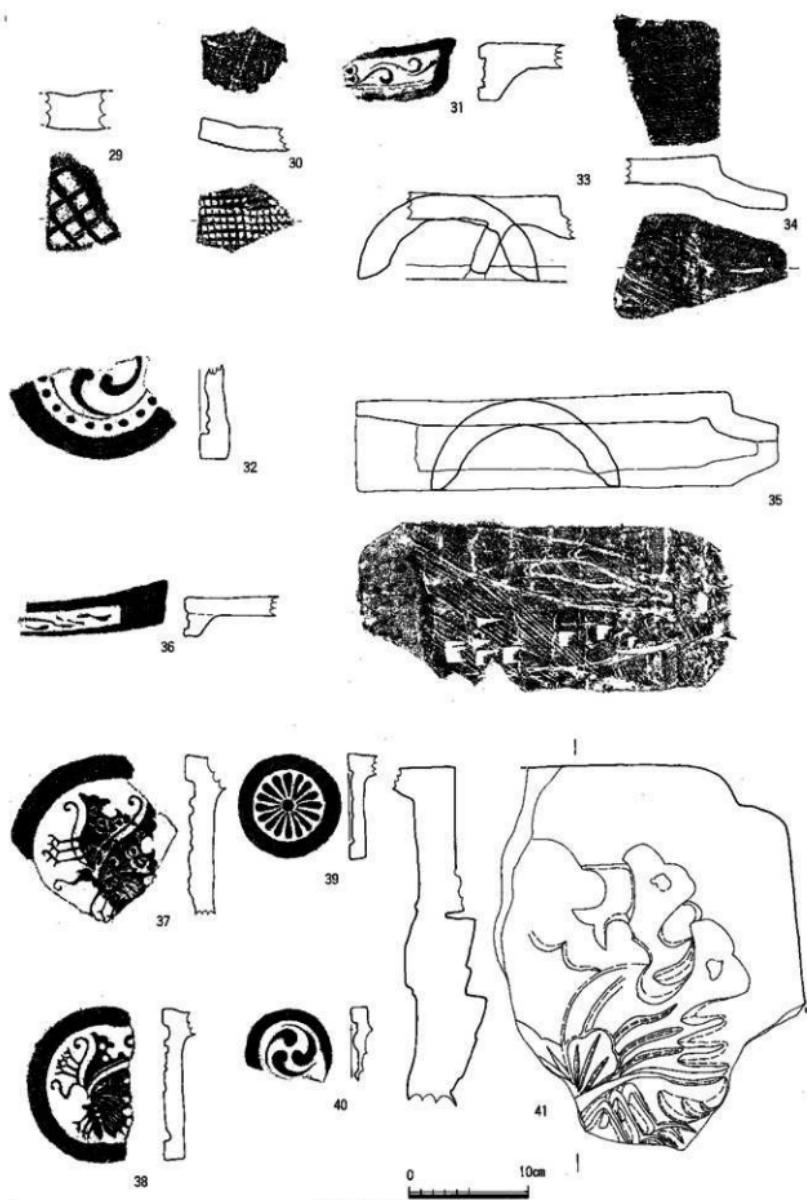
第1図 土器・陶磁器 (1/3)



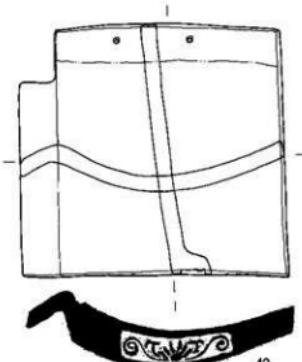
第2図 墓輪(上1/4、下1/3)



第3図 瓦その1 (1/4)



第4図 瓦その2 (1/4)



第5図 瓦その3 (1/4)

### 土器・陶磁器

番号	器種	部位	法量	調整	胎土	色調	焼成	備考
1	弥生土器壺	口縁	口径 16.3	内面は裏部下までヘラケズリ	3 mm以下の石英・長石 粒含む	2.5Y7/4	ふつう	弥生後期前半
2	弥生土器壺	口縁	口径 11.0	内面ヘラケズリ	1 mm以下の砂粒含む	2.5Y7/4	ふつう	弥生後期中葉
3	須恵器壺蓋		口径 15.0	頂部円転ヘラケズリ	0.5mm大の砂粒を僅かに含む	2.5Y7/2	ふつう	TK43古
4	須恵器壺身		口径 12.3	体部圓転ヘラケズリ	2 mm以下の砂粒を含む	N6/-7.5Y6/1	良好	TK43古
5	備前焼壺	口縁	口径 15.2	内外回転ナデ	2 mm以下の砂粒を僅かに含む (田土ではない)	7.5Y4/2	良好	「清水採集」注記
6	備前焼壺	肩部		内外回転ナデ。流れ瓶頸部	4 mm以下の砂粒を含む	7.5Y4/2	良好	「清水採集」注記 15世紀
7	備前焼壺	口縁 ～肩上半	口径 11.5	内外回転ナデ	4 mm以下の砂粒を含む	2.5Y5/1	良好	15世紀前半
8	備前焼壺	肩上半		灰かぶり顯著	2 mm以下の砂粒を含む	内面: 7.5Y3/3 自然釉: 2.5Y4/3	良好	15世紀前半
9	備前焼壺	口縁	口径 26	内外回転ナデ	5 mm以下の砂粒を含む	SYR4/2	良好	15世紀
10	備前焼壺	口縁	口径 16.4	波状文上端ナデ削し	2 mm以下の砂粒を僅かに含む	2.5YR5/4	良好	「清水採集」注記 16世紀
11	中国磁器碗	底部		見込みに退化した印文	砂粒含まない	外面: N6/ 釉: 10Y5/2	良好	

### 埴輪

番号	器種	部位	法量	調整	胎土	色調	焼成	備考
12	円筒埴輪	基底部から 二段目	直径 (31.4) タガ (下鉢) 2.0 (上鉢) 0.8 (高さ) 0.8	外面: タテハケ (7本/cm) 内面: ヨコハケ (C種? 7本/cm)。 基底部二段調整省略。 内面: 黒化・剥離のため 調整不明	0.5~6 mm程度の石英・ 長石粒、1~3 mm程度の 暗赤色粒をまばらに含む。	外面: 5YR7/6 内面: 5YR6/6	ふつう	ハケ内の一一部に 赤色釉料残存。
13	形象埴輪?	基部	直径 (17.0) タガ (下鉢) 1.9 (上鉢) 0.9 (高さ) 0.8	外面: ヨコハケ (B・C 種 4本/cm) 内面: 鍛め方向のナデ。 接合痕残る。	1 mm以下の石英・赤褐色 粒、角閃石を含むがごく 少ない。	外面: 7.5YR7/4 内面: 7.5YR7/4	良好	下段に円形透かし 孔の一部残存。
14	円筒埴輪	筒部		外面: ヨコハケ (C種? 4本/cm) 内面: タテハケ (5本/cm) の後継方向のナデ	1 mm以下の石英・長石 粒、1~3 mm程度の暗赤 色粒を含む。	外面: 7.5YR6/4 内面: 2.5YR5/1	良好	
15	円筒埴輪	筒部	タガ (下鉢) 2.2 (上鉢) 0.8 (高さ) 1.0	外面: 黒化・剥離のため 不明 内面: 横方向のナデ	1 mm以下の長石・石英粒 多い。	外面: 7.5YR6/4 内面: 5YR6/4	良好	

番号	器種	部位	法量	調整	胎土	色調	焼成	備考
16	円筒埴輪	筒部	タガ (下部) 1.8 (上部) 1.0 (高さ) 0.8	外面：ヨコハケ (3本/cm) 内面：横一斜め方向のナデ	1mm以下の長石・石英粒含む。1mm以下の赤褐色粒まばら。	外面：5YR6/6 内面：5YR6/6	良好	
17	円筒埴輪	筒部	タガ (下部) 1.8 (上部) 0.5 (高さ) 1.0	風化のため内外面とも調整不明	1mm大からそれ以下の長石・石英粒、赤褐色粒多い。	外面：10YR7/4 内面：7.5YR6/3	ふつう	
18	円筒埴輪	基底部		風化のため内外面とも調整不明	1~8mm大的石英・長石粒含む。1~3mm大的赤褐色粒まばら。	外面：5YR6/6 内面：5YR6/6	ふつう	

瓦観察表

番号	器種	部位	法量	調整	胎土	色調	焼成	備考
19	軒丸瓦	瓦当	径 18.5		3mm以下の砂粒を含むが生地は粗かい	10Y6/1	ふつう	白鳳
20	平瓦	側端	厚さ 3.0	凹面布目 (9本/cm)、凸面織目	3mm以下の砂粒を含む。	7.5Y1/4	ふつう	平安
21	平瓦	側端	厚さ 2.3	凹面布目 (9本/cm)、凸面織目	2mm以下の砂粒を含む。	5Y7/3	ふつう	平安
22	平瓦	側端	厚さ 2.1	凹面布目 (7本/cm)、凸面織目	4mm以下の砂粒を含む。	5Y7/2	ふつう	平安
23	平瓦	側端	厚さ 2.8	凹面布目 (9本/cm)、凸面織目	2mm以下の砂粒を含む。	5Y4/1	ふつう	平安
24	軒平瓦	瓦当-平瓦	瓦当高 3.9	凹面布目 (11本/cm)、凸面格子	2mm以下の砂粒を含む。	5Y7/3	ふつう	鎌倉
25	軒平瓦	瓦当		平瓦凸面との接合面に格子痕	2mm以下の砂粒を含む。	N5/	ふつう	鎌倉、「清水採取」
26	丸瓦	小口・側端	厚さ 1.1	凹面布目 (14本/cm)、凸面格子	2mm以下の砂粒を含む。	2.5Y6/2	良好	鎌倉
27	平瓦	小口・側端	厚さ 1.8	凹面布目 (12本/cm)、凸面格子	2mm以下の砂粒を含む。	5Y6/2	ふつう	鎌倉、「清水採取」
28	平瓦	側端	厚さ 1.4	凹面布目 (8本/cm)、凸面格子	2mm以下の砂粒を含む。	5Y5/1	あまり	鎌倉、「清水採取」
29	平瓦		厚さ 2.8	凹面布目、凸面格子	2mm以下の砂粒を顎著に含む	5Y7/1	ふつう	鎌倉
30	平瓦		厚さ 1.8	凹面布目 (12本/cm)、凸面格子	2mm以下の砂粒を含む。	10YR6/3	あまり	14世紀、龜山焼?
31	軒平瓦	瓦当	瓦当高 4.5 平瓦厚 2.0	瓦当上角面取り	1mm以下の砂粒。生地砂質	2.5Y5/1	ふつう	15世紀? 瓦當端の唐草切断
32	軒丸瓦	瓦当	瓦当厚 2.1		2mm以下の砂粒を含む。	10YR6/3~ 10YR5/1	あまり	16世紀末
33	丸瓦	後半部	厚さ 2.3	内面コビキA痕。横挫	2mm以下の砂粒を含む。	N5/~- 5Y7/2	ふつう	16世紀
34	丸瓦	尾部	厚さ 2.1	内面コビキA痕。外面織目ナデ消し	1mm以下の砂粒。生地微粒	7.5Y7/2	ふつう	16世紀
35	丸瓦		全長 35.1	内面コビキA痕、布目(12本/cm)、外面タチナデ	2mm以下の砂粒を含む。	N4/~- 5Y5/2	ふつう	16世紀。「昭和十九年十二月 背野 西野大口山跡発掘 西野鎌次郎氏蔵」
36	軒平瓦	瓦当	瓦当高 3.2		1mm以下の砂粒。生地微粒	N4/	ふつう	18世紀
37	軒丸瓦	瓦当	瓦当厚 10.0		砂粒ほとんど含まず生地微粒	N4/~- 7.5Y5/1	良好	18世紀、揚羽織紋
38	軒丸瓦	瓦当	瓦当厚 12.6		砂粒ほとんど含まず生地微粒	N5/	良好	18世紀、揚羽織紋
39	南丸瓦	瓦当	瓦当厚 8.8		砂粒ほとんど含まず生地微粒	N5/	良好	18世紀後半~19世紀
40	棟瓦	丸瓦瓦当	瓦当厚 7.5		砂粒ほとんど含まず生地微粒	N5/	良好	19世紀。平瓦瓦当は左側
41	鬼瓦			側部は板貼り付け	砂粒ほとんど含まず生地微粒	7.5YR5/6	良好	18~19世紀。二次的に火を受けて熱変。鉢文なし
42	施釉柱		瓦当幅 28.5 平瓦長 25.5	凸面布目ナデ消し 平瓦奥小口付近に針金穴 2穴	2mm以下の砂粒を含む。 生地もやや砂質	羅表10YR7/4 船7.5YR3/2	良好	近代

# 亀甲地双鳥鏡

## 1. 出土と収蔵の経緯

この鏡は1998年1月、造山第2号古墳の発掘現場に地元の方が持ち込まれたものである。50年ほど前、造山古墳から2kmほど西の宿寺山古墳(都窪郡山手村)付近の丘陵を崩した土から発見されたものという。採集者は、宿寺山古墳から鏡が出土した<sup>(1)</sup>ことから、この鏡もその副葬品、もしくは鏡は女性の持ち物であるとの認識から、備中国分尼寺と開連がある品と考えて保管していた。このたび地元で発掘調査があった機会に、自宅に眠らせておくよりは公開し、活用してもらいたいとの想いから岡山市教育委員会に寄贈された。

## 2. 鏡の特徴

鏡は鏡背全面に亀甲文を施す小型の鏡で、径11.5cmを測る。鏡胎の厚さは約0.4cmである。一部は濃緑色~緑灰色の錫に覆われているが、赤褐色の地金をみせる部分も多く、保存状態は良い。周縁は断面方形で高さ0.7cm、幅0.4cm。内区と外区の境には高さ0.1cm、幅0.4cmの断面蒲鉾形の界囲がめぐる。紐は亀形紐で甲羅は無文、三角形に近い形状の紐孔を穿つ。紐の上方には向かい合わせに双鳥文が配されている。亀甲文は三本の細い突線で囲まれており、内部には七つの細かい珠文からなる花文が施される。内区、外区の亀甲文は非常に連続性が高く、あたかも界囲を後から描いているようにも見えるが、内区の亀甲文が一辺づつ描いているのに対し、外区のものは二辺を一筆で描くものもあり、形もやや崩れています。文様の描線、特に双鳥文の羽毛、亀形紐の手足や毛の表現はきわめて細密である。以上の特徴から、この鏡は14世紀代のものと考えられる。中世の鏡を作る工房遺跡は京都の七条町・八条院町(現在の京都駅北側周辺)に集中しており、この鏡に類似する亀甲地双鳥鏡鑄型も出土している。この鏡も京都工房の製品である可能性が高い。

なお、鏡面にはわずかに赤色顔料が付着している。朱塗りの箱などに納められた副葬品であったのかもしれない。(安川 満)

### 注

(1)宿寺山古墳の石棺が地元の人によって掘られたのは、1889年と1920年のことであり、鏡2(変形四獸鏡、黄羊作歌帝蓋章鏡)、大刀、剣、銀子、鎌、勾玉、ガラス小玉などが出土したという。

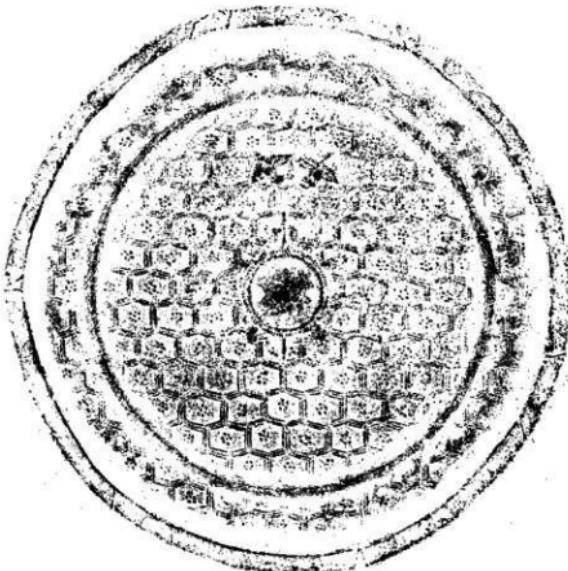
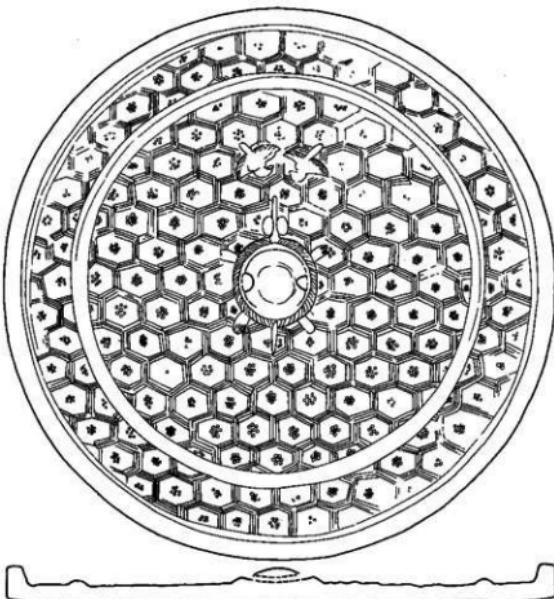
参考文献 久保智康 1999 『中世・近世の鏡』日本の美術 N o.394 至文堂



第1図 鏡の背面



第2図 文様細部



## 近世の備前焼擂鉢とその類似品

### 1. はじめに

備前焼は、備前市域で焼かれた無釉の焼締め陶である。六古窯のひとつに数えられ、中近世を通じて、西隣の岡山市域はもとより全国各地に流通した。擂鉢はその主力器種である。ところが1980年代の終わりごろになって、それまで備前焼に分類されていた江戸時代中期以降の擂鉢の多くは、むしろ関西で焼かれた模倣品である可能性が提唱された<sup>(1)</sup>。堺産擂鉢の確認である。さらに近ごろでは、兵庫県の明石でも類似する擂鉢が江戸時代後期を中心に生産されて広く流通したことが判ってきた<sup>(2)</sup>し、大阪市の堂島でも江戸時代前期末の備前焼模倣と思える擂鉢が窯跡とともに発掘された<sup>(3)</sup>。岡山県下や岡山市域の近世後半の無釉焼き締めの擂鉢に限っては、出土地が備前焼のお膝元であるから備前焼に違いないとの思いこみのもと、無批判に備前焼に分類する傾向が根強いが、じつはこの岡山でも予想以上に堺産や明石産の擂鉢が入っている。

関西の各生産地ではその製品の特徴だけでなく、すでに備前焼との違いもいくつか指摘されているが、備前焼の生産地資料として近世後半の擂鉢が考古学的に十分に認識されていないことにも理由があって、分類になお混乱がある。本稿<sup>(4)</sup>では、確実に備前焼である製品<sup>(5)</sup>と類似品との違いを展望し、この問題への喚起をうながしたい。

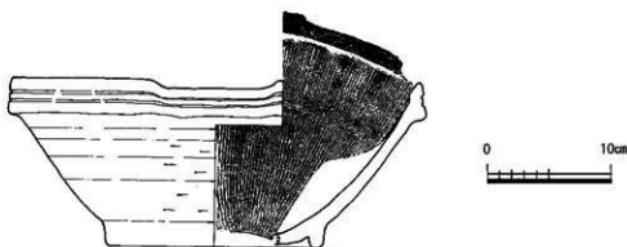
### 2. 17世紀末以降の備前焼擂鉢が大坂堂島・堺・明石産擂鉢と異なる点

**焼成：**備前焼は同時期の堂島・堺・明石産(以下で総称する際は関西産とする)に比べて、焼成時間や温度が高く、よく焼き締まっていて堅牢である。とくに胎土の生地が砂質で含有白色繊維が目立つうえ、溶けずに粒として観察できる江戸後期の明石産の一般品と、備前焼の差は大きい。また、備前焼は焼成後の急冷のためと思われる器表の細かいヒビなども少ないし、断面の色調が芯と外で極端に異なることも少ない。しかし、以上は量的傾向であって、個体差・部分差の幅のなかで、絶対的な分類基準にはなりえず、とくに堂島産・堺産の一部は、備前と見まがうほどに良く焼けているものがある。

**重ね焼き：**関西産は、見込の平面に低い円筒形の焼き台を置き、それに上の個体の底部を乗せるため、見込に幅をもった輪形の圧痕や色調変化が観察できることがある。また、底面に熔着防止のための砂が付着することがある。いっぽう、備前焼では焼き台は用いられず、製品を直に重ねて焼き、底面への砂の付着も認められない。高台をもたないものは口縁で重みを受け、口縁の上端部と頸部に熔着痕を残す。また、高台をもつものは、見込の斜面で上の個体の高台を受ける場合が多く、見込に線状で輪形の熔着痕、高台外下角にスリメ压痕を残している。この際の高台は、関西産の焼き台と同じ機能を果たしたことになる。

**見込とそのスリメ：**焼き台・高台の乗る位置が、関西産は見込の平坦面、備前焼は見込の斜面との違いにも連動し、関西産は見込が広くて平坦、体部との境界が明確であるのに対し、備前焼は見込が狭くて曲線的で、体部との境は明確な傾斜変換点をもたず、口径に対して見込面が深いといえる。また、備前焼では体部からのスリメが見込端を超えて内側におよぶものが多く、加えて見込完結のスリメが★形、△形を基本として施されるから、見込はほぼスリメで塗りつぶされる。対する関西産は、17世紀末から18世紀初めの大坂産と堺産の一部に限って備前焼とはほぼ同様なものがあるが、一般には体部からのスリメは見込端できちと止まって見込が際立ち、見込に固有のスリメが施されるが、まだ余白が広い。△形の見込スリメは堺産、△形の見込スリメは明石産の指標と言われている。

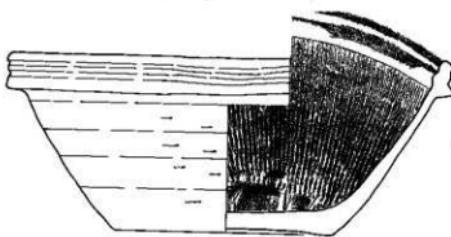
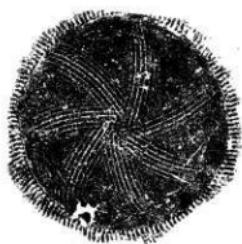
**口縁の形：**口縁の形態は17世紀末から18世紀初めの製品では関西産は備前焼と良く似るが、その後の堺産や明石産は、口縁内面に強いナデまたは切り込みによる鋭い段や突起をもち、口縁外面の頸の張り出しが強いものが多い。併行期の備前焼は、ナデによる段があるが弱く丸みをもち、しだいに退化して平滑になり、頸の張り出しも弱くて角を丸くおさめたり、薄くて華奢なものが出現する。



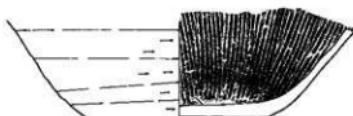
備前・岡山城二の丸（中銀）SK960



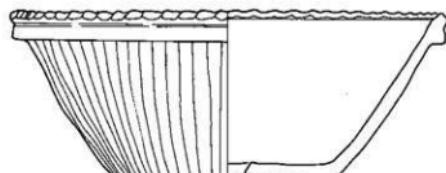
堺？・岡山城本丸下の段



明石・足守藩待屋敷 P42



堺・南方荘田 SK18



明石～堺・足守藩待屋敷レキ穴1  
植木鉢



明石～堺・足守藩待屋敷レキ穴1  
植木鉢

口縁スリメのナデ消し：関西産は成立当初から、スリメを入れたあとに口縁の最終調整(整形)を行い、口縁内面に一旦及んだスリメをナデ消して上端を揃えるものが主流であるのに対し、備前焼は整形・調整の最後にスリメを入れ、スリメ端をナデ消さない。ただし、備前焼でも江戸後期後半以降にはスリメ上端付近をナデ消すことが普及する。

注口の機能性：18世紀中葉以降の関西産は、注口が急速に痕跡器化し、垂れが浅く、外面では変化が及ばないものや口端が薄くならないものが多いのに対し、備前焼は近代に至るまで一貫して注口がしっかりとしていて、機能性を保守する。

高台をもつ個体の多さ：17世紀末から18世紀初めを除けば、関西産は高台をもたないものが主流で、高台があるても痕跡化したものが多いのに対し、併行期の備前焼は近代に至るまで、高台をもつものが主体で、高台のバリエーションも多様である。また備前焼に少量ある高台をもたないものは、底部が厚くて、接地部が整美なベタ底であるのに対し、関西産は底部が薄く、やや上げ底ぎみのものが目につく。

関西産は製品の見かけでは備前を模倣しつつも成立当初から独自路線を歩み、時期の進歩とともにその差が拡大したといえる。備前は保守、手抜きなし、堅牢長持ち、燃料浪費、高級、高価、関西産は革新、省工程、最低機能・使い捨て、省エネ、安価と対照的に評価できる。

### 3. 岡山市内出土の18世紀後半以降の関西産擂鉢

関西産擂鉢が岡山市内で目立つのは18世紀後半以降、とくに19世紀に入ってからである。内訳は明石産が圧倒的に多いようで、堺産とみられるものも散見できる。岡山藩はほんらい備前焼を殖産興業として支える立場にあるはずであるが、岡山城本丸にあるその岡山藩庁や藩主の住居の台所でさえ、明石・堺産が入っている。また、岡山城下の下級武家地にあたる新道遺跡<sup>(6)</sup>では、概算で備前が7割に対し明石・堺産が3割である。また城下町に隣接した水田中のゴミ穴があった南方釜田遺跡<sup>(7)</sup>では、備前6割に対して明石・堺産が4割ある。岡山城下のその他の発掘地や市内各地の近世後半期の遺跡でも、明石・堺産擂鉢は必ずといって良いほどみかける。備前焼産地のお膝元とはいえ、これが消費地としての岡山市域の遺跡での実状<sup>(8)</sup>である。なお、無釉焼き締めの擂鉢としては丹波産もごく少量入っている。また、明石～堺産とみられる植木鉢もあり、足守藩侍屋敷跡<sup>(9)</sup>など岡山市内の遺跡から出土している。出土遺物を分類する際、くれぐれも類似品に注意していただきたい。

(乗岡 実)

#### 注

- (1)白神典之 1988 「堺擂鉢について」『堺環濠都市遺跡(SKT79)発掘調査報告』堺市文化財調査報告 第37集
- 森村健一 1988 「堺環濠都市遺跡出土の近世陶磁器」『考古学ジャーナル』NO.297
- 堀内秀樹 1992 「備前系施錆め擂鉢」の系譜』『東京考古』10
- 鶴谷和彦 1996 「堺擂鉢の生産と流通」『考古学ジャーナル』NO.409
- (2)和原昭富 1997 「明石擂鉢の編年について」『関西近世考古学研究会例会レジメ
- (3)佐藤隆ほか 1999 「堂島藏屋敷跡」 大阪市文化財協会
- (4)四大窯、南北窯、北大窯採集品。麻場である備前市伊部の伝世品(刻印などで検証可能)。1999年に備前市教育委員会が行った南北窯西側の暮末の連房窯出土品(石井啓氏ご教示)など。
- (5)乗岡実 1999 「近世備前焼の擂鉢－素描メモー」『関西近世考古学研究』Ⅸ をもとにした。
- (6)草原孝典 2000 「岡山市埋蔵文化財調査の概要」1998年度 岡山市教育委員会 [本書]
- (7)岡山市教育委員会が主催する福武書店本社建設事業埋蔵文化財調査委員会が1986～89年に発掘。
- (8)東京都埋蔵文化財センターの長佐古真也氏に一部資料の胎土分析を行っていただけており、岡山市域に相当量の明石・堺産擂鉢が入っていることは、その点からも追認できる。
- (9)岡山市教育委員会が1984年に実施した校舎建て替えに伴う足守小学校内の発掘調査(第1次)。

\*本稿は全般に注に掲げた文献およびその各著者からの直接のご教示を参考としている。

## 岡山市埋蔵文化財調査の概要 1997（平成9）年度の正誤表

41ページ 35行 1996（平成9）年度→1996（平成8）

42ページ 11行 また埋蔵→埋蔵文化財は「埋文」と省略しています。)

52ページ 37行 九州大学文学部考古学研究室→九州大学文学部考古学研究室

57ページ 第6図 側壁図のレイアウトが左右逆

### 岡山市埋蔵文化財調査の概要

—1998（平成10年度）—

発行年 2000年3月31日

発行 岡山市教育委員会

岡山市大供1-1

編集生涯学習部文化課

印刷 旭総合印刷株式会社